

## 令和7年度 第4回 小金井市緑地保全対策審議会

日 時：令和8年2月12日（木）

午後2時00分～午後4時00分

場 所：小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

### 次 第

#### 1 開会

#### 2 議事

小金井市みどりの基本計画中間見直しについて（諮問）（資料1）

#### 3 報告

(1) 小金井市立公園等指定管理者評価について（資料2）

(2) 子どもの遊び場等整備事業について（資料3）

(3) 小金井市立公園等緑化イベントについて（資料4）

(4) 身近なみどりフォトコンテストについて（資料5）

(5) 保全緑地所有者アンケート調査について（資料6）

#### 4 その他

#### 5 閉会

#### 【配布資料】

資料1 小金井市みどりの基本計画中間見直し報告書（案）

資料2 小金井市立公園等指定管理者評価について

資料3 子どもの遊び場等整備事業について

資料4 小金井市市立公園等緑化イベントについて

資料5 身近なみどりフォトコンテストについて

資料6 保全緑地所有者アンケート調査について

#### 【当日閲覧資料】

参考資料1 小金井市みどりの基本計画中間見直しに係る委員意見一覧

参考資料2 小金井市の環境・みどりアンケート調査結果

令和 7 年度  
小金井市みどりの基本計画  
中間見直し報告書(案)

令和 8 年 3 月  
小 金 井 市

## 目次

1. 小金井市みどりの基本計画中間見直しの概要.....	1
1-1 中間見直しの目的.....	1
1-2 中間見直しの方法.....	1
1-3 中間見直しの対象.....	1
2. 小金井市のみどりに関する分析・評価.....	2
2-1 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査.....	2
2-2 みどり率調査.....	5
2-3 小金井市みどりの基本計画の取組状況の検証.....	8
3. みどりを取り巻く国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理.....	14
4. 中間見直しの内容.....	17
4-1 小金井市みどりの基本計画.....	17
4-2 小金井市みどりの基本計画の実施計画.....	20

### 資料編

- 1 小金井市みどりの基本計画の実施計画の見直し
- 2 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査結果

## 1. 小金井市みどりの基本計画中間見直しの概要

### 1-1 中間見直しの目的

小金井市みどりの基本計画（以下「基本計画」という。）は、令和3年4月1日から令和13年3月31日までを計画期間とする計画であり、概ね5年間を区切りに、基本計画の具体的な事業の取組状況の検証や課題の整理をするとともに、社会情勢や関連する各種制度の変更など基本計画を取り巻く環境の変化を踏まえた中間見直しを行うことにより、基本計画の推進を目的とします。

### 1-2 中間見直しの方法

中間見直しにあたり、以下の方法により小金井市のみどりに関する分析・評価及び社会動向を整理し、小金井市緑地保全対策審議会において、目標年次の令和12（2030）年度に向けて、今後の方向性を諮問し、基本計画の中間見直しを行いました。

#### (1) 小金井市のみどりに関する分析・評価

- ア 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査
- イ みどり率調査
- ウ 小金井市みどりの基本計画の取組状況の検証

#### (2) みどりを取り巻く社会動向

国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理

### 1-3 中間見直しの対象

#### (1) 小金井市みどりの基本計画

新たな市のガイドライン策定に伴う基本計画の「都市公園等の整備及び管理の方針」を見直すことにより、公園等の更なる適正管理を実施します。

#### (2) 小金井市みどりの基本計画実施計画

基本計画の主な取組に対する具体的な取組事業を、みどりに関する分析・評価等による中間見直しを踏まえ見直すことにより、基本計画を推進します。

## 2. 小金井市のみどりに関する分析・評価

### 2-1 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査

#### (1) 調査対象

市内在住の18歳以上で無作為に抽出した3,000人

(外国籍の方90名には、日本語のほか、英語、中国語、韓国語の調査票を同封し送付)

#### (2) 方法及び期間

方法	期間
・調査票を郵送、返信用封筒にて回収(紙面)	令和7年6月25日
・調査票に掲載の二次元コード、URLよりインターネットで回答(WEB)	～7月16日

#### (3) 回答概要

対象	配布数	回答数(n)	回答率
18歳以上の市民	3,000	1,078	35.9%

※ 上記のうち、外国籍の方の回答数は3件(英語1件、中国語2件)

※ WEBと紙面の重複回答が1件あったため、有効な回答数から除外しました。

※ 回答率は、小数点第2位を四捨五入

【参考】 表 年代別回答率

年代	発送数		回答数			回答率	
			紙面	WEB	合計		
10代	67	(4)	6	(1)	10	16	23.9%
20代	473	(54)	30	(0)	42	72	15.2%
30代	484	(24)	50	(0)	86	136	28.1%
40代	529	(6)	79	(2)	96	175	33.1%
50代	520	(2)	101	(0)	91	192	36.9%
60代	396	(0)	147	(0)	65	212	53.5%
70代以上	531	(0)	241	(0)	26	267	50.3%
無回答	—	—	8	(0)	0	8	—
合計	3,000	(90)	662	(3)	416	1,078	35.9%

※ 発送数及び紙面の回答数の括弧書きは外国籍の方

※ 令和元年度回答状況

1,028件(紙面 941件、WEB 87件)

上記のうち外国籍の方(回答数 11件 回答率 34.3%)

#### (4) 調査結果

小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査結果より、「8 小金井市のみどりについて」を抜粋した内容を以下に示します。

#### 8 小金井市のみどりについて

本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

みどりの施策等について、「満足」、「やや満足」の合計値は「みどりの豊かさ」(72.3%)、「公園の居心地の良さ」(69.1%)で高くなっています。

「ボランティア活動の参加のしやすさ」、「イベントの参加のしやすさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は2割以下でした。

「みどりの質」の「満足」、「やや満足」の合計値は47.5%でした。

### 小金井市のみどり (n = 1,078)

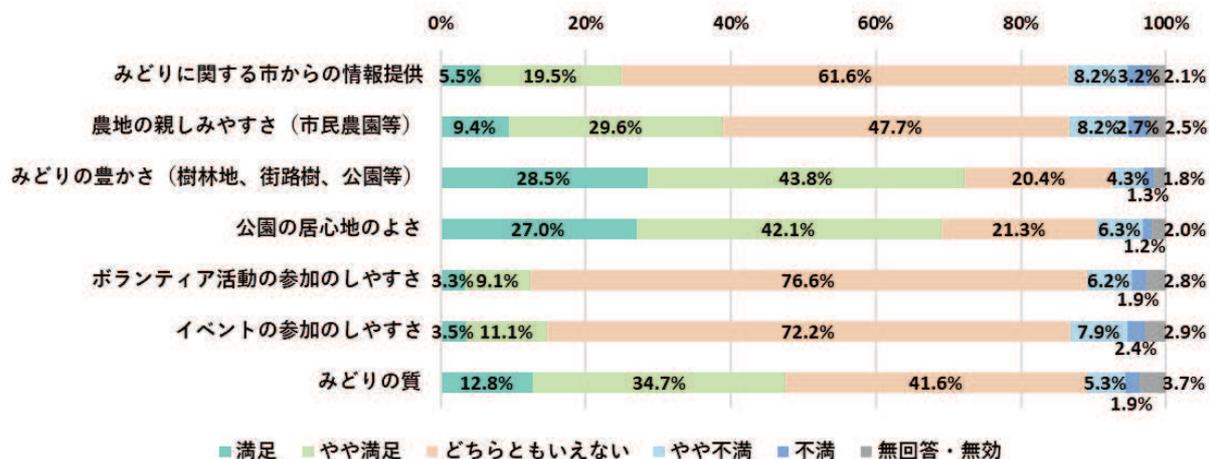


図 市のみどりの施策の満足度

表 みどりの質の満足度

項目	令和元年度	令和7年度	令和12年度 (目標値)
みどりの質の満足度	67.8%	47.5%	80.0%

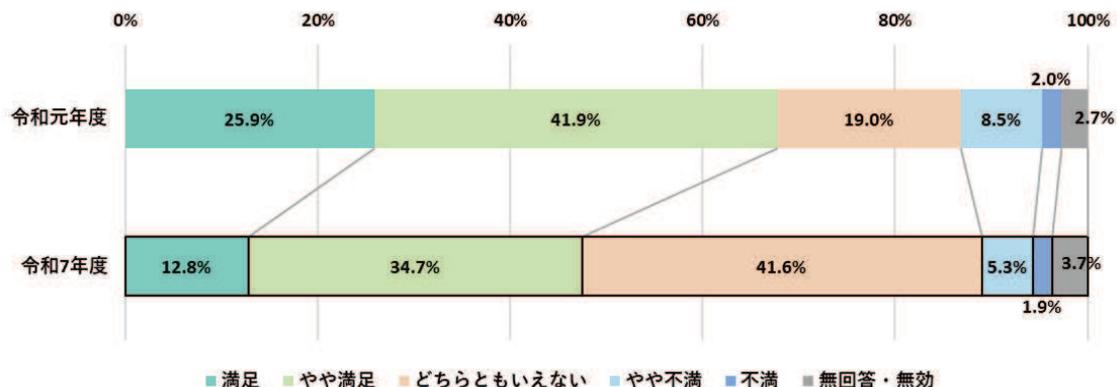


図 令和7年度、令和元年度の「みどりの質」回答状況

## 【過年度との比較】

令和7年度の調査では、調査票内に「みどり」の説明を掲載し、アンケートの聞き方を変更しました。

前回のアンケートからの変更点として、新たに「小金井市のみどり」の参考情報として、小金井市みどりの基本計画における「みどりの将来像」や基本計画における「質の高いみどり」の定義をアンケート調査票に掲載し、「質の高いみどり」についてアンケート回答者に意識してもらうように説明を加えました。（下図参照）

その結果として、アンケート回答者が深く考え見直す機会となったことで、前回回答より直感的な回答が減少し、「どちらとも言えない」の回答が増加したと考えられます。「どちらとも言えない」の回答は、令和元年度は19.0%でしたが、令和7年度の調査結果では41.6%となりました。

「みどりの質」の満足度は、「満足」、「やや満足」の合計値で、令和元年度の67.8%と比較すると、令和7年度は47.5%となり、20.3ポイント低下しました。

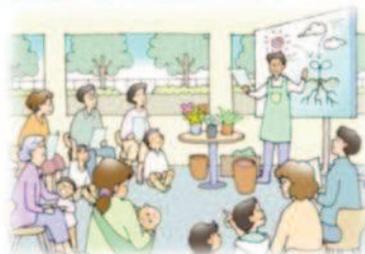
また、「やや不満」、「不満」の回答の合計値は、令和元年度の10.5%に対して、令和7年度は7.2%と低い結果でした。

### 小金井市のみどりの将来像 「みんなで育み、つなげるみどりの小金井」

小金井市にふさわしいみどりは、安全で快適な場所として、保全、活用され、多世代が触れ合い、地域で暮らす楽しみを見つけることができる空間です。

#### 【質の高いみどり】

- ① 地域特性に応じた多様なみどり
- ② 多様な機能を有するみどり
- ③ 生活に季節感や潤いをもたらすみどり
- ④ 生態系やまちの景観への配慮が保たれているみどり



(小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査に掲載した参考情報より抜粋)

#### 【課題】

- ・ 参加しやすいボランティア活動の検討や、イベントへの参加を促進することが必要
- ・ みどりの質の満足度を高めるため、みどりが多様な機能を有することの周知が必要
- ・ みどりの質の満足度を高めるため、生態系やまちの景観への配慮とは何か知るきっかけが必要

## 2-2 みどり率調査

### (1) みどり率による中間評価

令和元年度の小金井すみどりの実態調査において、令和元（2019）年度の緑被率※<sup>1</sup>は30.2%となっており、この数値に基づき、令和12（2030）年度の緑被率の目標値は28.0%と設定しています（10年後に△2.2%）。

中間見直しでは緑被率調査は実施しない計画としていたため、令和5年の東京都のみどり率※<sup>2</sup>調査の結果を活用し、小金井すみどり率を調査しました。なお、東京都みどり率調査は、5年ごとに東京都本土部を対象にみどり率の調査を実施するものであり、最新の調査は令和5年となります。

### (2) 目標設定の考え方

令和元年度実施の小金井すみどりの実態調査と東京都みどり率調査は、調査手法に違いがありますが、減少する量については同様の傾向である（10年後に△2.2%）と仮定し、東京都みどり率調査による令和12（2030）年度のみどり率の目標値を設定すると、32.7%（10年後に△2.2%）となります。さらにこれを中間評価に使用できるように各年に按分し算出しました。

傾向分析により算出したみどり率を中間評価のため各年に按分した結果を用いています。

令和5年の東京都みどり率調査の結果を用いて、小金井すみどり率の集計を行い、34.1%を基準とし、中間評価としました。

※<sup>1</sup> 緑被率 …緑被面積が市域に占める割合のこと。

※<sup>2</sup> みどり率…緑被面積に「公園・緑地内に含まれる裸地（グラウンドなど）」及び「水面」の面積を加えた値（ここでは、「みどり率で考慮するみどりの面積」という。）から市域面積を割った値のこと。

### (3) 令和 5 年みどり率調査に基づく小金井市のみどり率による評価

令和 5 年の東京都みどり率調査結果を活用しました。令和 5 年における小金井市のみどりの面積は 379.52ha、みどり率は 33.6%となりました。中間評価における令和 5 年の目標値と比較して、みどりの面積は、5.61ha 下回り、みどり率は 0.5 ポイント下回りました。

表 平成 30 年、令和 5 年のみどり率実績値及び目標値の比較

項目	実績値 (平成 30 年)	実績値 (令和 5 年)	目標値 (令和 5 年)
みどりの面積	396.13 ha	379.52 ha	385.13 ha
みどり率	35.1%	33.6%	34.1%

みどりの分類別にみると、最も面積の大きい樹林・原野・草地について、平成 30 年調査と比較して、12.21ha (5.4%) 減少しました。

農用地の減少割合が最も大きく、12.3%の減少、面積として 8.34ha が減少しました。

一方、公園・緑地は 4.5%増加し、3.94ha 増加しました。

表 分類別のみどりの面積及び増減

単位：ha

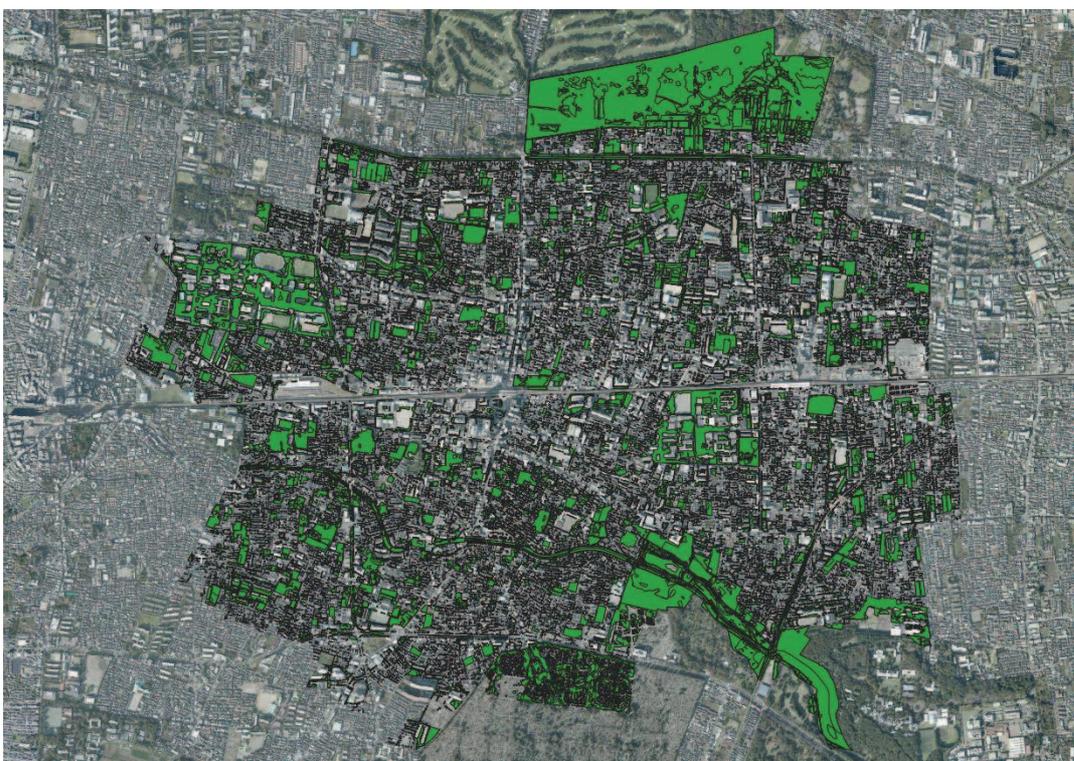
分類	平成 30 年	令和 5 年	増減量	増減率
公園・緑地	88.07	92.00	3.94	4.5%
樹林・原野・草地	227.69	215.48	△12.21	△5.4%
水面・河川・水路	12.35	12.35	△0.01	0.0%
農用地	68.02	59.68	△8.34	△12.3%
計	396.13	379.52	△16.62	△4.2%

※面積については、端数処理により小数点第 2 位までを記載していますので、合計や増減量が合わない場合があります。

【平成 30 年 小金井市全体写真】



【令和 5 年 小金井市全体写真】



出典：平成 30 年及び令和 5 年の東京都みどり率調査結果を GIS ソフトに読み込み作成

#### 【課題】

- ・ 農地は減少傾向となっており、特定生産緑地地区の指定や生産緑地の貸し出しなどの農地の減少を抑制する施策の検討が必要
- ・ 民有地の小規模なみどりや身近なみどりの確保が必要

## 2-3 小金井市みどりの基本計画の取組状況の検証

3つある基本方針について、「新たに力を入れる取組」に対応する課題の評価をしました。

### 基本方針 1 みどりを守る

#### 【新たに力を入れる取組】

「民有地のみどりを守る(保全緑地制度などの活用により守る)」

#### 【課題】

- 住宅用地(民有地)の小規模な樹木・樹林地の減少が顕著であり、早急な対応が必要

#### 【取組状況】

- 民有地の小規模な緑を守るため、保全緑地制度等を活用した保全に取り組みました

- 令和3年度及び令和4年度に緑地保全及び緑化推進条例施行規則を改正し、指定要件を緩和しました。また、期間限定の申請期間の制限をとりやめたことにより、年間を通して問い合わせが増え、新規の指定につながりました。
- 「小金井市緑化に関する指導等基準」を制定し、令和4年4月1日から施行しました。小金井市内で、敷地面積が200平方メートル以上の建築行為を行う場合が対象となり、「小金井市緑地保全及び緑化推進条例」第19条及び「小金井市緑化に関する指導等基準」第5条に基づき、「緑化計画書」の提出が必要となります。
- 環境緑地の指定面積及び保存生垣の延長は基準年度より減少しました。一方、保存樹木の指定本数は増加しました。

表 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績 (1)

項目	目標値 (令和12年度)	基準年度値 (令和元年度)	中間評価値 (令和7年度)
環境緑地の指定面積	現状維持	4.78ha	4.62ha
保存樹木の指定本数	現状より増加	842本	931本
保存生け垣の延長	現状より増加	4,358m	4,195m

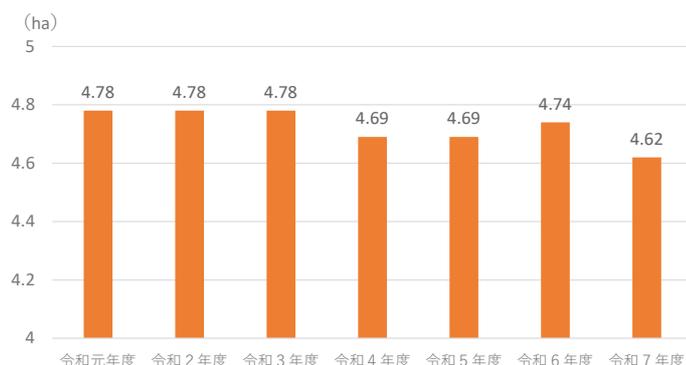


図 環境緑地の指定面積の推移

#### 【課題】

- ・ 環境緑地の指定面積や保存生け垣の延長は減少しており、保全緑地制度の周知が必要
- ・ 保全緑地の質を維持するため、要件の見直しや維持管理補助の検討が必要

## 【新たに力を入れる取組】

「農地をまもる(活用して農地を守る)」

## 【課題】

■ 農地の減少が顕著である一方、活用のニーズは高いため、活用による保全が有効

## 【取組状況】

■ 農地の保全・活用に取り組み、農地の減少を抑制しました

- 新たな市民農園を整備しました。令和4年4月1日に「ぬくいみなみ第2市民農園」、令和6年4月1日に「みどり第3市民農園」を開設しました。
- 「親子収穫体験」や「こがねい産業まつり」などのイベントを毎年開催し、交流連携機会の拡大を図りました。
- 市民農園の箇所数は増加しましたが、体験農園は1箇所閉園しました。
- 生産緑地地区の面積は、基準年度 58.85ha に対して、令和7年度は 50.56ha でした。減少を抑制することが目標となっており、「令和元年度小金井市みどりの実態調査報告書」における令和7年度の推計値 46.64ha と比較すると、減少面積は小さく抑えられました。

表 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績 (2)

項目	目標値 (令和12年度)	基準年度値 (令和元年度)	中間評価値 (令和7年度)
市民農園の箇所数(面積)	現状より増加	4箇所 (3,070.37m <sup>2</sup> )	7箇所 (5,577.37m <sup>2</sup> )
体験型市民農園の箇所数(面積)	現状より増加	2箇所 (4,489.46m <sup>2</sup> )	1箇所 (3,000.00m <sup>2</sup> )
生産緑地面積	減少量を抑制する	58.85ha	50.56ha 推計値: 46.64ha



## 【課題】

- 農地は減少傾向となっており、特定生産緑地地区の指定や生産緑地の貸し出しなどの農地の減少を抑制する施策の検討が必要

## 基本方針 2 みどりをつくる

### 【新たに力を入れる取組】

「魅力ある公園をつくる(事業者、市民とともに公園管理を行う)」

### 【課題】

- 多様な主体の参画・担い手確保による既存の公園の魅力向上が必要

### 【取組状況】

- 新たな公園の整備と、既存の公園の魅力の向上に取り組みました

- 公園の用地取得及び整備を進め、小長久保公園（本町三丁目）、梶野公園（梶野町五丁目）、三楽公園（貫井南町三丁目）の整備工事を実施しました。また、整備にあたり地元自治会などとの意見交換を行い、市民意見を反映した公園づくりに努めました。
- 利用の少ない公園の整理として、用途変更を行い、防災倉庫用地などに活用しました。
- 樹木の高木化や老木化が進むなか、計画的な維持管理を行うため、令和7年4月に「小金井市立公園等の樹木管理ガイドライン」を策定しました。
- 梶野公園、栗山公園及び三楽公園では、インクルーシブデザインに配慮した遊び場、菜園及び子どもの居場所の整備に向け、地元自治会、敬老会及び近隣学童保育所等と連携しました。
- 公園・緑地面積は、基準年度 86.86ha に対して、都立公園の拡張により令和7年度は 87.01ha となり、基準年度より増加しました。
- 「都市計画公園の整備における市民参加実施の割合」は、令和7年度においては3つの公園（梶野公園、栗山公園、三楽公園）で実施し、100%となっています。

表 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績 (3)

項目	目標値 (令和12年度)	基準年度値 (令和元年度)	中間評価値 (令和7年度)
公園・緑地面積	現状より増加	86.86ha	87.01ha
都市公園の整備における市民参加実施の割合	100%	100% (梶野公園、貫井 けやき公園)	100% (梶野公園、栗山 公園、三楽公園)



公園トイレの整備



公園整備における意見交換

### 【課題】

- ・ インクルーシブデザインに配慮した公園整備を契機とした公園の活用が必要
- ・ 「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」、「小金井市立公園等の樹木管理ガイドライン」に基づく適切な管理の促進が必要

## 【新たに力を入れる取組】

「みどりのまちなみをつくる

(住宅のみどりを増やす・市街地や商業施設、事業所のみどりを増やす)」

## 【課題】

- 本市における大部分を占める住宅地のみどりの創出が必要
- 人が集う市街地や商業施設、事業所のみどりの創出が必要

## 【取組状況】

- 住宅地や事業所において、みどりのまちなみづくりを推進しました
- 生け垣造成奨励金の要件を緩和し、活用しやすい制度としました。また、イベント実施の際に苗木の配布を行い、保全緑地制度の案内を同封し周知を図りました。
- 緑化スペースが十分でない市街地での緑化を進めるため、「小金井市緑化に関する指導等基準」において、屋上緑化及び壁面緑化について緑化面積に算入できることとし、規定を見直しました。



生け垣造成奨励金のご案内

## 【課題】

- ・ 環境緑地の指定面積や保存生け垣の延長は減少しており、保全緑地制度の周知が必要
- ・ 保全緑地の質を維持するため、要件の見直しや助成以外の維持管理に係る助成措置の検討が必要

## 基本方針 3 みんなで取り組む

### 【新たに力を入れる取組】

「みどりについて知り、親しむ(みどりに関する情報を発信・共有する)」

### 【課題】

- 小金井市のみどりに関する実態や取組の共有が必要

### 【取組状況】

- みどりに関する情報発信・共有に努めました

- 市報の環境特集号において、環境美化サポーターの活動を写真やインタビュー記事などで紹介し、魅力を広く周知しました。
- 情報共有・意見交換の場として、環境フォーラムを開催しました。令和4年度は890人、令和5年度は1,239人、令和6年度1,373人の方にご来場者いただきました。



## 【新たに力を入れる取組】

「みどりに関する活動に取り組む(ボランティア活動に取り組む)」

### 【課題】

- みどりの担い手としてボランティアの持続的な確保が必要

### 【取組状況】

#### ■ ボランティア活動の支援を強化し、新たな担い手の確保に取り組みました

- 既存のボランティア活動の支援として、環境美化サポーター同士の交流の場やワークショップ、他市公園の視察等を実施しました。
- 梶野公園や栗山公園では、子どもや子育て世代が気軽に参加できるイベントを環境美化サポーターとともに検討し、子どもの参加が可能な花の植え替えイベントを継続して実施しました。
- 環境美化サポーターの登録者数は、基準年度 308 人に対して、令和 6 年度は 386 人と増加しています。

表 小金井すみどりの基本計画の目標値の実績 (4)

項目	目標値 (令和 12 年度)	基準年度値 (令和元年度)	中間評価値 (令和 6 年度)
環境美化サポーター 登録者数	410 人	308 人	386 人

※年度末時点の数値のため、令和 6 年度の値で中間評価を実施しました。



ボランティア養成講座座談会



子どもと参加できる花の植え替えイベント

### 【課題】

- ・ 参加しやすいボランティア活動の検討や、イベントへの参加を促進することが必要

### 3. みどりを取り巻く国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理

#### (1) 都市緑地法等の改正(都市緑地法等の一部を改正する法律(令和6年法律第40号))

国主導による戦略的な都市緑地の確保、貴重な都市緑地の積極的な保全・更新、緑と調和した都市環境整備への民間投資の呼び込みなどについて、都市緑地法等が改正されました。これにより緑地の保全等に関する国の基本方針が策定されました。

表 都市緑地法等の改正の内容

項目	内容と改正された法律
(1) 国主導による戦略的な都市緑地の確保	① 国の基本方針・計画の策定 【都市緑地法】
	② 都市計画における緑地の位置付けの向上 【都市計画法】
(2) 貴重な都市緑地の積極的な保全・更新	① 緑地の機能維持増進について位置付け 【都市緑地法】
	② 緑地の買入れを代行する国指定法人制度の創設 【都市緑地法・古都保存法・都市開発資金法】
(3) 緑と調和した都市環境整備への民間投資の呼び込み	① 民間事業者等による緑地確保の取組の認定制度の創設 【都市緑地法・都市開発資金法】
	② 都市の脱炭素化に資する都市開発事業の認定制度の創設 【都市再生特別措置法】

#### 【上記改正の主な内容】

- 緑地の保全等に関する国の基本方針（都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針（緑の基本方針、令和6年12月20日））を策定
- 緑地の機能の維持増進を図るために行う再生・整備を法的に位置付け、市町村の実施に係る財源を充実
- 指定法人が地方公共団体に代わって緑地の買入れや整備を行う制度を創設し、財政面・技術面から地方公共団体を支援
- 優良緑地確保計画の認定制度（通称「TSUNAG」）を導入

#### 「都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針」（緑の基本方針）

都市緑地法等の一部を改正する法律（令和6年法律第40号）を踏まえた「都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針」（緑の基本方針）が令和6年12月20日に策定されました。

緑の基本方針は、緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な事項、政府が実施すべき施策に関する基本的な方針等を定めるものであり、都道府県の「緑の広域計画」及び市町村の「緑の基本計画」の策定や内容の一層の充実の促進が求められています。

全体目標として「人と自然が共生し、環境への負荷が小さく、Well-beingが実感できる緑豊かな都市」、個別目標として「環境への負荷が小さいカーボンニュートラル都市」、「人と自然が共生するネイチャーポジティブを実現した都市」、「Well-beingが実感できる緑豊かな都市」を掲げ、3つの都市の実現に向けた取組及び関連する指標等を位置づけることが促されました。

## (2) 国・東京都等の各種制度の動向

### 【国の動向】

- 「グリーンインフラ実践ガイド」、「グリーンインフラ推進戦略 2023」（令和 5 年）、「緑の基本計画× グリーンインフラガイドライン（案）」（令和 6 年）が策定され、さらなるグリーンインフラの普及・拡大を推進
- 「生物多様性国家戦略 2023-2030」（令和 5 年）が策定され、2030 年のネイチャーポジティブの実現を目指す取組を推進
- 脱炭素社会の実現に向けた取組が加速しており、国は 2035 年度 60%削減、2040 年度 73%削減の新たな「日本の NDC（国が決定する貢献）」を、令和 7 年 2 月に国連気候変動枠組条約事務局へ提出

### 【東京都の動向】

- 令和 2 年 7 月に「緑確保の総合的な方針」、「都市計画公園・緑地の整備方針」を改正
- 令和 2 年 3 月、都市における生産緑地、樹林地等の保全や新たな緑の創出などにより、緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京の実現に資する事業に要する資金に充てるため、区市町村による緑の保全・創出の取組等の支援に活用できる「緑あふれる東京基金」を設置
- 『『未来の東京』戦略』（令和 3 年 3 月）において、「戦略 13 水と緑溢れる東京戦略」の実現に向け、積極的に緑の保全・創出に取り組む区市町村を支援するために「東京の緑の保全・創出支援プログラム」を作成
- 100 年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を推進（令和 5 年 3 月）
- 「2050 年東京戦略」（令和 7 年 3 月策定）の「19 緑と水」にて、「豊かな緑と水が織りなす潤いと安らぎの都市 東京へ」というビジョンを掲げ、東京グリーンビズを強力に推進
- 「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を令和 7 年 3 月に策定し、2035 年までに温室効果ガス排出量を 60%以上削減（2000 年比）する新たな目標と、その達成に向けた 31 の個別目標を設定し、実効性ある施策を推進

### 【小金井市の動向】

- 令和 4 年 1 月「小金井市気候非常事態宣言」を表明し、「2050 年ゼロカーボンシティ」に向けた取組を推進
- 小金井市都市計画マスタープランを令和 4 年 8 月に改定

### 小金井市都市計画マスタープラン 令和 4 年 8 月

「基本目標 3 次世代に誇れる自然と都市が調和したまち」の中で、「みどり・水・環境共生の方針では、地域固有の資源である豊かなみどり・水をいかしたネットワークの形成、みどりの保全・創出、風景・景観の保全と形成、循環型社会の推進及び脱炭素化に向けた取組など、次世代に誇れる自然と都市が調和した持続可能なまちを目指します。」としています。

基本目標 3	次世代に誇れる自然と都市が調和したまち
みどり・水・環境共生の方針	
目指す将来像	
■ 市内の豊かなみどり及び水辺など、市民の憩いの場であるだけでなく、市外の人を訪れても楽しめる光景が広がっている、自然環境が持つ多様な機能を活用した魅力あるまち	
■ みどり・水に触れられる環境が身近にあり、多世代で自然を学び、生物多様性の保全など自然環境を守り育てる市民活動が活発なまち	
■ 美しさと風格を備えた風景・景観の保全と形成が図られたまち	
■ 循環型社会の形成及び省エネルギー行動に努め、再生可能エネルギーを活用するなど、市民一人ひとりの高い意識による限りある資源を有効に活用した環境にやさしいまち	

### (3) 社会情勢の変化

- 気候変動対策

温室効果ガスの排出増大等による地球温暖化の進行は、豪雨等による自然災害の発生、海面の上昇、生態系の攪乱等により、都市生活、経済活動、農林水産業等に深刻な影響をもたらしており、温室効果ガスの排出削減、吸収源対策が喫緊の課題となっています。日本は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を目指し、取組を推進しています。

- 生物多様性の確保

都市の緑地は、動植物の生息地・生育地として地域固有の生態系を支える基盤であり、また、都市の住民がその生態系を学び、保全等に関わることのできる身近な場所です。2030年のネイチャーポジティブの実現に向けて、「生物多様性国家戦略 2023-2030」（令和5年）が策定され、良好な自然的環境を有する緑地の保全、再生が求められています。

- Well-being の向上

都市の緑地は、都市生活における環境に起因する健康リスクの軽減に寄与すること、また、ストレスの緩和やリラクゼーション効果、身体活動、住民の相互交流の促進、コミュニティの結束強化等を通じて Well-being を支え、促進し、精神的・身体的な健康の増進、認知・免疫機能の向上、死亡率の低下等にも寄与することが報告されています。

- グリーンインフラの推進

グリーンインフラは、「社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組」と定義され、その推進により様々な社会課題の解決に向けた普及・拡大が求められています。

#### 【課題】

- ・ 緑の基本方針において、緑地の保全及び緑化の推進の意義として「生物多様性の確保」や「Well-being の向上」、「気候変動対策」があげられ、「人と自然が共生するネイチャーポジティブを実現した都市」、「Well-being が実感できる水と緑豊かな都市」、「環境への負荷が小さいカーボンニュートラル都市」を目指すことが必要
- ・ 地域固有の自然的環境や歴史・文化を学ぶことができる環境教育・生涯学習に関する内容の充実が必要
- ・ 国や東京都の動向や市の関連計画を踏まえ、グリーンインフラの普及・拡大や、まちづくりや地球温暖化対策としてのみどりの機能を一層活用することが必要

## 4. 中間見直しの内容

### 4-1 小金井市みどりの基本計画

小金井市みどりの基本計画における見直し箇所を以下に示します。新たなガイドラインの作成に伴い、見直しを行いました。

#### 小金井市みどりの基本計画（都市公園等の整備及び管理の方針）見直し（案）

新たなガイドライン策定に伴い、赤字下線部分を追記し、計画の一部を見直す。

### 4 都市公園等の整備及び管理の方針

都市公園等は、環境保全、レクリエーション、防災、都市景観及び生物多様性の確保など、みどりの有する多様な機能を効果的に発揮させる上で、重要な役割を担います。

本市では都市化が進展しており、市街地の中の貴重なオープンスペースとしての公園等が担う役割は非常に重要となっています。

この点を踏まえて、本市における都市公園等の整備及び管理の方針は、小金井市公園等整備基本方針（平成31年3月）、小金井市立公園等の樹木管理ガイドライン及び小金井市インクルーシブデザインに配慮した公園活用ガイドラインを基本とし、整備の優先度の高い都市公園等の魅力向上及び安全確保を進めます。

#### 都市公園等の整備の方針

##### 【新規公園の整備】

- ・「都市計画公園・緑地の整備方針」（令和2年7月）に基づく公園等の整備や、土地区画整理事業における公園等の整備を進めます。
- ・また、これ以外の公園等については、市全体と地域ごとの将来の人口・構成分布を考慮し、市が管理する公園等のみならず、都立公園、民間が管理する公園、隣接市の公園、大学及び寺社などのオープンスペースを含め、安全性、利便性、地域性、地形などの環境条件を勘案して配置します。
- ・新規に整備する公園等については、本市ではグリーンインフラの促進の観点から、地下水涵養の促進<sup>3.2</sup>、地域コミュニティ形成などの機能向上に向けた整備を行い、合わせて公園等の周辺地域又は公共施設の緑化を進めることでみどりの多機能性を効果的に発揮できるよう取り組みます。

##### 【集約化・再配置への対応】

- ・今後の高齢化や人口減少に伴う予算規模の縮減を想定し、効率的な整備をするため、活用が図られていない公園等の土地利用転換などしつつ、既存公園等の魅力向上を図ります。

<sup>3.2</sup> 地下水涵養の促進 ▶ 武蔵野台地上に降った雨が崖下で湧水として湧出し、野川等の水辺を形成している。この点も踏まえ本市では、住宅地からの雨水の地下水涵養促進のため、雨水施設の設置のための周知啓発や設置助成に取り組んでいる。

## 都市公園等の管理の方針

### 【公園施設の設置・管理】

- ・既存公園等のトイレ、ベンチ及び水道などの公園施設については、誘致圏<sup>3.3</sup>の重複状況、利用者数及び利用者ニーズなどを考慮し、設置、修繕又は撤去などを慎重に検討します。
- ・一般遊具や複合遊具、健康遊具などの遊具は、遊具定期点検などの結果により、安全基準を満たさない遊具について優先的に整備・改修を行い、総量を維持します。なお、誘致圏の重複状況、利用者数及び利用者ニーズなどを考慮し、撤去についても検討します。また、遊具を新たに設置する場合は、外部から見通しが良く、死角を排除するように設置します。
- ・市民が日常的な健康づくりの場や子育ての場として快適に利用できるよう、感染症対策などの利用マナーの啓発を図ります。公園利用者の安全確保のため、都市公園等にはプライバシーの保護に留意しながら、防犯カメラの設置を検討します。
- ・小金井市インクルーシブデザインに配慮した公園活用ガイドラインに基づき、多様な利用者を想定し、地域性を踏まえながら、障がいのある子もない子もみんなで遊べるインクルーシブ遊具の導入を検討します。

### 【安全の確保と緑の軸の形成のための植栽管理】

- ・小金井市立公園等の樹木管理ガイドラインに基づき、公園等の植栽については、安全確保のため、老木や倒木の危険のある樹木は植え替えなどによる新陳代謝を図ります。
- ・市域を東西、南北につなぐみどりの軸を形成するため、みどりの軸の周辺の公園等については、生物多様性の確保や生態系ネットワーク形成を考慮して、植栽管理を図ります。

### 【多様な管理方法の導入検討】

- ・地域のコミュニティ形成や活躍の場づくりなどにより公園等の安全の確保、魅力向上を進めるために、地域住民や市民が安全に利用できる公園ルールの見直しや、ボランティアが活躍できる管理方法を検討します。
- ・公園等に新たなにぎわいの創出を図るため、指定管理者制度の導入や、公募設置管理制度（Park-PFI 制度）などの導入について検討します。

関連：基本方針2（1）魅力ある公園をつくる

3.3 誘致圏▶公園の主たる利用者が居住する範囲のこと。

### 3 計画の期間・計画のフレーム

本計画の期間は、上位計画である第5次小金井市基本構想の計画期間を踏まえ、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とします。

ただし、計画の進捗状況や本市を取り巻く環境・社会状況の変化に合わせて、取組内容や指標などについて、必要に応じて見直しを行います。

#### 計画のフレーム

- 計画対象区域：市全域を計画対象区域とします。(1,130ha)：全域が市街化区域<sup>35</sup>
- 人口：人口は今後も増加する傾向にありますが、10年以内には減少に転じます。

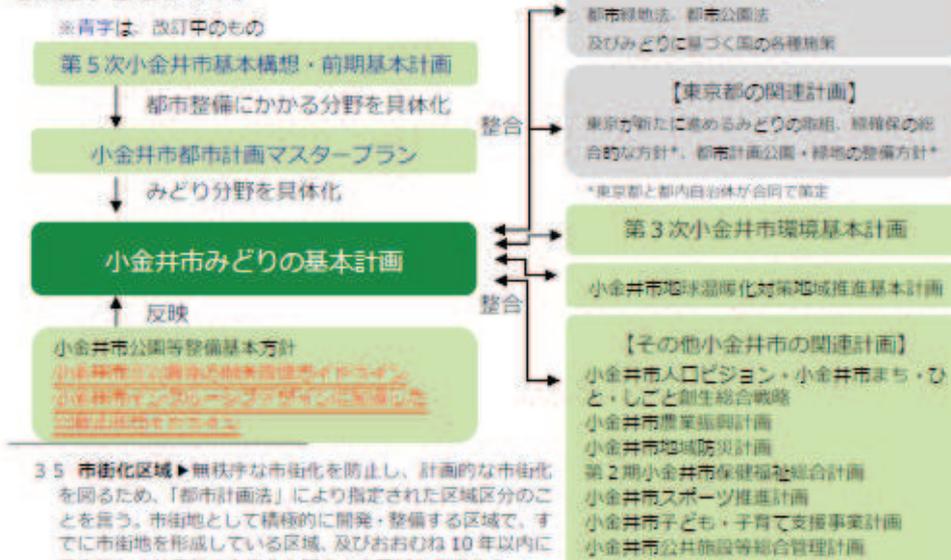
年	令和2年(2020年)	令和12年(2030年)
人口	119,321人*1	118,953人*2

\*1 住民基本台帳人口(日本人のみ)外国人を含む人口は122,306人

\*2 小金井市人口ビジョン(平成28年3月)パターンC：第4次基本構想・後期基本計画における人口推計より

### 4 計画の位置付け

みどりの基本計画は、上位計画である「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」や「小金井市都市計画マスタープラン」、「第3次小金井市環境基本計画」や「小金井市人口ビジョン・小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの関連計画と調和・連携を図り、広域的な視点とし、関係法令、国の施策及び東京都の関連計画を踏まえて策定するものです。



35 市街化区域▶無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため、「都市計画法」により指定された区域区分のことを言う。市街地として積極的に開発・整備する区域で、すでに市街地を形成している区域、及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域を指定する。

## 4-2 小金井市みどりの基本計画の実施計画

みどりの基本計画の目標を実現するために、具体的な取組事業をまとめた、みどりの基本計画実施計画について、以下の内容を追加、見直しました。計画後期においては計画の目標達成に向け、さらに取組を強化し、計画を推進します。

### 基本方針 1 みどりを守る

- 保全緑地制度の認知度向上のため、ホームページ、広報、イベントでの普及啓発のほか、回覧板や広報掲示板、自治会連絡会等も活用し、更なる周知を実施します。
- イベントの開催時においては、生物多様性に関する周知を行います。
- 地域固有の生態系を支える基盤である緑地の保全、再生を行います。
- 崖線斜面及び周辺部のみどりの保全などの活動をする市民団体やボランティアと連携して、維持管理・保全を行います。
- 環境緑地に指定した屋敷林や社寺林を、市民団体やボランティアと連携して維持管理・保全します。
- 市民や事業者などに保全緑地制度の紹介を実施するなど、さらなる制度の周知・活用を促進します。
- 保全緑地制度の樹種や維持管理の状況等の質を含めた指定要件を見直します。また、奨励金以外の維持管理に係る助成措置を検討します。
- 営農困難な生産緑地の貸借を推進するため、生産緑地の貸借が安心して行える新たな仕組みや賃借可能な団体等について、関係部署と連携のうえ周知します。

### 基本方針 2 みどりをつくる

- 魅力ある公園づくりとして、インクルーシブデザインに配慮した公園施設の活用及び公園を拠点とした障がい者等の理解を深める取組を実施します。また、身近な公園での農作物の植え付けや栽培、収穫体験や参加型イベントを通じて、農に触れるきっかけ作りを行います。
- 小金井市立公園の設計及び維持管理基準、小金井市立公園等の樹木管理ガイドラインに基づく適正な樹木管理を進めるため、危険樹木等の更新をします。
- 新しい生活様式に心がけて、心身の健康維持し、地域コミュニティの形成を図り、人々が集う場として公園を活用します。
- みどりの軸に隣接する公共施設の緑化を推進します。

### 基本方針 3 みんなで取り組む

- 大学などの地域の多様な人材を活用して、将来のみどりの担い手となる小中学生や子育て世代を対象とした、多様なみどりの機能や生態系・歴史・文化に触れるイベントを開催するなど、環境学習を充実します。
- みどりに関する情報発信を充実し、環境楽習館、市立公園等でのイベント、環境フォーラム等での周知、内容により学校や公民館等公共施設での掲示、近隣へのチラシ配布など多様な情報提供手段で広く周知します。東京都の「東京グリーンビズマップ」等、都と連携したみどりの情報提供を行います。
- 子育て世代や小中学生が気軽に参加できるようなイベント等を実施し、参加型のボランティアの実施・周知により新たなボランティア活動参加者を確保します。

# 資料編

# 小金井市みどりの基本計画実施計画の見直し

【見直し根拠とした関連資料】

- 小金井市みどりの基本計画実施計画(以下、「実施計画」)
- 令和5年度みどり率調査結果(以下、「みどり率」)
- 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査結果(令和7年度)(以下、「アンケート」)
- 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(以下、「目標値」)
- 緑化施策に係る国・東京都等の方針や各種制度の動向(以下、「国・都の動向」)
- 小金井市みどりの基本計画(都市公園等の整備及び管理の方針)(以下、「公園方針」)

NO	基本方針	取組方針	重点	主体的な取組	主な取組	取組事業名	該当する取組(具体的な事業等)			見直し理由	見直しの背景	見直しの方向性	見直し後の取組(担当課へ各課照会し決定)	
							取組事業内容	担当課	担当係				取組事業名	取組事業内容
1	1. みどりを守る	(1) 国分寺・唐線・野川のみどりを守る		① 唐線斜面及び扇辺部のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	① 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	環境政策課	環境政策課	緑と公園係	●市民に制度が認知されておらず、指定されていない樹木や生け垣などは多いと思われる。環境フォーラムなどで保全緑地制度の周知を強化する必要がある。	保全緑地制度の普及啓発についての取組の進捗	保全緑地制度などの活用による保全	保全緑地制度など地域の活用による保全	保全緑地制度、国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。また、市民に制度が認知されておらず、指定されていない樹木や生け垣などは多いと思われる。環境フォーラムなどで保全緑地制度の周知を強化する必要がある。	
2	1. みどりを守る	(1) 国分寺・唐線・野川のみどりを守る		① 唐線斜面及び扇辺部のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	① 唐線斜面及び扇辺部のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	環境政策課	環境政策課	緑と公園係	●ネイチャーポイント(生物多様性の損失を止めて回復させること)、30%の30/30(2030年までに扇辺部の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標)の認知度が低かった。	扇辺部でのイベント実施	扇辺部でのイベント実施	扇辺部でのイベント実施	扇辺部でのイベント実施	
4	1. みどりを守る	(1) 国分寺・唐線・野川のみどりを守る		① 唐線斜面及び扇辺部のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	① 唐線斜面及び扇辺部のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	環境政策課	環境政策課	緑と公園係	●国の緑の基本方針において、緑地の保全及び緑化の推進の意識として生物多様性の確保があげられ、人と自然が共生するネイチャーポイント等が推進し、市民に認知され、市民が主体的に参加し、自然と共にまぶすに努めます。	国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する	国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する	国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する	国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する	
5	1. みどりを守る	(1) 国分寺・唐線・野川のみどりを守る		① 唐線斜面及び扇辺部のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	① 唐線斜面及び扇辺部のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 国分寺公園の緑地を保全し、健全な緑地を創出する。	環境政策課	環境政策課	緑と公園係	●取組状況、評価、実施効果が評価、活動を休止したため段階的に見直しを行う必要がある。	市民団体の活動の支援	市民団体の活動の支援	市民団体の活動の支援	市民団体の活動の支援	
6	1. みどりを守る	(2) 民有地のみどりを守る	★	① 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。	① 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。	環境政策課	環境政策課	緑と公園係	●小中学生の参加の促進には至っておらず、小中学生の環境緑地での活動は少ない。	環境緑地による環境緑地	環境緑地による環境緑地	環境緑地による環境緑地	環境緑地による環境緑地	
7	1. みどりを守る	(2) 民有地のみどりを守る	★	① 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。	① 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。	環境政策課	環境政策課	緑と公園係	●市の積極的な働きかけにより、保存樹木の指定の本数を増やすことが可能であると考える。	保存樹木の指定の本数を増やすこと	保存樹木の指定の本数を増やすこと	保存樹木の指定の本数を増やすこと	保存樹木の指定の本数を増やすこと	
8	1. みどりを守る	(2) 民有地のみどりを守る	★	① 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。	① 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。 ② 民有地のみどりを保全し、健全な緑地を創出する。	環境政策課	環境政策課	緑と公園係	●保全緑地制度の指定要件緩和を要望し、問い合わせが増える新規指定の増加などの成果がある一方で、維持管理が困難となり、保存樹木の指定が減少するなどの課題も出てきている。アンケートでの認知度は約3割であり、保存樹木の指定など管理が図られていない樹木についても増加傾向にある。	保全緑地制度の指定要件緩和の要望	保全緑地制度の指定要件緩和の要望	保全緑地制度の指定要件緩和の要望	保全緑地制度の指定要件緩和の要望	

# 小金井市みどりの基本計画実施計画の見直し

【見直し根拠とした関連資料】

- 小金井市みどりの基本計画実施計画(以下、「実施計画」)
- 令和5年度みどり率調査結果(以下、「みどり率」)
- 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査結果(令和7年度)(以下、「アンケート」)
- 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(以下、「目標値」)
- 緑化施策に係る国・東京都の方針や各種制度の動向(以下、「国・都の動向」)
- 小金井市みどりの基本計画(都市公園等の整備及び管理の方針)(以下、「公園方針」)

NO	基本方針	取組方針	重点	具体的な取組	該当する取組(具体的な事業等)			見直し理由	見直しの方向性	取組事業名	見直し後の取組(担当課へ各課照会し決定)
					主な取組	取組事業名	取組事業内容				
1	みどりを守り	(3)農地を守る	★	①活用して農地を守る★ ②新たな公園を整備する★	—	—	●生産緑地地区面積は減少傾向であり、目録である減少率を抑制するため。 ●環境基本計画における取組との整合を図る。 ●みどり率における産用率が減少している。	●産用率を抑制し、目録である減少率を抑制する。 ●環境基本計画における取組との整合を図る。 ●みどり率における産用率が減少している。	営業緑地等都市農地の活用を推進(新築)	「都市農地の活用に関する法律」の施行により、意欲ある事業者や新規就業者、また、市民農園を開設したいと考えている民間企業が生産緑地の活用を推進し、農地の活用を促す。 ●環境基本計画における取組との整合を図る。 ●みどり率における産用率が減少している。	
2	みどりを取り戻す	(1)魅力ある公園をつくる		①新たな公園を整備する★	—	—	●魅力ある公園をつくるとして、小金井みんらの公園(以下「here」)(子ども遊び場等整備事業)を計画に位置づける。 ●緑の基本方針において、緑地の保全及び緑化の推進の意義として「Well-beingの向上」があげられ、「Well-beingが実感できる」と緑地がかなる都市を目指すべきである。 ●都市公園等の整備及び管理の方針(小金井市インクルーシブデザインに配慮した公園活用ガイドライン)。	●魅力ある公園をつくるとして、小金井みんらの公園(以下「here」)(子ども遊び場等整備事業)を計画に位置づける。 ●緑の基本方針において、緑地の保全及び緑化の推進の意義として「Well-beingの向上」があげられ、「Well-beingが実感できる」と緑地がかなる都市を目指すべきである。 ●都市公園等の整備及び管理の方針(小金井市インクルーシブデザインに配慮した公園活用ガイドライン)。	インクルーシブデザインに配慮した公園施設の活用に関する取組を推進する。 ●環境基本計画における取組との整合を図る。 ●みどり率における産用率が減少している。		
23	みどりを取り戻す	(1)魅力ある公園をつくる		③公園機能を充実・更新する★	緑と公園係	環境政策課・経済課	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	
24	みどりを取り戻す	(1)魅力ある公園をつくる		③公園機能を充実・更新する★	緑と公園係	環境政策課	7.新型コンパクトシティ等の感染拡大防止のため、密集・密集を避ける公園管理を行います。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	
42	みどりを取り戻す	(3)みどり/まちなみをつくる	★	①住宅のみどりを増やす★ ②市街地や商業施設、事業所のみどりを増やす	緑と公園係	環境政策課	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	
46	みどりを取り戻す	(3)みどり/まちなみをつくる		②市街地や商業施設、事業所のみどりを増やす	緑と公園係	環境政策課	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	
50	みどりを取り戻す	(1)みどりについて知り、親しむ	★	①みどりに関する情報を発信し、共有する★ ②みどりに関する情報を発信し、共有する★	環境係	環境政策課	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	
52	みどりを取り戻す	(1)みどりについて知り、親しむ	★	①みどりに関する情報を発信し、共有する★ ②みどりに関する情報を発信し、共有する★	緑と公園係	環境政策課	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	
61	みどりを取り戻す	(2)みどりに関する活動に取り組む	★	⑤若い世代のボランティア活動を促進します。	緑と公園係	環境政策課	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	●安全確保及び適正な樹木の管理を行うこと。中核となる木を主にし、樹種を多岐にわたる樹種及び巨木化・老木化し、樹木の危険がある樹木の更新を実施し、適正な樹木の配置を図ります。	

## 小金井市立公園等指定管理者評価について

## 1 指定管理者制度について

指定管理者制度は、平成15年の地方自治法の改正により、公の施設の管理を地方公共団体が指定する法人その他の団体（民間事業者を含む）に委ねることができるようになった制度であり、多様化する市民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間等の能力を活用し、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的としている。

## 2 対象施設

- (1) 市立公園（220の公園及び緑地）
- (2) 滄浪泉園緑地
- (3) 環境楽習館

## 3 指定管理者導入の目的

- (1) 市立公園及び滄浪泉園緑地（以下「市立公園等」という。）

適切な樹木等の維持管理、利用者の少ない公園の活用、にぎわいの創出、市民ボランティアとの協働の推進及び新たな市民サービスの提供など、「公園の質の向上を図る」ことを目的としている。

- (2) 環境楽習館

施設のにぎわいの創出、利便性の向上、隣接する滄浪泉園緑地との一体利用により、利用の促進を図り、「環境啓発の機運を醸成する」ことを目的としている。

## 4 指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地

名 称 株式会社日比谷アメニス

所在地 東京都港区南麻布三丁目20番1号 Daiwa 麻布テラス4階

## 5 指定の期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

## 6 指定管理者の業務範囲

### (1) 市立公園等

- ア 市立公園等の管理運営に関する業務
- イ 市立公園等の維持管理及び修繕に関する業務
- ウ 市立公園等の利用を制限し、又は禁止をする業務
- エ 市立公園等の使用許可又は使用承認に関する業務
- オ 市立公園等利用者への案内及び要望・苦情への対応
- カ 市民やボランティア等との協働事業の推進
- キ 自主事業
- ク 事業のモニタリング
- ケ 公園施設の設置・管理運営
- コ その他市長が特に必要と認める事業  
(例：滄浪泉園緑地周年事業の協力、市立小学校の環境教育支援事業の協力、他自治体の視察の受け入れ等)

### (2) 環境楽習館

- ア 環境楽習館の管理運営に関する事業
- イ 環境楽習館の維持管理及び修繕に関する業務
- ウ 環境楽習館の集会室の使用承認等に関する業務
- エ 環境楽習館利用者への案内及び要望・苦情への対応
- オ 環境啓発に関する事業
- カ 市民やボランティア等との協働事業の推進
- キ 自主事業
- ク 事業のモニタリング
- ケ その他市長が特に必要と認める事業

## 7 評価の趣旨

### (1) 管理運営状況に関する評価について

市と指定管理者が協定で合意した管理業務の実施・安全管理、関係法令の遵守及び個人情報保護といった指定管理者が遵守すべき事項について確認を行うとともに、各施設におけるサービスの実施状況や利用者満足度等を確認し、管理運営状況を評価する。

その評価結果を管理運営に反映していくP D C Aサイクルを構築す

ることで、各施設におけるサービスの一層の向上を図っていくことを目的としている。

## (2) 評価の根拠条例

以下の条例に基づき、指定管理者の管理運営状況を評価する。

- ・小金井市立公園条例（平成3年条例第26号）第3条の9
- ・小金井市滄浪泉園緑地条例（昭和54年条例第17号）第2条の4
- ・小金井市環境楽習館条例（平成24年条例第26号）第3条の4

## 8 評価目的

指定管理者制度の運用について、PDCAサイクルを確立し、適正な管理運営及び質の高いサービスの提供につなげることを目的とし、指定管理者の事業提案について、提案どおり事業に反映できているか等含めて評価を行うものである。

## 9 評価の視点

指定管理者評価委員会において、指定管理者へのヒアリング及び現地確認等を踏まえ総合的に評価する。

## 10 総合評価

総合評価は、大項目の各評価の数により、さらにA評価からD評価までの4段階で評価し、総合的な特記すべき事項を付す。

総合評価		大項目の評価			
		A評価	B評価	C評価	D評価
A評価	優れている	3つ以上	—	ない	ない
B評価	適正である	—	3つ以上	2つ以下	ない
		ない	全て	ない	ない
C評価	改善が必要である	—	—	3つ以上	ない
D評価	至急改善が必要である	—	—	—	1つ以上

令和6年度小金井市立公園等・小金井市環境楽習館指定管理業務評価

No.	大項目	評価者コメント	評定点合計	評価
1	組織・運営体制の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務仕様書、業務水準書に基づく事業計画書のとおり、適切な組織体制により、施設の設置目的を踏まえた管理運営を実施している。</li> <li>・職員に公園管理経験者を配置し、環境楽習館には、市内事情に詳しい職員を配置するなど 運営体制は適正である。</li> <li>・日々大変丁寧に、仕組みや体制もしっかりとしたものをつくり、整えていて、事前に予想していた以上によくやっている。</li> </ul>	50	A
2	施設運営の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境楽習館に地域の子どもから高齢者が日常的に集うようになり、利用者数が増えているとおり、これまでの経験やノウハウを最大限発揮した施設運営が図られている。また、低未利用公園の活用について、市民の声を生かすために、「パークハック」を立ち上げ、イベントの実施の取組は非常に評価している。</li> <li>・施設運営は、それぞれの施設によって対応もさまざまで工夫が必要な面があると思う。すでに民間委託に対しての不安は解消され、市民の団体とも連携しながら運営されていると適切である。低未利用公園かどうかは、イベントなどが実施しやすい公園とそうでない公園では、利用者数のカウントが異なる場合もあり同等には評価できないが、それぞれの公園の特徴を生かした運営を望む。</li> <li>・環境美化サポーターとの連携、協働について、日常的に意見を汲み上げ、対応している。</li> </ul>	50	A
3	維持管理の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての市立公園を週1回以上定期巡回し、予防的観点での維持管理を適切に実施できている。</li> <li>・維持管理の中でも、植栽や樹木管理などは、公園や緑地によって課題が多い場合もあり、今後については、市のガイドラインを市民にも伝えながら取り組んでいく必要があると思う。市民の憩いの場となる公園管理を心がけて対応しており、適切である。</li> <li>・このまま安心して公園に遊びに行っておいでと送り出せるような安心感がある。何を重点的に対応するのかは今後2年3年で年度代わっていきと思うが、向上していくようにしてほしい。</li> <li>・本当に細かいいろいろな考えて対処している。市内に公園が220もあるのに細かく回って、隅々まできれいに管理されている。</li> <li>・小さな公園にもちゃんと公園の表記がされていて、ちゃんと目が行き届いているんだなと感心した。</li> <li>・栗山公園は、以前に比べて非常に樹木がすっきりし、池もきれいになり、遊んでいる子供たちも多くなってきたので、指定管理にさせていただいてよかった。</li> </ul>	50	A
4	サービスの向上の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagramを活用した効果的な情報発信や充実した自主事業は、非常に評価している。また、アンケートでも回答者の6割以上が満足している結果が出ており、引き続き2年目以降も期待している。</li> <li>・市民にとって、公園や施設が使いやすい楽しくすることは大切であり、利用者の声を聞くなど、適切に対応できていると思うが、単にサービスが向上という視点だけではなく、市民も一緒に公園や施設の運営などに関わっていくという意識を醸成できると、さらによいのではないかなと思う。</li> <li>・No.12の「アンケート結果を適切に分析し、業務改善に活用している。」のアンケート結果というのが公園利用者に対するアンケートなのか、イベント参加者に対するアンケートなのか判断できず、評価ができなかった。公園利用者に対する業務改善には活用していると評価するが、イベント参加者に対するアンケートは適切に分析しているか分からない。</li> </ul>	48	A
5	収支状況・経理事務及び労務環境の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者の当社と連携した経理及び労務管理により、適切な事務執行がなされている。また、管理業務開始直後から、市内造園事業者などに再委託することなく、直営スタッフによる樹木剪定等を実施し、支出の抑制したことは非常に評価できる。</li> <li>・前回お願いした追加資料等を確認のうえ判断する。</li> <li>・収支状況は安定性も求められるが、こだわり過ぎることなく柔軟に対応していただくのが良いと思う。事務および労務環境も適切である。</li> <li>・来年以降は収支が出てくると思いますので、利用料金等が適正かどうか確認する必要があります。</li> </ul>	46	A
	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の多くの公園、緑地は個々に事情が異なります。これを的確にニーズに応えながら、指定管理を実施することは、方向性をしっかり持ち、多くのスタッフがきめ細かく、連携をして丁寧な仕事の積み上げが必要であり、試行錯誤して、独自の管理システムも取り入れて、現在までそれが行われていると評価しました。環境楽習館も利用が増加し、目を見張るものがあります。引き続き、市民のニーズの変化を捉えていただきたい。</li> <li>・市立公園・緑地は多様で多数あることから、業務も多岐にわたる状況で、適正に取り組んでいると認識した。環境楽習館については新規の業務委託で、いろいろ工夫された取り組みが行われ、認知度も利用者も広がり、好循環が生まれていると思う。</li> <li>・平成23年9月に開設した環境楽習館については、この間、来場者数が伸び悩み、長い間の懸案事項であった。しかし、指定管理者が管理運営することにより、様々な事業を行いながら、地域の方々に認知をしていただいたことが、来場者数の大幅な増加につながったことは高く評価している。さらに、放課後は、子供たちの居場所となり、環境学習を中心とした学習の場所にもなっているようだ。</li> <li>・公園と環境楽習館の事情が異なる中で指定管理行われることに最初は疑問であったが、試行錯誤をしながら、多くのスタッフときめ細かく連携をして、丁寧な仕事をしている。特に独自のシステムの導入した管理は評価できる。環境楽習館の利用者が増加して目を見はるものがある。引き続き滄浪泉園との連携を図り、より市民のニーズの変化に応じていただきたい。</li> </ul>	244	A

## 子どもの遊び場等整備事業について

## 1 目的

市立公園において、インクルーシブデザインに配慮した遊び場及び菜園等の整備に当たり、ワークショップ等を通じて得られた子どもの意見を基に、あらゆる子ども及び保護者同士が誰でも参加できる遊び場等とすることにより、子ども及び保護者同士の相互理解の促進を図り、共生社会の実現に寄与することを目的とする。

## 2 令和7年度の事業概要

## (1) 小金井第四小学校・南小学校での障害のある小学生とその保護者の普及啓発授業の実施

「心のバリアフリー」ということを考え、伝えあう機会が大切であると考え、小金井第四小学校の4年生を対象に7月7日に、南小学校の6年生を対象に9月2日に授業を実施した。授業では、プロジェクトの活動を紹介しつつ、当事者の方々にも参画頂くことで、整備予定の三楽公園周辺で暮らす地域の小学生と一緒に、みんなのための公園のより良いあり方を考えた。





(2) 誰もが遊べたり、体験できるインクルーシブデザインに配慮した遊び場等の工事

公園は本来、誰にでも開かれた空間であり、誰もがここに居て良い場所とするために、整備工事を行っている。

ア 栗山公園 遊具等の整備



イ 梶野公園 菜園・ウッドデッキ等の整備



ウ 三楽公園 遊び場及び菜園の整備（令和8年3月完成予定）



### (3) 栗山公園のんびりデーの開催

障がいのあるなしに関わらず、だれもが公園でのんびりしたり、遊んだりすることができることの大切さを感じたり、考えあうためのイベントを11月16日に開催した。当日は、焚火を囲んでのんびり過しながら、遊び道具の貸出など、多くの子どもや大人が笑顔にごちゃまぜにア遊んだり、過ごしたりできるイベントとなった。



### (4) 栗山公園ビオトープづくりワークショップ

東京学芸大学及び社会医学技術学院と連携して、令和8年1月から2月に全3回のワークショップを実施し、市内の子どもの意見、発想及びイメージを引き出し、栗山公園のビオトープの有効な活用により、生き物や植物の成長の様子に関心や親しみを持つことにつなげ、環境教育の充実を図る。

また、障がいのあるなしに関わらず、子ども同士、子どもと学生、子どもと地域の大人が、協力し合いながら交流することで、子どもが生き生きと活動を通じた地域コミュニティの醸成及び地域共生社会の実現につなげる。

## 小金井市立公園等緑化イベントについて

## 1 目的

身近な公園内の花壇の手入れや花の植え替え等をイベントとして実施することで、子どもが気軽にみどりに触れられる機会を設け、みどりの担い手のきっかけづくりとする。また、環境美化サポーターの活動も知ってもらう機会とし、より多くの人々がみどりのために活動する機会を拡げる。さらに、養成講座は、ボランティア団体同士の交流も目的とし、他の団体の活動に参加することで、活動に対する意欲向上を図る。

## 2 令和7年度の実施概要

内容	(1)落ち 葉掃き	(2)公園花壇 の植え替え		(3)たね団子作り						(4)ボラ ンテ ィア 養成 講座	(5)苗木配 布	
場所	浴恩館 公園	栗山公園		梶野公園			環境楽習館				滄浪 泉園	
日時	12/7 (日)	7/5 (土)	11/15 (土)	6/1 (日)	11/5 (水)	11/7 (金)	7/4 (金)	7/6 (日)	10/10 (金)	10/13 (祝)	10/8 (水)	10/26 (日)
対象	大人	親子	親子	親子	大人	大人	大人	親子	大人	親子	大人	—
参加人数 (人)	16 (4)	16 (9)	18 (9)	30 (17)	8	15	10	15 (8)	11	26 (13)	13	100

※ 参加人数の ( ) 内表記は、子どもの参加人数

## 3 イベントの様子と効果

## (1) 落ち葉掃きイベント (浴恩館公園)

今年度初めて、浴恩館公園にて落ち葉掃きイベントを実施した。本公園で長年環境美化サポーターとして活動されているボランティアの方々の発案で、紅葉が見頃の12月初旬に実施し、落ち葉掃きで集めた葉を使用してしおりを作成した。



## (2) 公園花壇の植え替え（梶野公園、栗山公園）

親子で一緒に土や花に触れる機会として、毎年同時期に公園内の花の植え替えを実施している。先着順にて参加者を募集しているが、毎年早々に定員に達し、地域に認知されてきている。

また、植え替え時に公園で子どもを遊ばせている保護者の方から、次回の開催時期や参加方法を聞かれることも多く、継続開催が更なる周知に繋がっている。



## (3) たね団子づくりワークショップ（梶野公園、環境楽習館他）

今年度から環境美化サポーターが講師として、親子向け及び大人向けに土に花の種と肥料を混ぜて丸める、たね団子づくりワークショップを新たに開催した。

たね団子は、風雨で種が流されにくい、新しい種まきの方法で、子供から大人まで泥遊び感覚で作ることができた。また、自宅でも作成できるキットを配布し、身近なみどりを増やす契機となり、非常に好評であった。



#### (4) ボランティア養成講座（環境楽習館）

市内のボランティア活動に興味のある方や、既に環境美化サポーターとして活動している方を対象に日本防災植物協会の方を講師として、身近な公園に生えている野草について、その効用や調理方法の知識を深めた。

防災植物を使った試食会では、食を通じて参加者同士の交流を深めることができ、新たな環境美化サポーターの登録に繋がった。



#### (5) ブルーベリー等の苗木配布（滄浪泉園緑地）

梶野公園まつりでのブルーベリー等の苗木配布が定着したが、令和7年度は雨天のため、梶野公園まつりが中止となったため、滄浪泉園緑地にて配布する方法に変更した。

## 身近なみどりフォトコンテストについて

## 1 目的

市立公園やまちなかの身近なみどりに対する関心を高め、みどりについて知り、親しむ機会とする。

## 2 概要

- (1) テーマ：身近なみどりコンテスト（市立公園やまちなかの写真募集）
- (2) 応募期間：令和7年5月15日（水）から6月15日（水）まで
- (3) 応募数：28点（うち、市立公園部門7点、まちなか部門21点）

## 3 受賞作品

部門	賞	番号	作品	撮影者コメント
市立公園	市長賞	1		毎年見に行っている公園の桜。今年もしっかりと綺麗な花を咲かせていました。レトロな遊具とのコントラストがお気に入りです。
市立公園	副市長賞	3		滄浪泉園でエビネを見つけたので、スマートフォンで撮影しました。 可憐な花がとても可愛いらしいです。

まちなか	市長賞	1 	主人がガーデニングが大好きです。夜はライトアップされます。とても綺麗です。主人と一緒にガーデニングを楽しんでいます。
まちなか	副市長賞	14 	散歩の途中、新緑が鮮やかな大きな木と中央線をスマートフォンで切り取ってみました。

#### 4 広報及び表彰式

(1) 市報、市ホームページ、市公式 LINE にて周知

(2) 表彰式

ア 日時

令和7年11月15日（土）午前9時30分

イ 場所

小金井 宮地楽器ホール

ウ その他

環境フォーラム実施会場、にて小金井市環境賞授賞式と同時開催



会場	14日 13:00-17:00	15日 9:00-17:00 (前半・後半同時開催)	16日 9:00-16:00
宮地楽器ホール	13:00-14:00 開会式 14:00-15:00 表彰式 15:00-16:00 環境賞授賞式 16:00-17:00 閉会式	9:00-10:00 開会式 10:00-11:00 表彰式 11:00-12:00 環境賞授賞式 12:00-13:00 閉会式	9:00-10:00 開会式 10:00-11:00 表彰式 11:00-12:00 環境賞授賞式 12:00-13:00 閉会式
小金井市市民センター	13:00-14:00 開会式 14:00-15:00 表彰式 15:00-16:00 環境賞授賞式 16:00-17:00 閉会式	9:00-10:00 開会式 10:00-11:00 表彰式 11:00-12:00 環境賞授賞式 12:00-13:00 閉会式	9:00-10:00 開会式 10:00-11:00 表彰式 11:00-12:00 環境賞授賞式 12:00-13:00 閉会式
小金井市市民センター	13:00-14:00 開会式 14:00-15:00 表彰式 15:00-16:00 環境賞授賞式 16:00-17:00 閉会式	9:00-10:00 開会式 10:00-11:00 表彰式 11:00-12:00 環境賞授賞式 12:00-13:00 閉会式	9:00-10:00 開会式 10:00-11:00 表彰式 11:00-12:00 環境賞授賞式 12:00-13:00 閉会式

## 保全緑地所有者アンケート調査について

## 1 目的

市内の民有地におけるみどりの健全な保全を推進するため、保全緑地の適正管理のための剪定費用及び危険度診断費用に対する新たな助成の創設等を検討にあたり、保全緑地所有者を対象にアンケート調査を実施する。

## 2 概要

## (1) 期間

令和 7 年 1 2 月 1 1 日（木）から令和 8 年 2 月 2 0 日（金）まで

## (2) 対象

現在登録のある全ての保全緑地所有者 1 9 3 名

## (3) 依頼方法

郵送にてアンケート用紙を送付

## (4) 回答方法

いずれかの方法（持参、二次元コード入力、メール、ファクシミリ、郵送）

## 3 集計後報告

令和 8 年度第 1 回緑地保全対策審議会にて報告のうえ、保全緑地制度の見直し等について審議を予定している。

## 4 アンケート内容

Q1. 所有している保全緑地の種類を丸で囲んでください。

（ 環境緑地 ・ 保存生け垣 ・ 保存樹木 ）

Q2. お送りした管理状況報告書右下の「整理番号」を記入ください。 （ ）

Q3. 現行の保全緑地の費用補助制度（年度ごとに申請をし、保存樹木 1 本あたり 2 千円、生け垣 1 m あたり 3 0 0 円、国分寺崖線区域内に存する環境緑地 1 m<sup>2</sup>あたり 2 0 円の奨励金振込）に対して、お考えに近いものをお選びください。

当てはまるものがない場合「その他」を選び、詳細を入力ください。（複数選択可）

- 今の奨励金制度（毎年、奨励金を申請し、支払いを受ける）のままがよい（Q7へ）
- 今の奨励金制度から、他の費用補助に変更した方がよい（Q4へ）
- どちらでもよい
- その他（ ）

Q4. Q3 で「他の費用補助への変更」を選んだ方に伺います。お考えに近いものを選んでください。

- 剪定費用の補助がよい (Q5 へ)
- 樹木の危険度の診断補助がよい (Q6 へ)
- 剪定費用・樹木の危険度診断どちらも必要 (Q5・Q6 へ)
- その他 ( )

Q5. 剪定費用の補助を希望する場合、補助の頻度について、所有者様のお考えに近いものを選んでください。

- 3年に一度程度がよい
- 5年に一度程度がよい
- その他 ( )

Q6. 樹木診断の補助を希望する場合、補助の頻度について所有者様のお考えに近いものを選んでください。

- 3年に一度程度 (所有者様からの希望があった場合による) がよい
- 5年に一度程度 (所有者様からの希望があった場合のみ) がよい
- 5年に一度程度 (更新手続き時に市の委託事業者による) がよい
- その他 ( )

樹木の賠償責任保険とは

樹木賠償責任保険は、「樹木の倒壊・落下」「根や枝の侵入」等、樹木に起因して第三者に損害を与えた場合の保険です。ただし、免責事項 (その事由に該当する場合は、保険対象外となる事項) として、管理不備は「故意」にあたることとされ、保険適用には日常的に管理していたことがわかる記録等が必要となります。また、台風等の自然災害も、被害の原因がその事故の発生が「不可抗力」によるものとして、法律上の損害賠償責任を負わず、免責事項として対象外となります。"

Q7. 市で加入している賠償保険は、一般的な賠償保険と同様に台風等の自然災害における倒木は免責事項となり、保険対象外となります。保険加入の継続と新制度への変更を検討するにあたり、所有者様の考えに近いものを選んでください。

- このまま保険加入してほしい
- 保険加入にメリットを感じない
- 保険加入分の費用を別の費用負担 (剪定や樹木診断等) に振り分けてほしい
- その他 ( )

Q8. その他、どのような補助制度があると、保存樹木・保存生け垣・環境緑地を維持していきやすいですか？

(自由記載欄)

## 小金井市みどりの基本計画中間見直しに係る委員意見一覧

- 第3回審議会御意見
- 第4回審議会事前御意見
- 赤字：対応方針

### ■ 報告書案全体について

- 犀川副会長：数字は半角に統一した方がよい。  
⇒目次、見出し、文章内含め、数字を全て半角表記に変更しています。
- 森委員：前回討議を踏まえて修正された内容でしょうか？  
⇒第3回審議会での御意見を踏まえるとともに、第4回審議会資料送付後にいただいた御意見もあわせて、資料に反映しています。

## 2. 小金井市のみどりに関する分析・評価

### 2-1 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査

#### ●【過年度との比較】の文章 ⇒資料1 p.4

犀川副会長：端的に一行くらいで、アンケートの聞き方が変わったということを明確に書き、説明した方がよい。

⇒冒頭に、「調査票内に「みどり」の説明を掲載し、アンケートの聞き方を変更しました。」と追記しました。

#### ○【小金井市のみどりの将来像・質の高いみどり】のイメージの共有 ⇒資料1 p.4

森委員：「小金井のみどりについて、ありがたい姿」いわゆるビジョンとも言える核となる部分が、行政と市民の間で隔たりがあるかもしれない事実は、見過ごすべきではない最重要課題と思います。イメージ図を作られたということは、環境政策課の皆様には具体的に言語化できる定義（姿）があるのだと思っています。ここを広く市民の皆様はどうやったら伝わるか、理解を促し、相互理解に努めていくことが肝要と思います。

⇒・小金井市のみどりの将来像・質の高いみどりについて、市報、市公式LINE、市ホームページ等のあらゆる情報媒体を活用するとともに、環境楽習館、市立公園等でのイベント、環境フォーラム等での周知を図り、今まで以上に理解促進を図ってまいります。

・みどりに関する情報が市民の方に実感として伝わるよう、「環境楽習館、市立公園等でのイベント、環境フォーラム等での周知」と追記修正しました。(みどりの基本計画実施計画 No. 52「みどりに関する情報発信」)

○みどりの施策の満足度・みどりの質の満足度について ⇒資料1 p.4

森委員：資料1の「みどりの施策の満足度」と「みどりの質の満足度」が最重要だと思います。前回、具体的なイメージを示したことで、市民一人ひとりが立ち止まって考えるようになった結果だ、という整理がありました。

“考える段階”までは届いた一方で、市が描くみどりの姿と、市民が実感として捉えているみどりとは、まだ重なり切れていないことが、むしろ浮かび上がったように感じます。この結果を市民にどう説明するのか、丁寧な整理が必要だと感じます。

⇒みどりの質について、市報、市公式LINE、市ホームページ等のあらゆる情報媒体を活用した周知を図るとともに、市立公園等でのイベント等を通じて、実体験として、みどりの多様な機能を感じることができる取組、生態系や景観への配慮に関する取組について知るきっかけをつくっていきたいと考えています。

- ・みどりについて知るきっかけとなるよう、「多様なみどりの機能や生態系、歴史・文化に触れるイベントを開催する」と追記修正しました。(みどりの基本計画実施計画 No.50「環境学習の充実」)
- ・具体的なイベントを通じた実体験を伴う周知となるよう、「環境楽習館、市立公園等でのイベント、環境フォーラム等での周知」と追記修正しました。(みどりの基本計画実施計画 No.52「みどりに関する情報発信」)

## 2-2 みどり率調査

●みどり率と緑地の現況について ⇒資料1 p.7

森委員：緑地の現況の表があるが、みどり率の結果とは数値がずれているようで、リンクがよくわからない。

小木曾会長：年度もみどり率と緑地の現況で令和5年度と令和7年度で異なっている。

⇒みどり率調査について説明を追記し、最新の調査は令和5年であることを明記しました。

「(4) 緑地の現況」としていた令和7年度のみどりの面積、箇所数の表は、東京都みどり率調査とは出典が異なり、年度も整合していないことから、現計画策定時より中間評価については、東京都みどり率調査を用いることとしていたため、令和7年度のみどりの面積、箇所数の表は削除し、ここでは東京都みどり率調査のみを掲載することとしました。

#### 4. 中間見直しの内容

##### 4-2 小金井市みどりの基本計画の実施計画

○森委員：前回討議を踏まえて修正された「みどりの基本計画中間見直し」の内容として、「みどりの基本計画実施計画の見直し」のどこに関連し、反映していますか。

⇒中間見直し報告書（資料1 p.20～21）にみどりの基本計画実施計画の見直し概要をまとめています。詳細は以下及び次ページの各委員の御意見に対する対応方針をご参照ください。

##### ●見直し後の取組の文章 ⇒資料1 p.20～21

●小谷委員：特定生産緑地の次回の更新（令和14年度）までにやるべきことはいろいろあると考えられる。民間事業者が生産緑地を貸すためには、信頼性がなければ貸すことはできない。それを支援するのであれば、マッチングの仕組みや、貸借しやすいよう中間支援をするが必要です。また、民間事業者の中に、地域に根ざしたNPOや町会や自治会などの団体が含まれることを強調し、裾野を広げることが大事だと思います。

⇒生産緑地の貸借制度について、生産緑地の貸借が安心して行える新たな仕組みや貸借可能団体等に言及し、より具体的な連携として、「営農困難な生産緑地の貸借を推進するため、生産緑地の貸借が安心して行える新たな仕組みや貸借可能な団体等について、関係部署と連携のうえ周知します。」を追記修正しました。（みどりの基本計画実施計画 No. 新1「営農困難な都市農地の貸借を推進（新規）」）

●小谷委員：「農空間の拡大及び生産緑地の追加指定の推進」、「農的空間の創出」として、使われていない低未利用の公園を農的な活用をしてみどりを創出してはどうか。

⇒公園での農に触れる体験について、追記しました。（みどりの基本計画実施計画 No. 新2「小金井みんなの公園プロジェクト「play here（新規）」）

●森委員：学校で子どもへ周知してもらおうなど、活動を広げていくと良いのではないかな。

小木曾会長：まちの掲示板なども高齢者や小学生がみえています。回覧板も一つのコミュニケーションです。

⇒周知方法について、「回覧板や広報掲示板、自治会連絡会等の活用」を追記修正しました。

(みどり基本計画実施計画 No. 1「保全緑地制度などの活用による保全」)

また、情報発信の手段について、「みどりに関する情報発信を充実し、イベント等での周知など、周知内容により学校や公民館等公共施設での掲示、近隣へのチラシ配布など多様な情報提供手段で広く周知する」と追記修正しました。(みどり基本計画実施計画 No. 52「みどりに関する情報発信」)

●小谷委員：現行の制度について、改めていろいろな基準の点検と見直しを検討し、金額ばかりでなく、剪定・管理のサポーター制度などの人的支援なども検討する必要があります。

検討する場づくりにチャレンジする必要があるのではないのでしょうか。

●犀川副会長：トウネズミモチやシンジュなどの外来の樹木で、問題となっている樹木は、補助金からはずす必要があるのではないのでしょうか。

⇒保全緑地制度の見直しについて、樹種や維持管理の状況等の質について、「保全緑地制度の樹種や維持管理の状況等の質を含めた指定要件を見直す」としました。(みどり基本計画実施計画 No. 8「保全緑地制度の要件等の見直し」)

○小谷委員：緑地保全・創出の質向上のための検討体制を設ける、検討することが必要ではないのでしょうか。環境市民会議等との定期的な基本計画等の意見交換を行う場を設けることで、活発化していくのではないのでしょうか。

⇒みどりの適切な保全を図るうえで、みどりの保全活動をする市民団体との連携は必要不可欠であり、これまで以上に連携を図っていくことが重要だと考えています。市民協働を深化していくため、市民団体や保全活動をする方々とも市立公園等のイベントを通じて意見交換していくことも必要だと考えています。みどりの質の満足度を高めるために、積極的な情報発信とともに裾野を拡げて、広く意見交換の機会を設けていきたいと考えています。

○小谷委員：中央線に限定しないという方針について、残すべきではないのでしょうか。

⇒計画当初は中央線沿線としていましたが、場所・取組も限られてしまうため、中央線沿線だけではなく、「みどりの軸に隣接する公共施設の緑化を推進する」としています。(みどり基本計画実施計画 No. 46「みどりの軸の緑化推進」)

小金井市の環境・みどりに関する  
市民アンケート調査結果  
うち、みどりに係る抜粋分

令和8年2月現在

# 目次

1. 調査の概要.....	1
(1)目的.....	1
(2)対象 .....	1
(3)方法及び期間 .....	1
(4)回答概要.....	1
2. 調査結果の概要.....	2
(1)回答者属性 .....	2
(2)主な回答結果.....	3
3.調査結果 .....	4
◆ ご自身について .....	4
3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について.....	5
4 環境に関する情報提供について.....	8
8 小金井市のみどりについて .....	10
資料編	
1 クロス集計結果.....	14
2 「10 市の環境施策について」意見一覧.....	29
3 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査 調査票.....	34

## 1. 調査の概要

### (1)目的

第3次小金井市環境基本計画、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び小金井市みどりの基本計画の中間見直しにおける評価のため、環境・みどりについて日頃感じている市民の意識・意向を把握しました。

### (2)対象

市内在住の18歳以上で無作為に抽出した3,000人

(外国籍の方90名には、日本語のほか、英語、中国語、韓国語の調査票を同封し送付)

### (3)方法及び期間

方法	期間
・調査票を郵送、返信用封筒にて回収(紙面)	令和7年6月25日
・調査票に掲載の二次元コード、URLよりインターネットで回答(WEB)	～7月16日

### (4)回答概要

対象	配布数	回答数(n)	回答率
18歳以上の市民	3,000	1,078	35.9%

※ 上記のうち、外国籍の方の回答数は3件(英語1件、中国語2件)

※ WEBと紙面の重複回答が1件あったため、有効な回答数から除外しました

※ 回答率は、小数点第2位を四捨五入

#### 【参考】年齢別回答率

年代	発送数		回答数			回答率	
			紙面	WEB	合計		
10代	67	(4)	6	(1)	10	16	23.9%
20代	473	(54)	30	(0)	42	72	15.2%
30代	484	(24)	50	(0)	86	136	28.1%
40代	529	(6)	79	(2)	96	175	33.1%
50代	520	(2)	101	(0)	91	192	36.9%
60代	396	(0)	147	(0)	65	212	53.5%
70代以上	531	(0)	241	(0)	26	267	50.3%
無回答	—	—	8	(0)	0	8	—
合計	3,000	(90)	662	(3)	416	1,078	35.9%

※ 発送数及び紙面の回答数の括弧書きは外国籍の方

※ 令和元年度回答状況

1,028件(紙面 941件、WEB 87件)

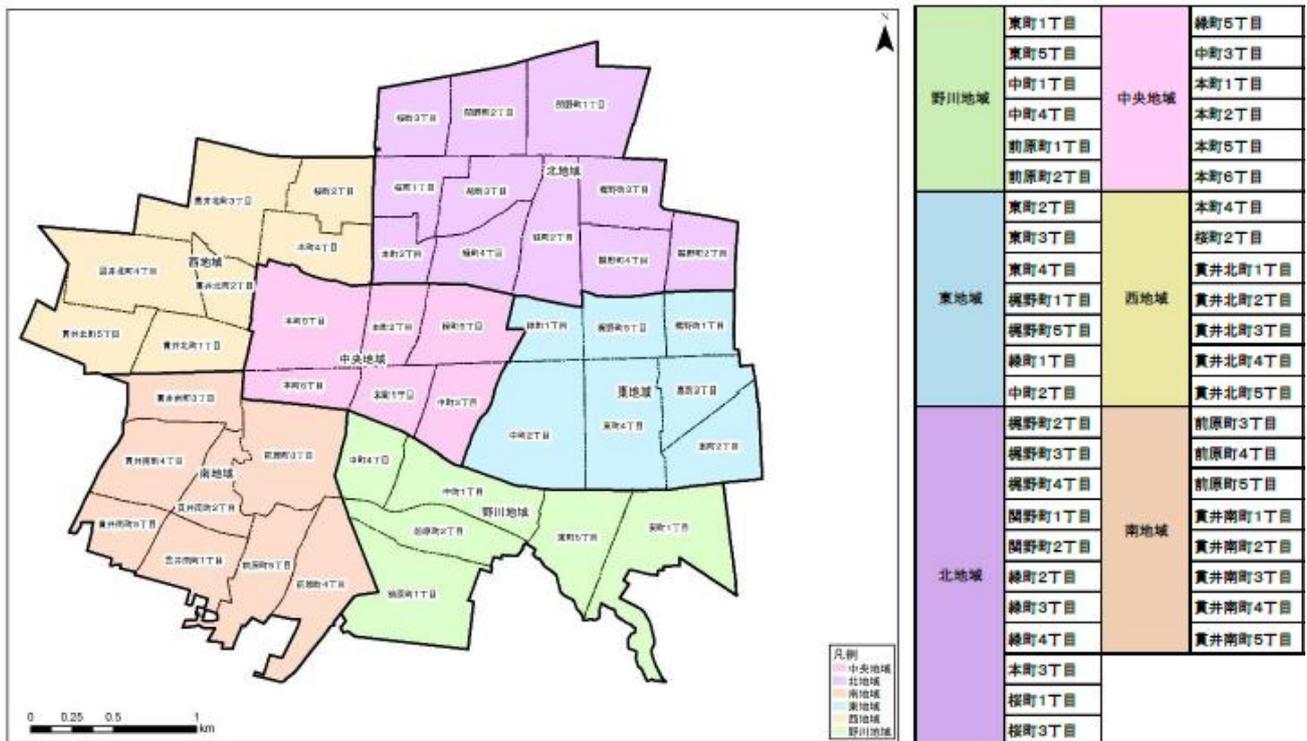
上記のうち外国籍の方(回答数 11件 回答率 34.3%)

## 2. 調査結果の概要

### (1) 回答者属性

属性	結果
性別	「女性」が約54%、「男性」が約40%となり、女性が多くなっていました。無回答は約6%でした。
年齢	「70歳以上」が約25%で最も多く、39歳以下の若い世代の回答は約21%と少ない結果でした。
居住地域	町別、地域別の回答状況は、人口割合と概ね一致していました。
居住年数	「10年以上」が約71%を占め、小金井市に長く住んでいる方の回答が多くなっていました。
居住形態	「戸建て」が半数以上を占め、「集合住宅」は約38%となっていました。

※居住地域は、町丁目の情報をもとに下図のとおり6つの地域に区分して集計しました。



出典：令和元年度小金井市みどりの実態調査報告書

## (2)主な回答結果

### 3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

- 「参加したことがある」の割合が高かった活動は「ごみ減量活動」(36.1%)、「まちの清掃、美化活動」(28.8%)でした。
- 「参加したことはないが今後機会があれば参加してみたい」の割合が高かった活動は「まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)」(58.6%)、「地下水・湧水・河川の保全活動」(57.3%)、「地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会」(57.1%)でした。
- 環境・みどりに関する計画について、「知っているし、読んだことがある」、「知っているが、読んだことはない」の合計値は「小金井市環境基本計画」、「小金井しみどりの基本計画」において3割以上でした。
- 「小金井市地球温暖化対策地域推進計画」、「小金井市気候非常事態宣言」は「知らない」の回答が約7割でした。
- 環境・みどりに関する補助金・制度について、「知っているし、利用したことがある」、「知っているが、利用したことがない」の回答は「住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金」が最も高い結果でした。
- その他の補助金・制度について、「知らない」の回答が7割前後であり、認知度は低い結果でした。

### 4 環境に関する情報提供について

- 環境に関する情報提供について、「市報こがねい」が80.3%で最も高くなりました。次いで「市ホームページ」(26.7%)、「X、LINE等のSNS」(24.7%)でした。
- 10～30歳代、特に20歳代は「X、LINE等のSNS」が多い結果でした。
- 過年度と比較して、「市ホームページ」、「X、LINE等のSNS」、「講座・シンポジウム・イベント等」の回答が多くなりました。

### 8 小金井市のみどりについて

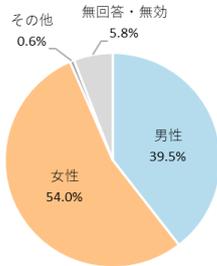
- みどりの施策等について、「満足」、「やや満足」の合計値は「みどりの豊かさ」(72.3%)、「公園の居心地の良さ」(69.1%)で高くなりました。
- 「ボランティア活動の参加のしやすさ」、「イベントの参加のしやすさ」に対する「満足」、「やや満足」の合計値は2割以下でした。
- 「みどりの質」の満足度は、令和元年度の67.8%と比較すると、令和7年度は47.5%となり、20.3ポイント低下しました。
- また、「やや不満」、「不満」の回答の合計値は、令和元年度の10.5%に対して、令和7年度は7.2%と低い結果でした。
- 環境基本計画の指標である「みどりの豊かさ」の満足度は令和元年度と同程度であり、令和12年度の目標値である80%は達成していません。

### 3.調査結果

#### ◆ ご自身について

はじめに、あなたご自身についてお聞きします。該当する番号1つに○をつけてください。

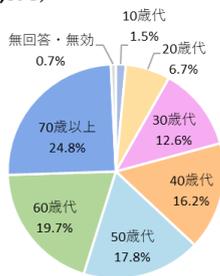
性別 (n = 1,078)



#### ➤ 性別

回答者の性別は女性が 54.0%、男性が 39.5%でした。その他の回答が 0.6%、無回答・無効は 5.8%でした。

年齢 (n = 1,078)



#### ➤ 年齢

回答者の年齢は 70 歳以上 (24.8%) が最も多く、次いで 60 歳代 (19.7%)、50 歳代 (17.8%)、40 歳代 (16.2%) でした。

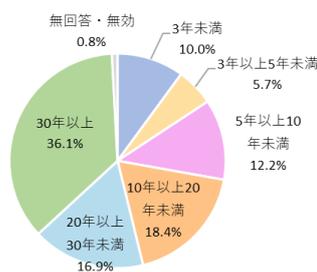
居住地域 (n = 1,078)



#### ➤ 居住地域

回答者の居住地域は北地域 (20.9%) が最も多く、次いで中央地域 (18.5%)、東地域 (16.9%) でした。

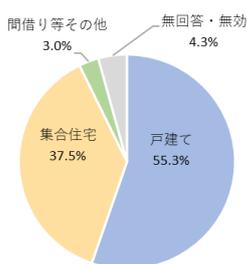
居住年数 (n = 1,078)



#### ➤ 居住年数

回答者の居住年数は 30 年以上 (36.1%) が最も多く、次いで 10 年以上 20 年未満 (18.4%)、20 年以上 30 年未満 (16.9%) でした。

居住形態 (n = 1,078)



#### ➤ 住宅の形態

回答者の住宅の形態は戸建てが 55.3%、集合住宅が 37.5% でした。

### 3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

1) 以下の環境保全活動に過去5年以内に参加したことはありますか？該当する番号1つに○をつけてください。

環境保全活動について、「参加したことがある」の割合が高かった活動は「ごみ減量活動」(36.1%)、「まちの清掃、美化活動」(28.8%)でした。

「参加したことはないが今後機会があれば参加してみたい」の割合が高かった活動は「まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)」(58.6%)、「地下水・湧水・河川の保全活動」(57.3%)、「地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会」(57.1%)でした。

#### 環境保全活動 (n = 1,078)

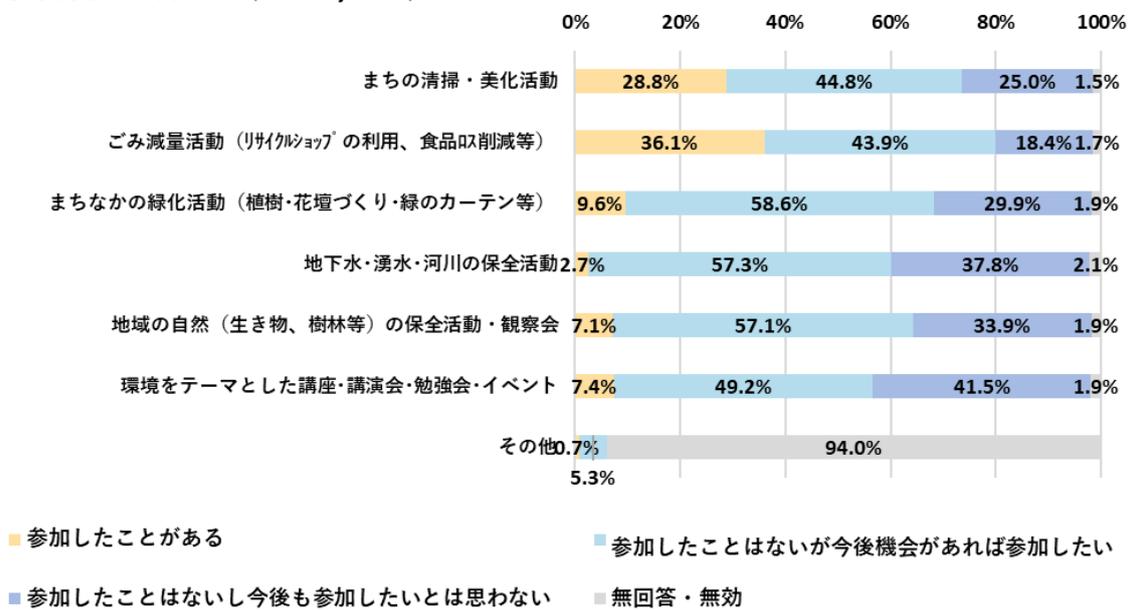


図 環境保全活動への参加状況

2) 以下は、小金井市が実施している環境・みどりに関する計画や取組、施設等の一部です。  
これらについて該当する番号1つに○をつけてください。

環境・みどりに関する計画について、「知っているし、読んだことがある」、「知っているが、読んだことはない」の合計値は「小金井市環境基本計画」、「小金井市みどりの基本計画」は3割以上でした。

「小金井市地球温暖化対策地域推進計画」、「小金井市気候非常事態宣言」は「知らない」の回答が約7割でした。

## 環境・みどりに関する計画 (n = 1,078)

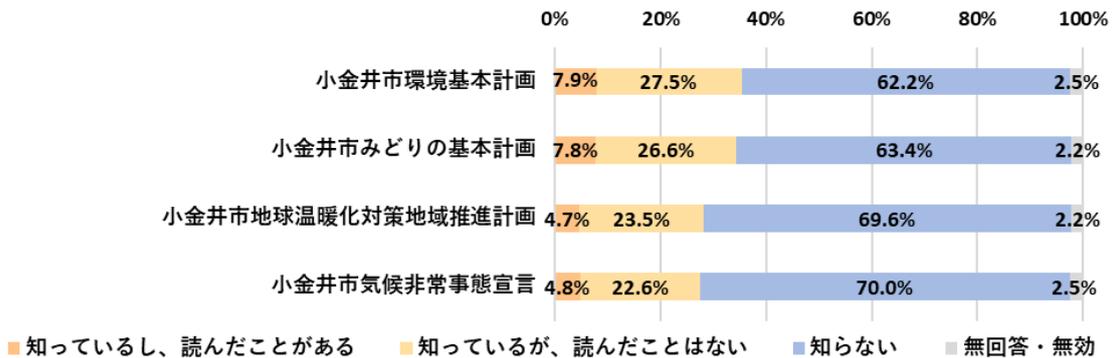
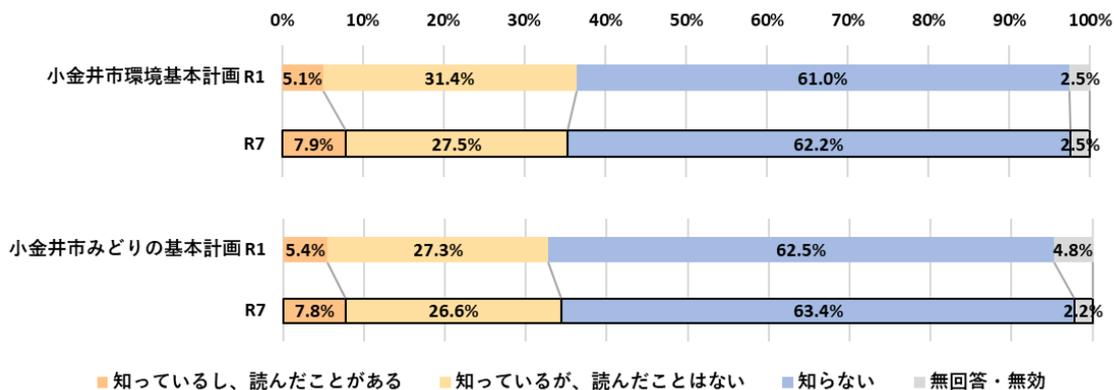


図 環境・みどりに関する計画の認知度

### 【過年度との比較】

令和元年度と比較すると、小金井環境基本計画、小金井市みどりの基本計画について、「知っているし、読んだことがある」割合は増加しましたが、「知らない」割合も増加しました。



環境・みどりに関する補助金・制度について、「知っているし、利用したことがある」、「知っているが、利用したことがない」の回答は「住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金」が最も高くなりました。その他の補助金・制度については、「知らない」の回答が7割前後でした。

### 環境・みどりに関する補助金・制度 (n = 1,078)

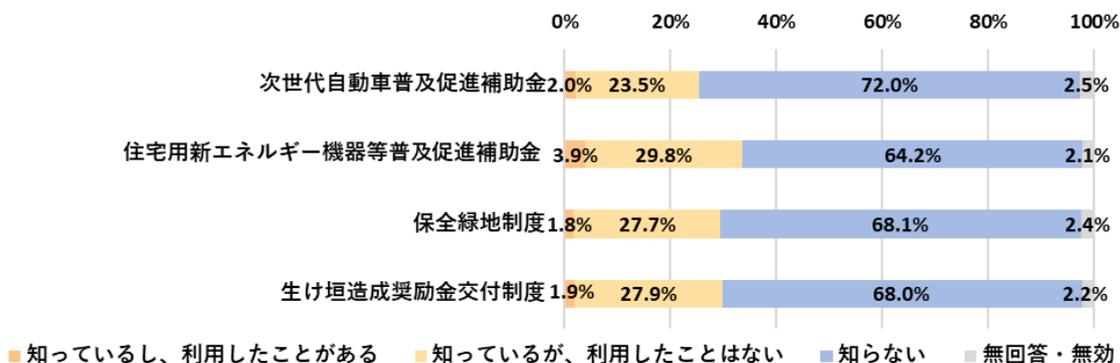


図 環境・みどりに関する補助金・制度の認知度

3) 前ページの1)、2)で参加(利用)したことはないと回答した設問がある方に伺います。参加しなかった理由、参加したいと思わない主な理由は何ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

「時間的余裕がないから」が50.6%で最も高く、次いで「興味がないから」(16.0%)、「知っていたら参加(利用)したかった」(13.6%)の回答が多くなりました。

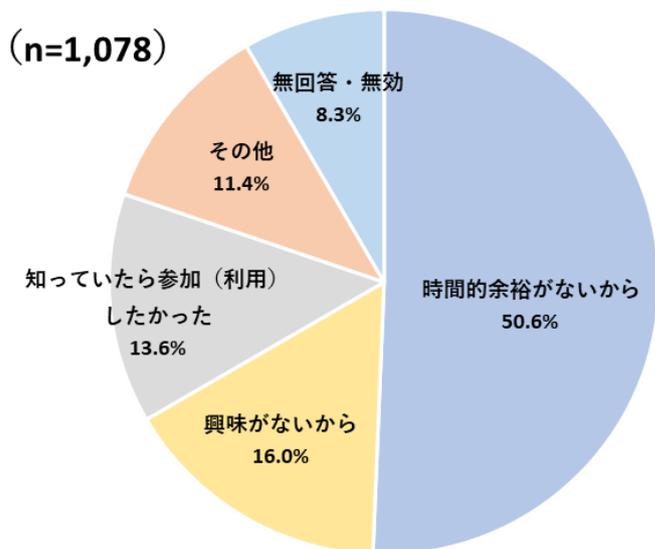


図 参加しなかった、参加したいと思わない理由

#### 4 環境に関する情報提供について

環境に関する情報（例：環境関連イベント等のお知らせ、環境調査データの公開等）を市から発信する場合、どの媒体が利用しやすいですか。該当する番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

環境に関する情報提供について、「市報こがねい」が80.3%で最も高くなりました。次いで「市ホームページ」(26.7%)、「X、LINE等のSNS」(24.7%)が高い結果でした。

20代は「X、LINE等のSNS」が59.7%と高く、10歳代から40歳代は30%を超えていました。

#### 情報提供手段 (n = 1,078)

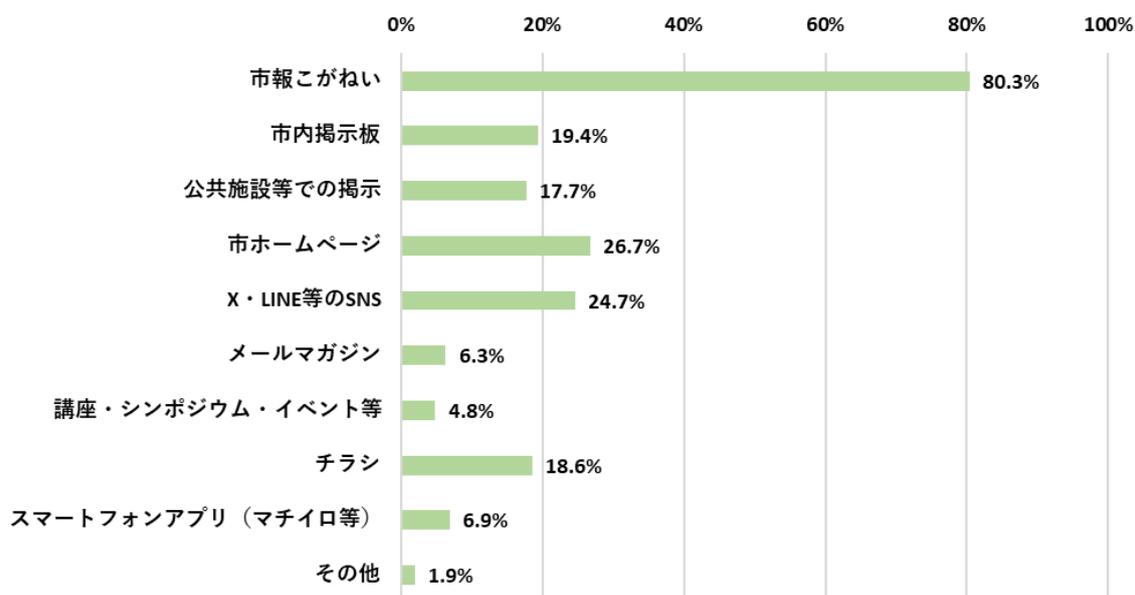


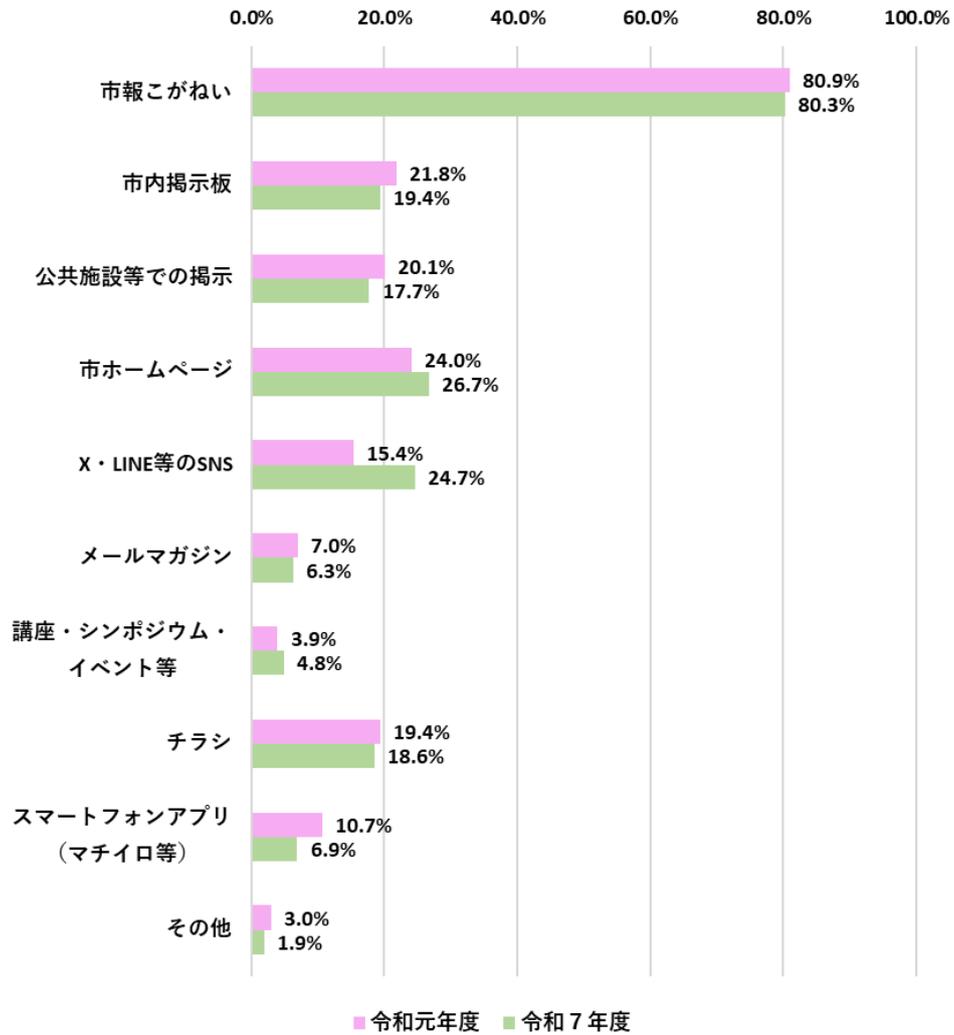
図 利用しやすい市からの情報提供手段

× 年齢

	全体 (n=1,078)	10歳代 (n=16)	20歳代 (n=72)	30歳代 (n=136)	40歳代 (n=175)	50歳代 (n=192)	60歳代 (n=212)	70歳代以上 (n=267)
市報こがねい	80.3%	43.8%	43.1%	70.6%	76.0%	86.5%	91.0%	87.3%
市内掲示板	19.4%	12.5%	18.1%	17.6%	14.9%	22.9%	16.0%	24.0%
公共施設等での掲示	17.7%	25.0%	16.7%	19.1%	13.7%	18.8%	17.5%	19.1%
市ホームページ	26.7%	25.0%	37.5%	22.8%	26.3%	31.8%	32.1%	19.1%
X・LINE等のSNS	24.7%	37.5%	59.7%	44.1%	32.6%	26.0%	17.9%	4.5%
メールマガジン	6.3%	18.8%	4.2%	5.1%	8.0%	7.3%	9.4%	2.6%
講座・シンポジウム・イベント等 (環境以外も含む)	4.8%	0.0%	1.4%	1.5%	2.3%	4.2%	4.7%	9.7%
チラシ	18.6%	25.0%	20.8%	16.2%	18.3%	14.6%	16.5%	24.0%
スマートフォンアプリ (マチイロ等)	6.9%	6.3%	5.6%	10.3%	7.4%	6.8%	7.1%	5.2%
その他	1.9%	0.0%	1.4%	1.5%	2.9%	2.6%	0.9%	2.2%

### 【過年度との比較】

令和元年度と比較して、「市報こがねい」が約 8 割で最も多い結果は変わりませんが、「市ホームページ」、「X、LINE 等の SNS」、「講座・シンポジウム・イベント等」の回答が増加しました。



## 8 小金井市のみどりについて

本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

みどりの施策等について、「満足」、「やや満足」の合計値は「みどりの豊かさ」(72.3%)、「公園の居心地の良さ」(69.1%)で高い結果でした。

「ボランティア活動の参加のしやすさ」、「イベントの参加のしやすさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は2割以下でした。

「みどりの質」の「満足」、「やや満足」の合計値は47.5%となりました。

### 小金井市のみどり (n = 1,078)

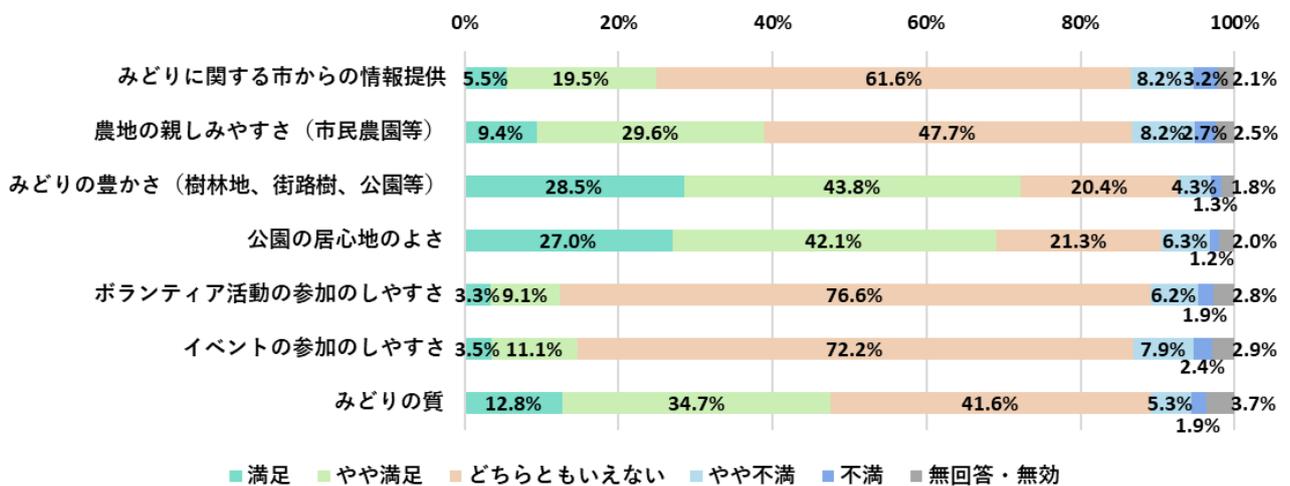


図 市のみどりの施策の満足度

【過年度との比較】

「みどりの質」の満足度は、「満足」、「やや満足」の合計値で、令和元年度の67.8%と比較すると、令和7年度は47.5%となり、20.3ポイント低下しました。

また、「どちらともいえない」の回答が大きく増加し、「やや不満」、「不満」の回答の合計値は、令和元年度の10.5%に対して、令和7年度は7.2%と低い結果となりました。

表 みどりの質の満足度

項目	令和元年度	令和7年度	令和12年度（目標値）
みどりの質の満足度	67.8%	47.5%	80.0%

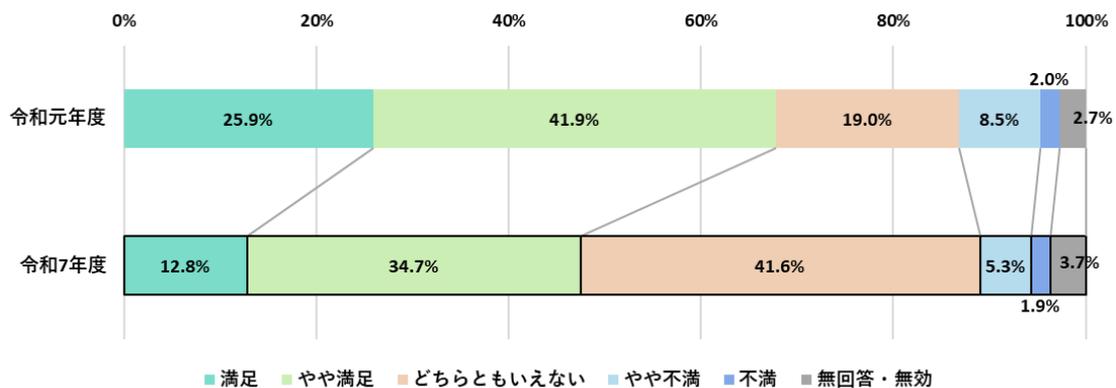


図 令和7年度、令和元年度の「みどりの質」回答状況

環境基本計画の指標である「みどりの豊かさ」の「満足」、「やや満足」の合計値は令和元年度と同程度であり、令和12年度の目標値80%は達成していません。

表 環境基本計画の指標

項目	令和元年度	令和7年度	令和12年度（目標値）
みどりの豊かさ	71.8%	72.3%	80.0%

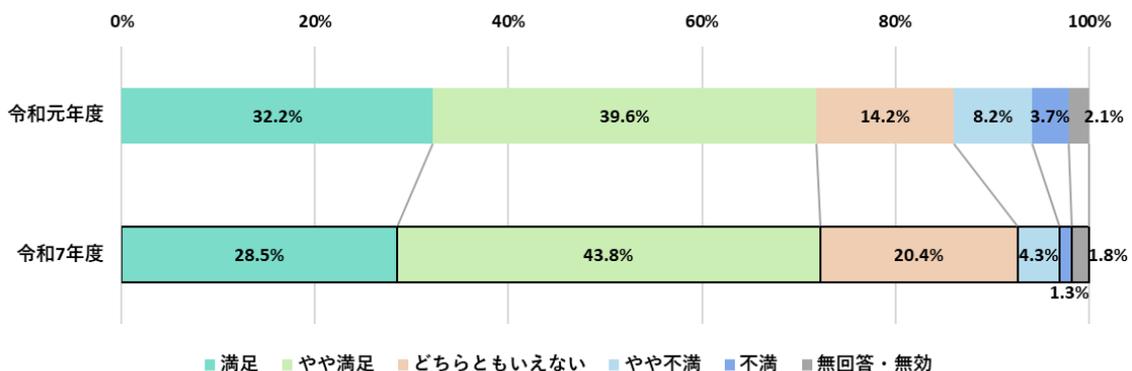


図 令和7年度、令和元年度の「みどりの豊かさ」回答状況

## 10 市の環境施策について

小金井市の環境施策について、あなたのご意見を聞かせてください。

分類別では、みどりやまちづくりに関する意見が多い結果でした。

表 小金井市の環境施策に関する意見

分類		件数
みどり	全般	18
	保全について	64
	施策について	56
	整備について	26
地下水・湧水・河川	PFAS・PFOSについて	7
	整備について	3
生物多様性	全般	3
	害虫について	8
	野鳥について	7
	害獣について	4
	ホタルについて	2
生活環境	騒音について	3
	空き家について	4
まちづくり	優先整備路線について	28
	不法投棄について	13
	道路整備について	11
	防犯・防災について	8
	景観について	6
ごみ	全般	5
	出し方・回収について	9
	分別について	6
	ゴミ袋について	6
	ごみ処理施設について	5
エネルギー	再エネ・省エネについて	13
	暑さ対策について	9
その他	普及啓発・情報発信について	37
	イベント・活動について	7
	補助金について	7
アンケートについて		20
要望・感想等		88

## 資料編

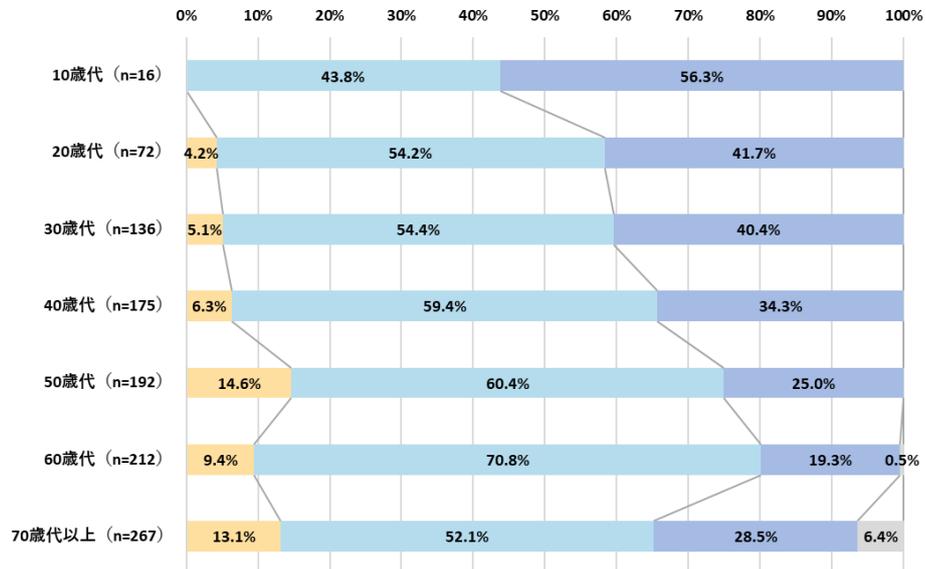
## 1 クロス集計結果

### 3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

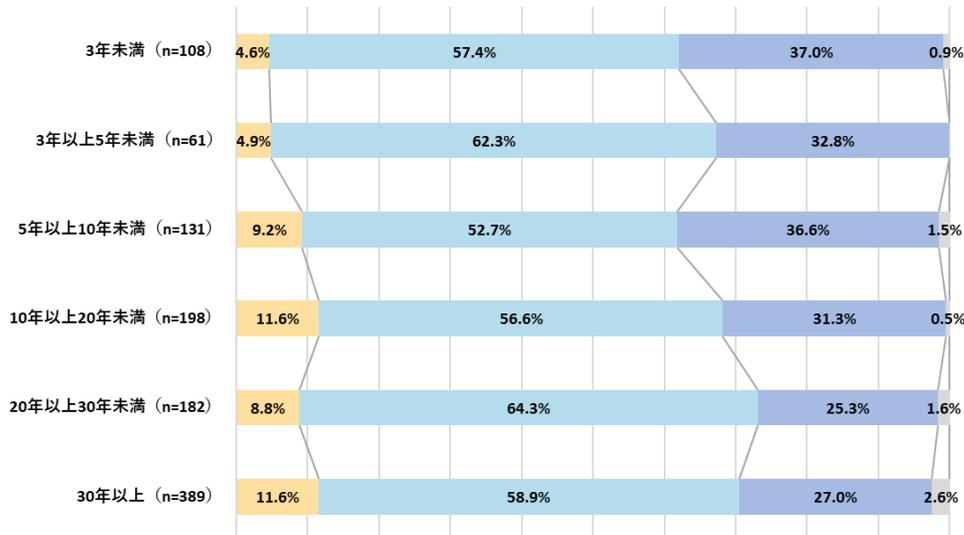
1) 以下の環境保全活動に過去5年以内に参加したことはありますか？該当する番号1つに○をつけてください。

- 全ての属性で「参加したことがある」は15%以下でした。「参加したことはないが今後機会があれば参加したい」が10歳代を除く属性で50%を超えていました。

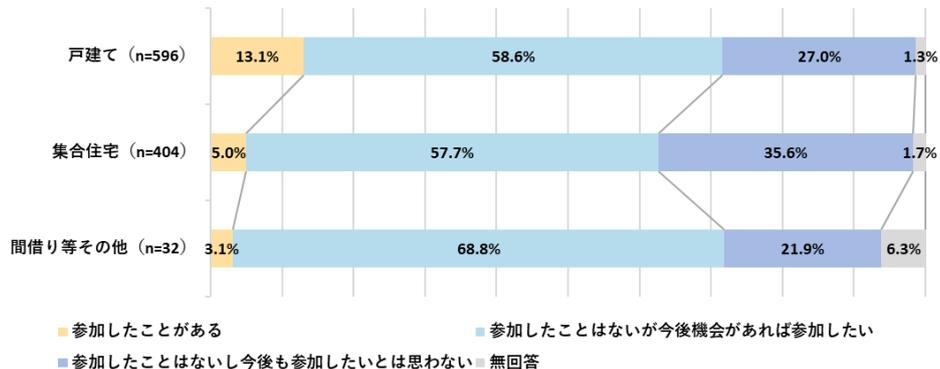
まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)×年齢



まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)×居住年数

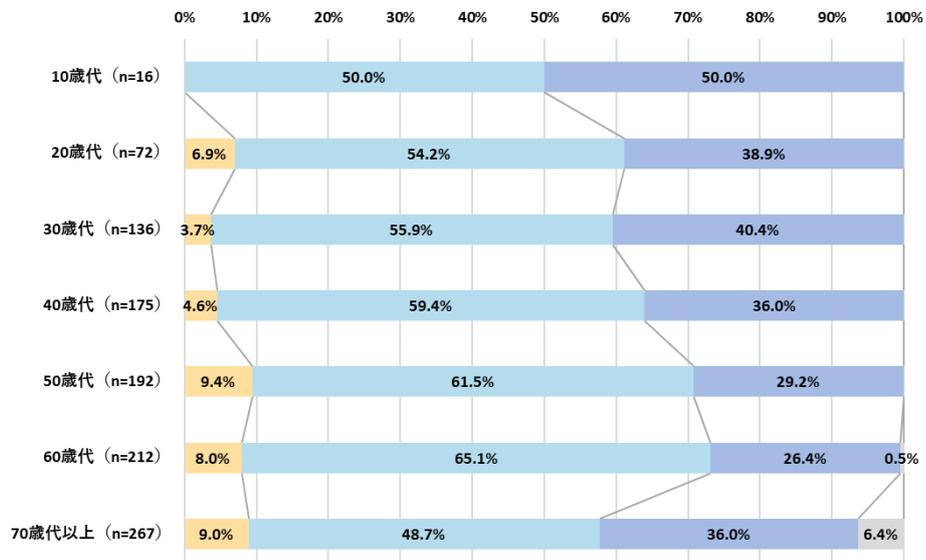


まちなかの緑化活動(植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)×居住形態

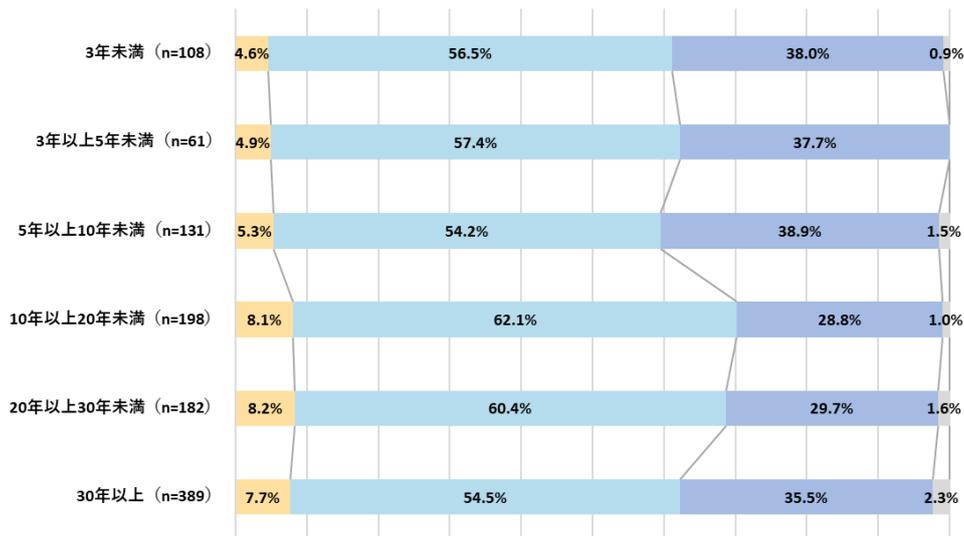


- 全ての属性で「参加したことがある」は10%以下でした。「参加したことはないが今後機会があれば参加したい」が70歳代以上を除く属性で50%を超えていました。

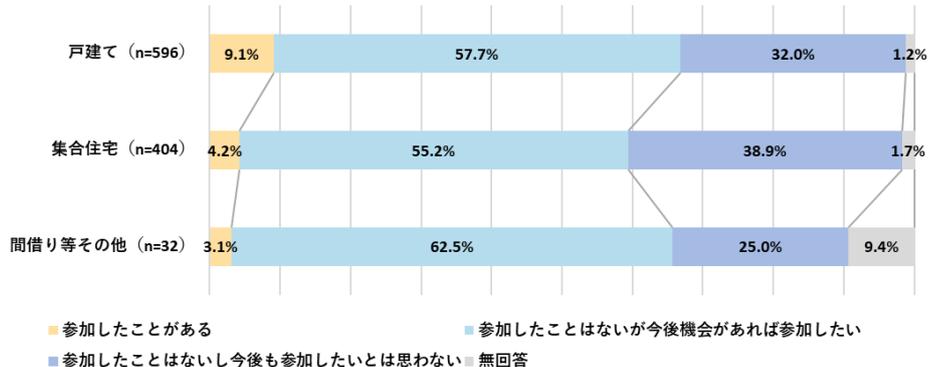
地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会×年齢



地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会×居住年数



地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会×居住形態

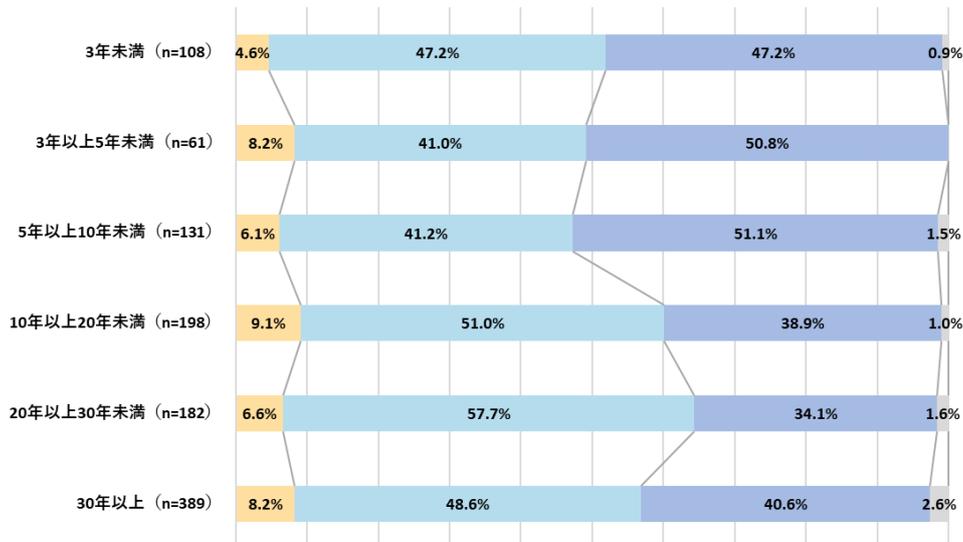


- 70歳以上を除く属性では「参加したことがある」は10%以下でした。70歳以上は「参加したことがある」が10.9%でした。

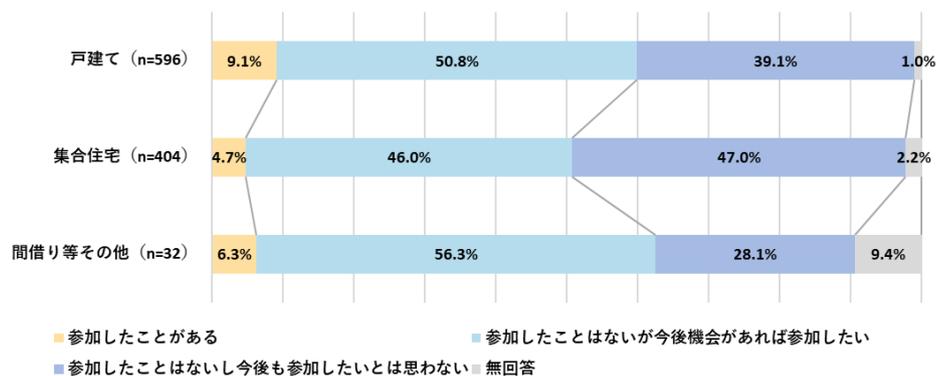
### 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント×年齢



### 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント×居住年数



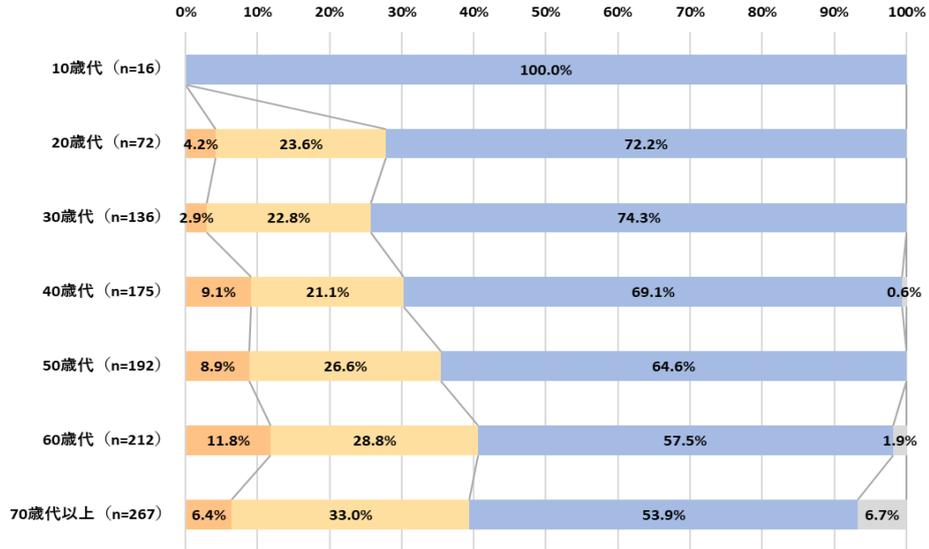
### 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント×居住形態



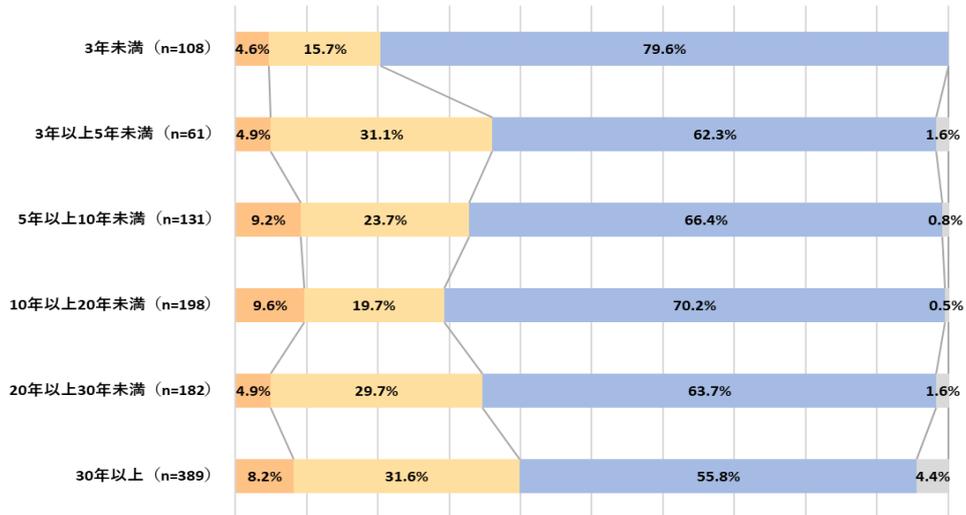
2) 以下は、小金井市が実施している環境・みどりに関する計画や取組、施設等の一部です。  
これらについて該当する番号1つに○をつけてください。

- 小金井市みどりの基本計画について、「知っているし、読んだことがある」、「知っているが、読んだことがない」は60歳代で40%以上でした。10歳代は「知らない」が100%でした。

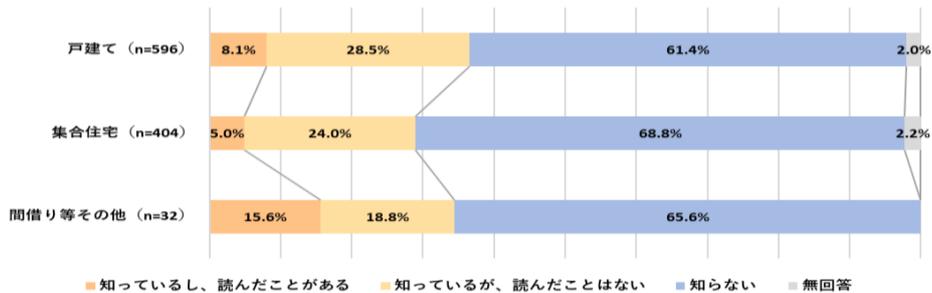
### 小金井市みどりの基本計画×年齢



### 小金井市みどりの基本計画×居住年数

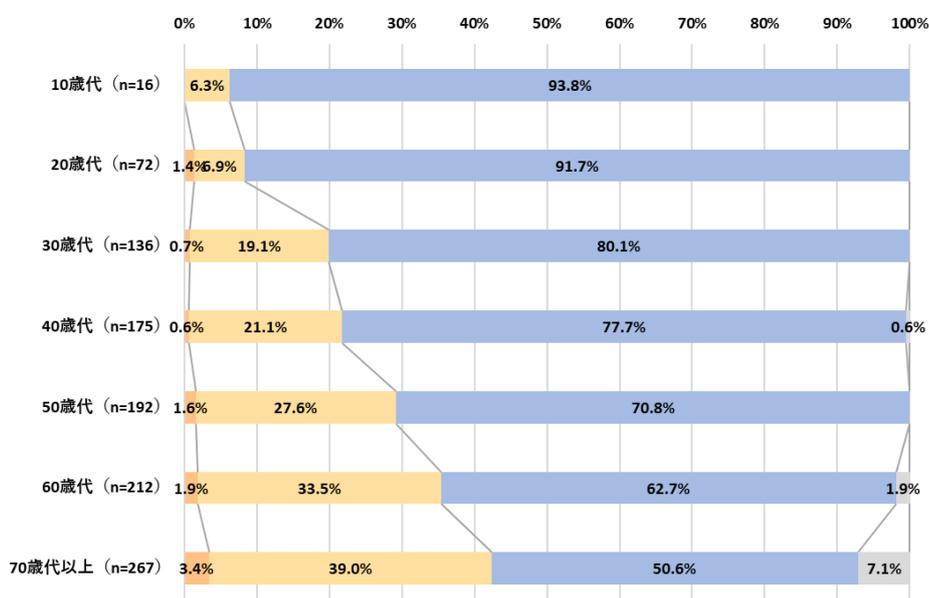


### 小金井市みどりの基本計画×居住形態

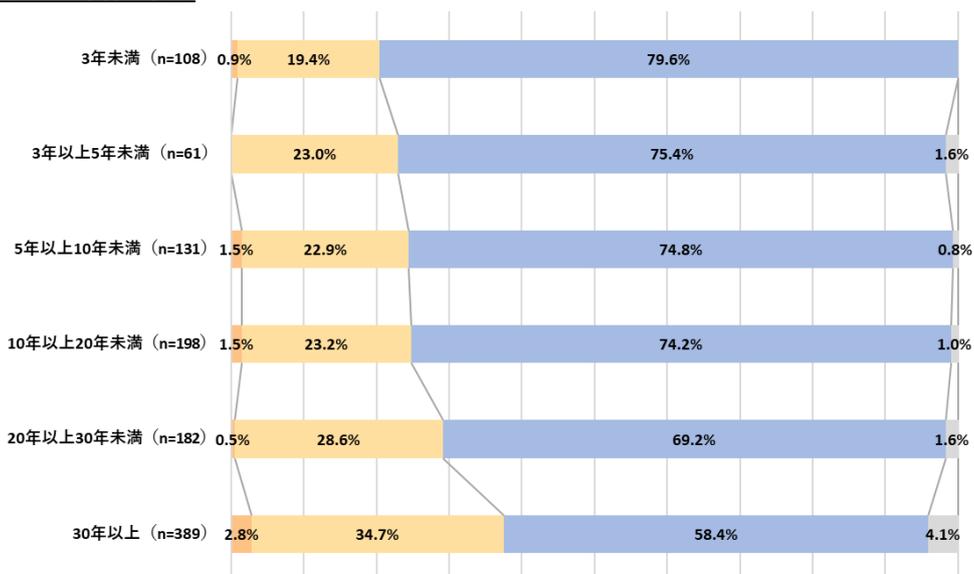


●保全緑地制度について、「知っているし、利用したことがある」、「知っているが、利用したことがない」は70歳代で40%以上でした。年齢が高い、居住年数が長いほど認知度が高い結果でした。

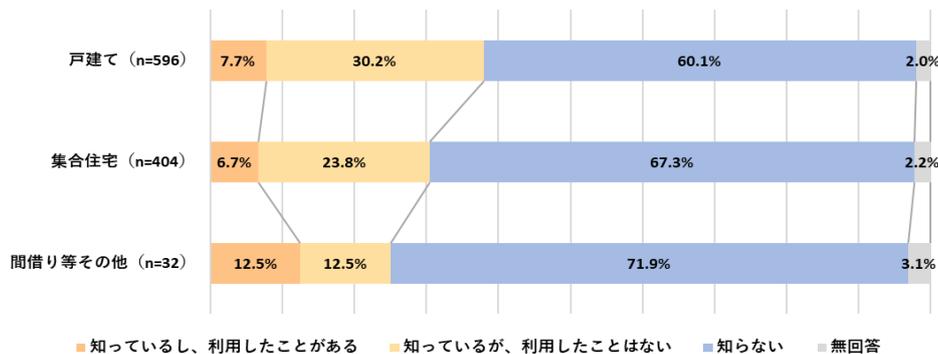
### 保全緑地制度×年齢



### 保全緑地制度×居住年数



### 保全緑地制度×居住形態

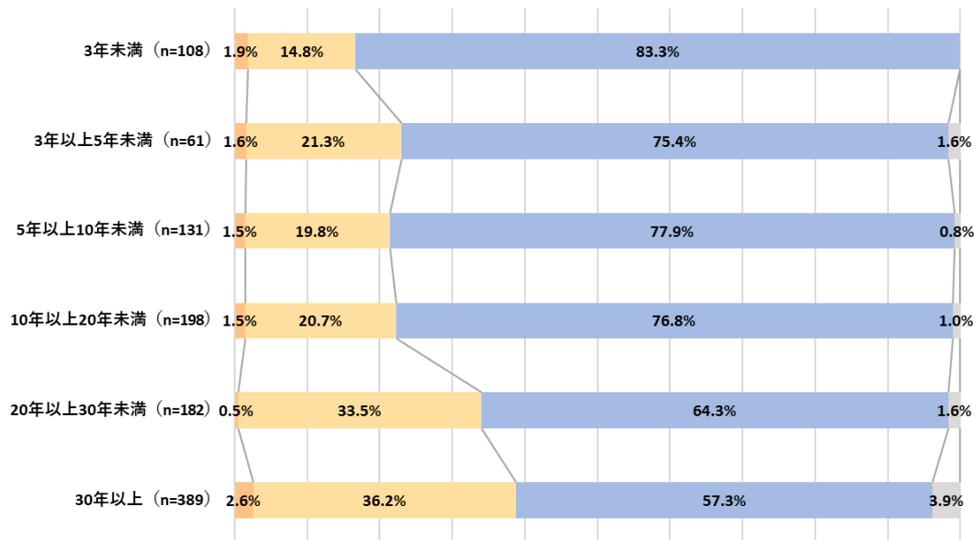


- 生け垣造成奨励金交付制度について、「知っているし、利用したことがある」、「知っているが、利用したことがない」は70歳代で40%以上でした。10歳代は知らないが100%でした。

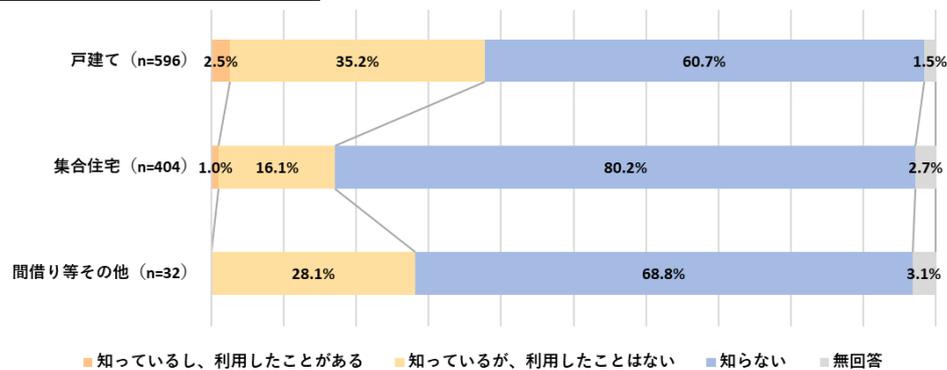
### 生け垣造成奨励金交付制度×年齢



### 生け垣造成奨励金交付制度×居住年数



### 生け垣造成奨励金交付制度×居住形態



#### 4 環境に関する情報提供について

環境に関する情報（例：環境関連イベント等のお知らせ、環境調査データの公開等）を市から発信する場合、どの媒体が利用しやすいですか。該当する番号に○をつけてください。（○はいくつでも）

##### × 年齢

- 20歳代を除いて、「市報こがねい」が利用しやすい媒体という回答が最も多くなりました。20代は「X、LINE等のSNS」が59.7%と高く、10歳代から40歳代は30%を超えていました。

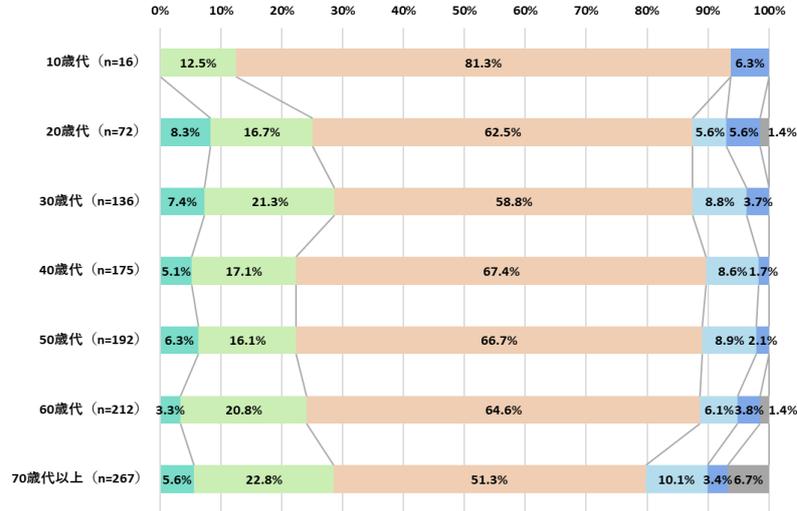
	全体 (n=1,078)	10歳代 (n=16)	20歳代 (n=72)	30歳代 (n=136)	40歳代 (n=175)	50歳代 (n=192)	60歳代 (n=212)	70歳代以上 (n=267)
市報こがねい	80.3%	43.8%	43.1%	70.6%	76.0%	86.5%	91.0%	87.3%
市内掲示板	19.4%	12.5%	18.1%	17.6%	14.9%	22.9%	16.0%	24.0%
公共施設等での提示	17.7%	25.0%	16.7%	19.1%	13.7%	18.8%	17.5%	19.1%
市ホームページ	26.7%	25.0%	37.5%	22.8%	26.3%	31.8%	32.1%	19.1%
X・LINE等のSNS	24.7%	37.5%	59.7%	44.1%	32.6%	26.0%	17.9%	4.5%
メールマガジン	6.3%	18.8%	4.2%	5.1%	8.0%	7.3%	9.4%	2.6%
講座・シンポジウム・イベント等 (環境以外も含む)	4.8%	0.0%	1.4%	1.5%	2.3%	4.2%	4.7%	9.7%
チラシ	18.6%	25.0%	20.8%	16.2%	18.3%	14.6%	16.5%	24.0%
スマートフォンアプリ (マチイロ等)	6.9%	6.3%	5.6%	10.3%	7.4%	6.8%	7.1%	5.2%
その他	1.9%	0.0%	1.4%	1.5%	2.9%	2.6%	0.9%	2.2%

## 8 小金井市のみどりについて

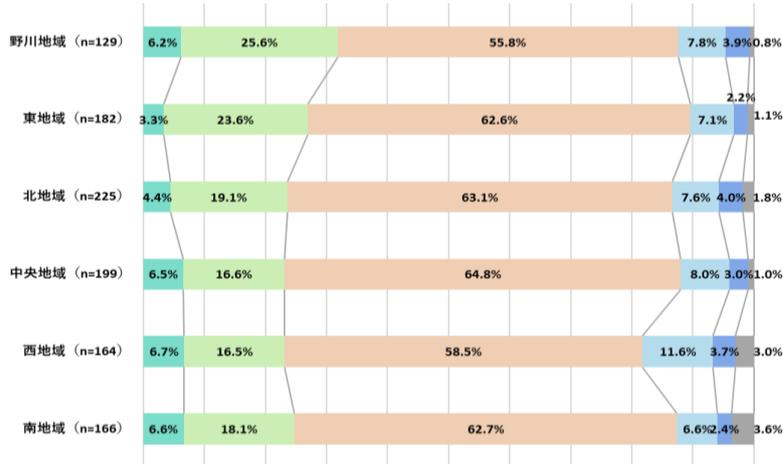
本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

- みどりに関する市からの情報提供について、「満足」、「やや満足」は地域では野川地域、居住年数3年未満で30%を超えていました。

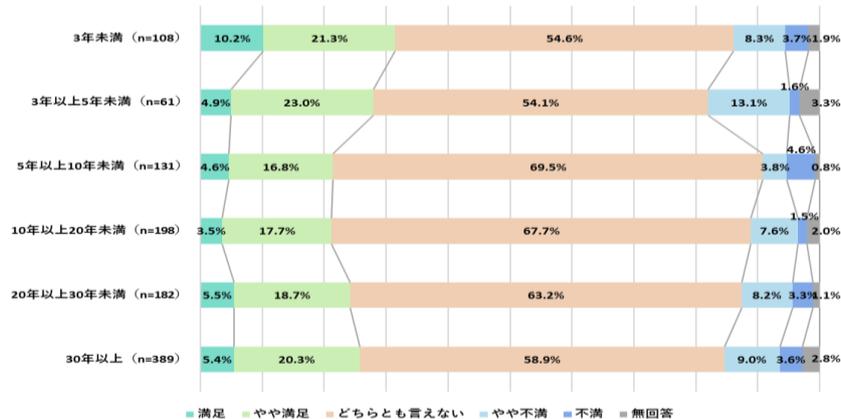
### みどりに関する市からの情報提供× 年齢



### みどりに関する市からの情報提供× 居住地域

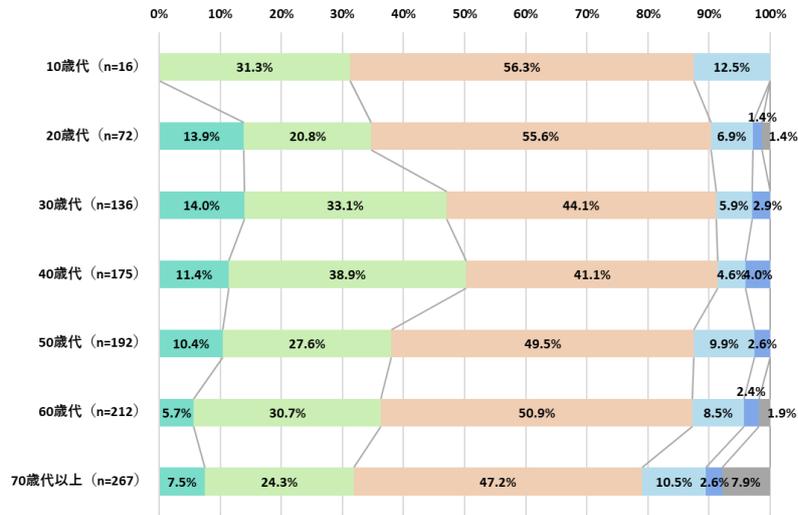


### みどりに関する市からの情報提供× 居住年数

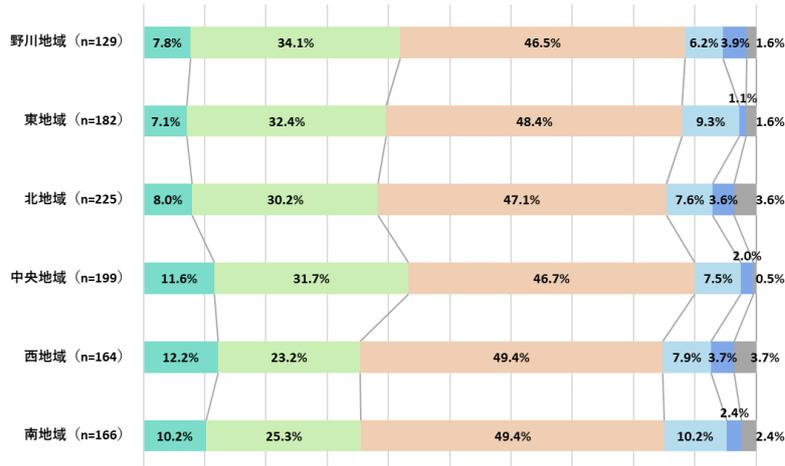


- 農地の親しみやすさについて、「満足」、「やや満足」は年齢では30歳代から40歳代、地域では野川地域と中央地域、居住年数3年以上20年未満で40%を超えていました。

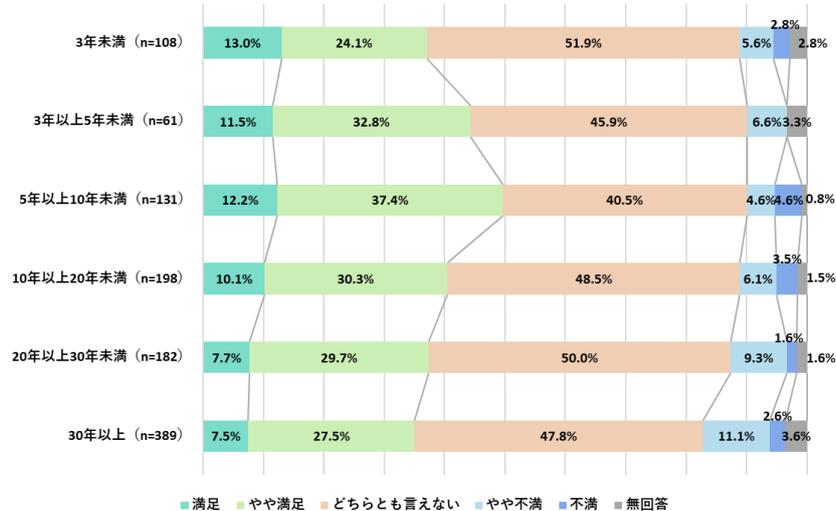
農地の親しみやすさ(市民農園等)× 年齢



農地の親しみやすさ(市民農園等)× 居住地域



農地の親しみやすさ(市民農園等)× 居住年数

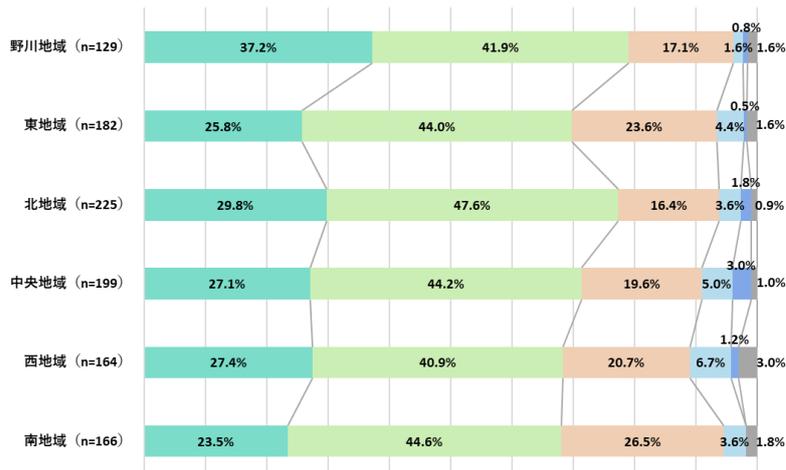


- みどりの豊かさ（樹林地、街路樹、公園等）について、「満足」、「やや満足」は多くの属性で70%を超えていました。年齢では60歳代と70歳以上、地域では東地域と西地域、南地域、居住年数3年以上と30年以上で70%未満でした。

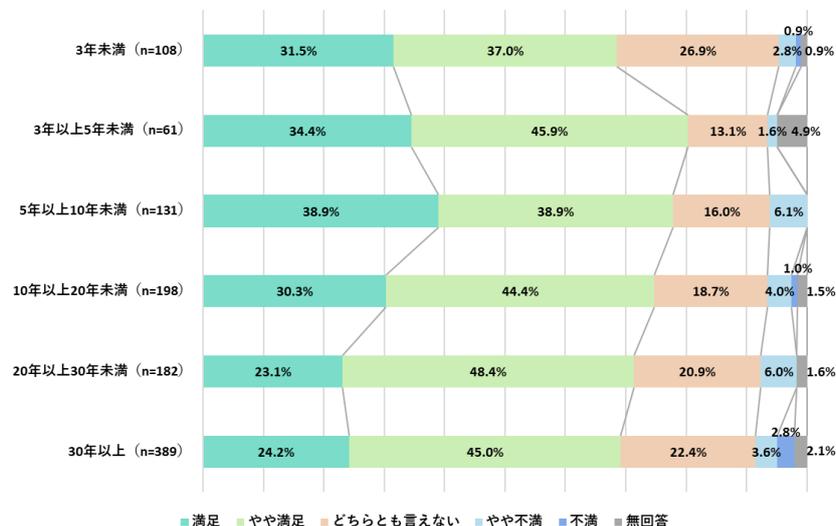
### みどりの豊かさ(樹林地、街路樹、公園等)× 年齢



### みどりの豊かさ(樹林地、街路樹、公園等)× 居住地域



### みどりの豊かさ(樹林地、街路樹、公園等)× 居住年数



- 公園の居心地のよさについて、「満足」、「やや満足」は多くの属性で60%を超えていました。南地域では「満足」、「やや満足」が59.1%でした。

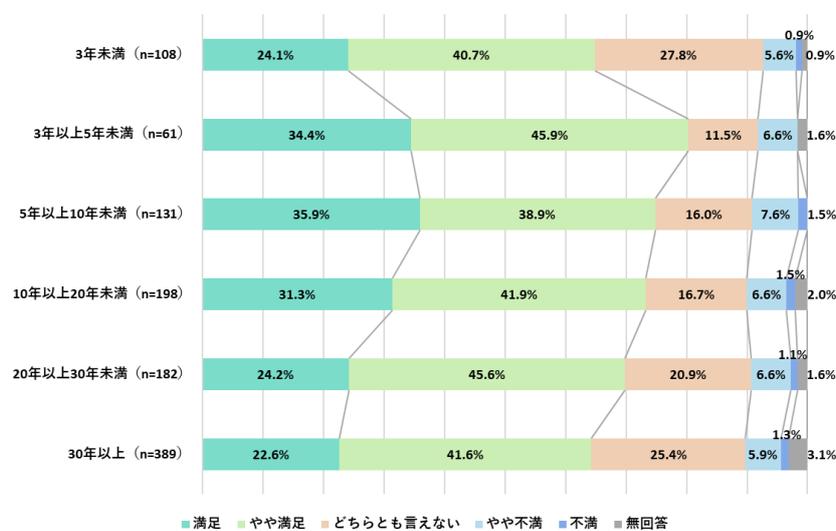
### 公園の居心地のよさ× 年齢



### 公園の居心地のよさ× 居住地域

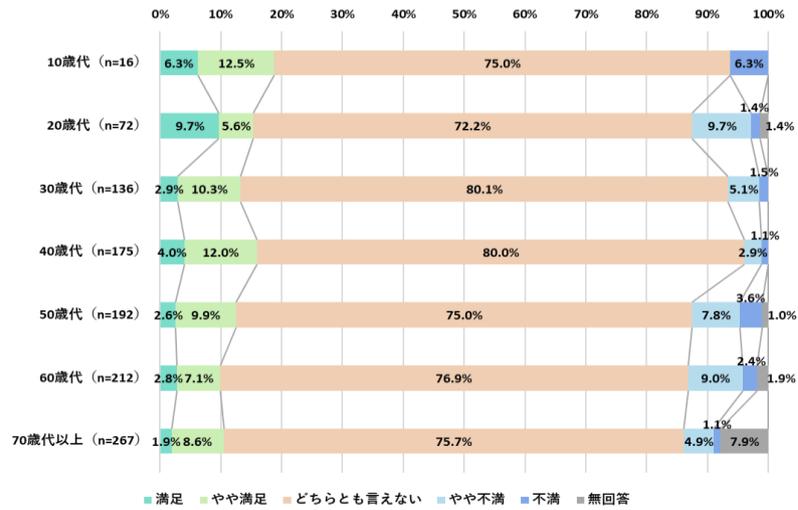


### 公園の居心地のよさ× 居住年数



- ボランティア活動の参加のしやすさについて、「満足」、「やや満足」は全ての属性で20%以下でした。

### ボランティア活動の参加のしやすさ× 年齢



### ボランティア活動の参加のしやすさ× 居住地域

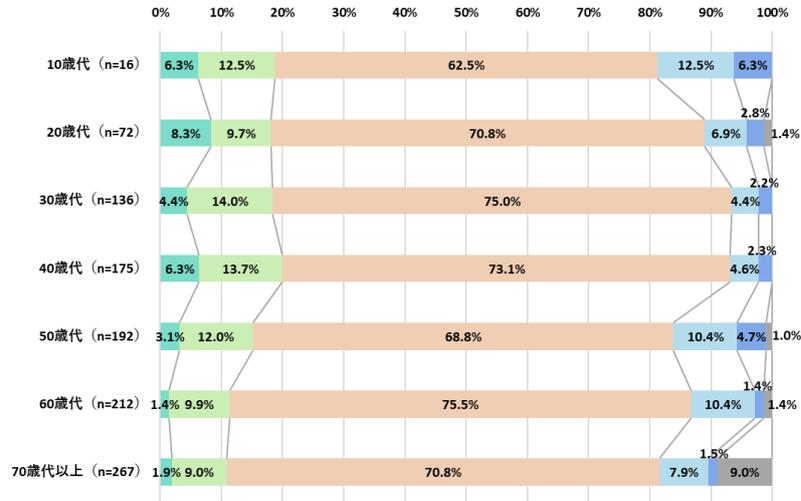


### ボランティア活動の参加のしやすさ× 居住年数

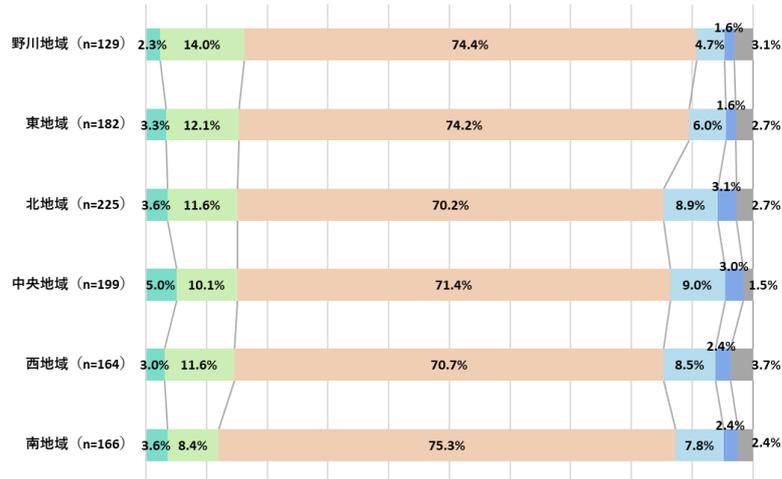


● イベントの参加のしやすさは、「満足」、「やや満足」は全ての属性で20%以下でした。

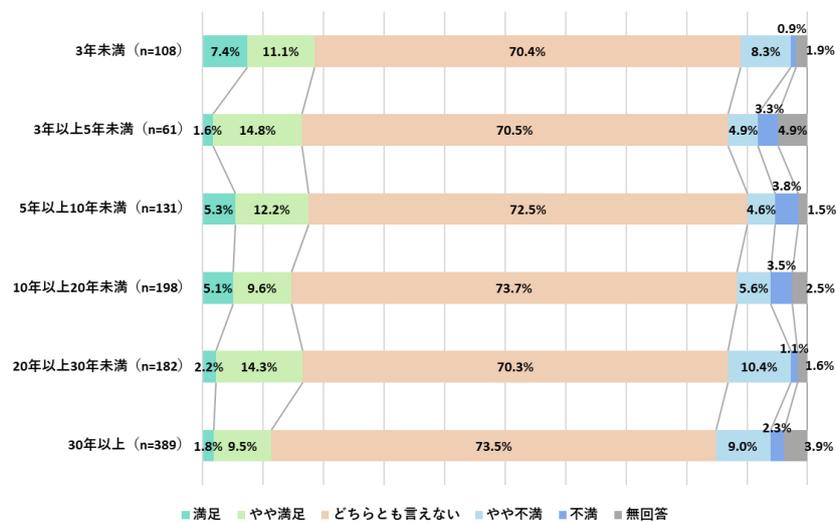
### イベントの参加しやすさ× 年齢



### イベントの参加しやすさ× 居住地域

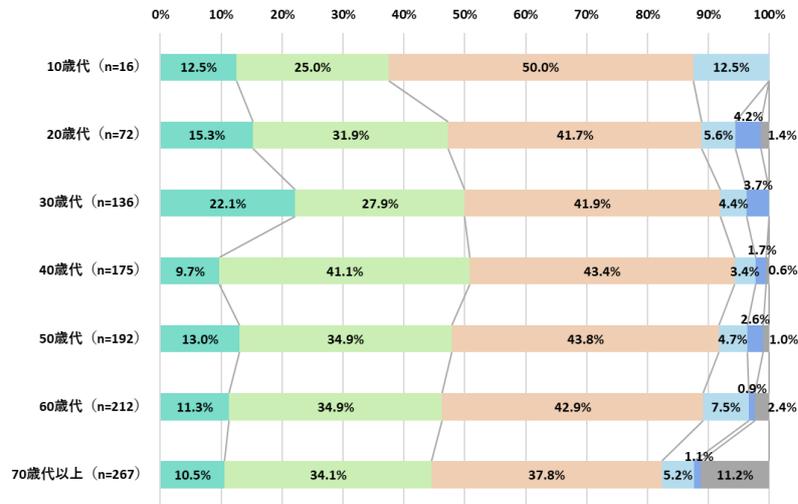


### イベントの参加しやすさ× 居住年数

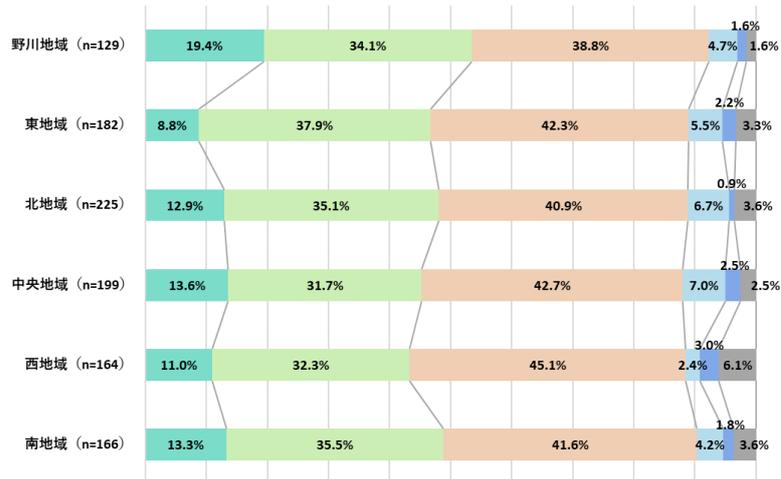


- みどりの質について、「満足」、「やや満足」は10歳代を除く全ての属性で40%以上でした。

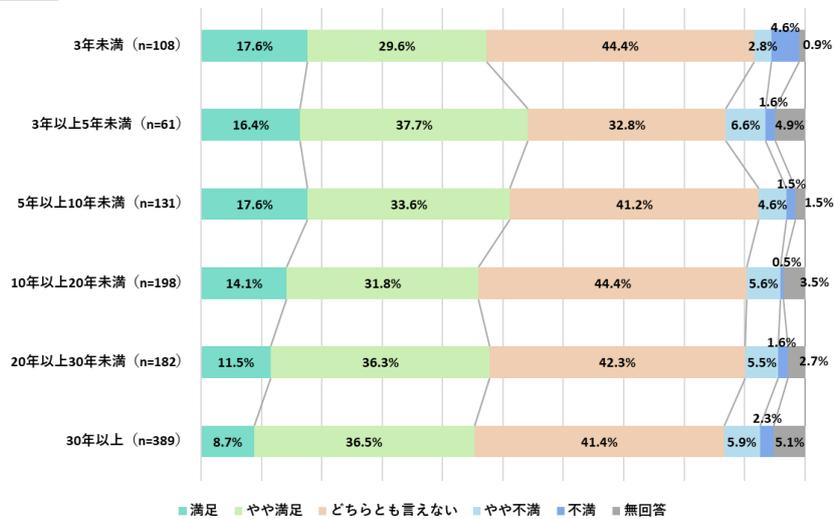
### みどりの質×年齢



### みどりの質×居住地域



### みどりの質×居住年数



## 2 「10 市の環境施策について」意見一覧

みどり 全般	<p>小金井市は緑が多くて住みやすいまちだと思います。便利だけど適度な田舎感があってよいです。緑も多く自然環境も豊かだと思います。</p> <p>公園や川など自然に触れやすい環境であり満足している。</p> <p>小金井市は小さい市ながらも、大きな公園が2ヶ所、きれいな河川があり、緑化率には満足しています。</p> <p>静かで、公園が多いところが過ごしやすく好きなお店です。</p> <p>緑豊かな町、安全な町、静かな町</p> <p>サクラ、水、町なみ等、きれいで、良いなあと思っています。</p> <p>小金井市の環境・みどりに関するアンケート調査の冊子を読みとても参考になりました。緑が多く自然に恵まれ美しい市であると実感致します。</p> <p>小金井公園付近は自然と環境の調和がとれたまちづくりをしていただいている、安心して子育てできます。</p> <p>転居して来て自然緑を大切に、又ごみの無い市街だと感じました。何でもない草木も目にして優しい市なんだなあ。これから情報を見聞きし、体験し、住み続けたいです。</p> <p>緑豊かな環境の中で、落ちついた生活が出来ることを望んでいる。超高齢者になり以前のように、市の取り組み活動に参加できないもどかしさがある。</p> <p>数週間前、家の前の街路樹で鳥が巣を作り、ヒナにえさを与えるのを毎日楽しみに見ていた。が、環境整備のためとつぜん枝が落とされヒナのいなくなった木の周りを2日ほど親鳥が飛び回っていた。1~2年前ですが新小金井街道の桜並木がもう咲きはじめるという直前にほとんど幹のみの状態で枝を切り落とされた。みすばらしい桜がかわいそうだった。もう少し、計画性を見直せないか。</p> <p>転居して来た頃より緑が少なくなった。小金井橋あたりお店が欲しい。</p> <p>もともと緑が多い街だと思って引っ越してきましたが、市でたくさんの方を考られているのだと理解できました。まだ施策についてまだ理解が及んでいない部分が多いですが、自分の身の回りから環境に良いことを進めていけたらと思っています。</p> <p>自分なりに身の回りから見直し、環境に配慮した生活を心掛けたい。</p> <p>野川周辺を散歩するルートにしていますが、空気もきれいで居心地も良く、整備された環境に市や周辺住民の保全活動の努力が伺えます。時間的余裕があれば、こういった取り組みに協力できればと思います。</p> <p>カーボンニュートラルを含め、環境問題を問題視し過ぎだと思う。縄文時代は現代より2~3℃高かったとされており、緑を残すのは良いが、環境問題を子供に強いたりするのは、反対です。</p> <p>みどりの基本計画に反する計画が進んでいる。(農地減少、道路計画等)</p>
みどり 保全について	<p>自然豊かな公園があり、良い住環境なので後世に残すべき財産だと思います。</p> <p>公園を大切にしてほしい</p> <p>東京都内において、公園や緑が多く、とても過ごしやすい環境なので、この環境を保全してほしい。</p> <p>小金井市は桜や公園も沢山あり、自然豊かで沢山の人が緑を守っていると思います。川や水、食物や動植物の全てに優しく清潔を保持していきたいです。</p> <p>公園、崖線、野川、農地等のもたまった緑は大切にしていきたいです。駅前等に植樹されているのも景観、熱中症対策等に資すると思うのですが、歩道脇の低木の植え込みは、あまり必要性を感じません。植え込みがかなりの幅をとって歩道がせまくなっていますし、すぐにのびて、歩きづらくなってしまう。武蔵境のプレイスの東側の南北にのびる道は、フェンス、道路の側溝の形状も工夫されていてご参考にされるといいのかなと思います。</p> <p>小金井公園、野川公園と自然豊か。近くの公園や神社でも虫がいっぱいいるなど緑が豊かなのは維持すべき。ほかの自治体の差異化できるアピールポイントになる。</p> <p>小金井は、大きな公園や野川のわき水、夏はカブトムシやホタル、野鳥もいて、自然豊かな街なので、自然を大切にしていきたいです。煙がどんどん無くなり住宅が増えて少し淋しいです。</p> <p>恵まれた環境をより大切にしていきたい</p> <p>自然を守り、共存していける街になるといいと思います。</p> <p>自然の多い小金井だからこそ、開発推進でなく環境保全に努めてほしい</p> <p>みどり豊かな小金井市が、子供達や、次の世代まで続くことを願っています。</p> <p>自然豊かな環境を守る意義を市民に伝えてほしい</p> <p>人が増えることはいいことですが、そんな状況で環境保全・みどりの保全・気候危機対策…と言われるのもと思う日々です。</p> <p>開発優先ではなく今の自然環境を維持してほしいと考えます。</p> <p>私は、小金井市が大好きです。住みやすい所だと感じております。自然を大切に、街づくりをして頂きたいと思っています。</p> <p>詳しくないですが小金井市に住んでいて、環境面の不満はあまり感じたことがありません。現状維持か、それ以上ができれば一番いいですね！</p> <p>街がとてもキレイで緑もたくさん残ってるのが素晴らしいです。新しいものの導入というより、あるものを大切に、存続させること、自然を守ること、自然と住む人がうまく共存していけたらいいと思う。他の地域には無い、とても空気が美味しくて穏やかな土地です。</p> <p>現状の緑・農地を残せるようにしてほしい。</p>

みどり 保全について	自然をなるべく残して欲しい。自然を残すことが地球環境の保全につながります。虫が激減したと 感じます。虫の音が聞こえぬ「沈黙の夏」ではないかと懸念します。
	小金井市は緑が多く、自然が身近にあるとても良い市だと思います。子供たちの未来にも良い環境 を残して欲しいです。
	緑が多い小金井市、それがいつまでも続くよう祈ります。 次世代の人の為に、自然環境、みどりの保存などよろしくをお願いします。
	小金井市は緑豊かで自然にあふれているところ。また、市民もその自然を大切に思っている人が多 いところがとても好きです。これからも住みつつつきたい町なので、自然と景観を大事にしてもらい たいです。
	自然環境は一度壊してしまったら二度と再生することができません。小金井の自然を守りたいで す。
	市の取り組みに敬意を表します。緑豊かで静かな街が維持されることを願います。
	小金井市は、まだ緑も多いいい市ですが去年まで作物を作っていた畑が住宅地になったりセミ の鳴き声が出ていた木々が伐採されていくのを見ると人間が自然破壊しているのだと感じていま す。自然を守って下さい。
	環境保全に力を入れていることは良く判りますので今後お願いいたします。市内にはベンチが多 く、自然の良さを感じる場所が随所にあります。これらが人を生きやすくしている事を肝に銘じ、 生物、植物も同様に生命力が減少して行かないよう、気遣う必要を感じています。小金井市の自然 は最高の財産です！！
	次世代に残す緑。植物、生物の保全に力を入れてほしい。
	皆様にご迷惑をかけないようにみどりの保全に努めます。対応が遅れて申し訳ありません。質屋坂 の大谷石への対応も、土地境界の向かいの方と話しあいます。
	静かで自然の残る街づくりを進めてほしいです。便利でかつレトロな町でも良いのではないでしょ うか。
	桜が毎年減っているような気がします。桜、みどりを守って下さい。よろしくをお願いします！ミスト をまくようなやつがあるとうれしいです！（駅とか、公園に）
	緑の多い街を残していきたいと思えます。
	開発時、自然を残して欲しい。むやみに建物をたてるなどはできるだけ控えてほしい。 農地の宅地化が進んでいるが、緑豊かな環境を保全してほしい
	木やみどり、自然をなるべく残したり増やしてほしい。
	とても住みやすいまちだと思います。この緑をできるだけ残すか、ふやしていくことができればい いと思います。いつでも緑ゆたかできれいなまち「小金井」であってほしいです。
	桜の保全活動に力を入れてほしい。青森の「桜守」の様な。1～2日位の桜の負担にならない位のラ イトアップイベントも良いかも。
	鶯が鳴く季節になると、朝は鶯の鳴き声で目覚めるので気持ちいい。こんな環境を守ってほしい。
	小金井は自然豊かな暮らしやすい街だと思っています。環境施策についてはよく知りませんでした が、色々対応くださっているからこそなのだと感じました。今後も続けていただきたいです。
	また、保存樹林とされる樹木を土地の持ち主が変わっても伐採せず引き継がれていく方法を検討 して下さいとありがたいです。よろしくをお願いいたします。
	小金井市に住んで30年超。高い建物が少なく空が広く感じられる町に満足しています。これから もこの環境の維持を希望します。
	駅から5分程歩けば、静かで緑があり、美しく、穏やかな環境が保たれていて、住みやすい街です。 この状況を維持して頂きたい。
	市民のためにご尽力いただき感謝致します。今年も野川沿いでホタルを見ることができました。す てきな自然がずっと残ると良いと思います。
	小金井市には他に類を見ない豊かな国分寺崖線の自然があり、将来に残したい大切な財産です。 小金井市がここまで環境のことを行っているとは知りませんでした。東京なのに緑が多い環境を残 して欲しいです。
	小金井市が環境の取り組みに対して非常に積極的に取り組んでいると感じ、その点は市に住む住 民として嬉しく思っているところです。これからも緑や水のキレイな小金井でいてほしいです。
	まとまった緑の保全はよく取り組まれていると思いますが、点在する緑が少しずつ消えているとこ ろが残念です。
	環境の良さが小金井市の最大の魅力だと思うので、これまで以上に注力していただけると幸いで す。
	都内にいながらこの自然豊かな環境はとても大切。この環境を守り市民が活かしていけるよう、今 後もお願いしたいです。
	最近急速に農地の転用が進み、住宅、店舗が出来ている。何らかの対策を取る必要を感じる。農地 保全は環境を守るうえで大事だ。
	自然環境の保全を最優先にしてほしい。利便性追求の為に道路の開発は控えてほしい。
	五日市街道沿いのケヤキなどを丸々伐採する必要はあったのでしょうか。長期的にみれば”地球環 境といきもの”を守ることになるのでしょうか。
	玉川上水沿いは桜だけ残せばいいとは思いません。ちょうどよい手入れって難しいなと思ってます …。小金井が大好きです！！東小金井は”歩ける町”をお願いします。駐輪場、広い空もむだに見え ますが最高です。☆全く関係ないですが5/30の市議会だよりは良かったです。大好きな小金井を よろしくをお願いします！！

みどり 保全について	<p>野川の緑、野鳥をこれからも守って欲しい②国分寺駅前みたいにミストを撒いて欲しい 野川や公園、自然をそのままに残してほしい。 原っぱや野川を大切に守ってほしい 野川沿いの緑多き環境を是非保全して下さい。 元々、水(野川、湧水)や緑(公園、緑地)に恵まれている町なので、それを維持していける施策を考えて頂けたらと思います。・野川の近くに住んでいますが、野川の草刈りが年4回だとやや不足です。特に夏場は2回草刈りをして欲しいです。現在、雑草がひどく、歩ける状態ではありません。 はげの自然を壊さないで下さい。 ハケの森の現状保全 ハケの緑は守ってください！ 小金井の税収アップも大切ですが、駅前にタワマン建設したり駅周辺の商業施設の誘致開発は自然破壊と景観悪化で小金井らしい空間や近所同士のつながりが壊れてきています。地球を大切に原点に戻って欲しいなどと思います。 東小金井市に移ってまだ一年にもなりません、スーパー等出来て便利になっていくのは嬉しいことですが、一方、樹木や木や鳥や虫も育ていける自然の環境はたくさん残してほしいです。 農業人口を大切にすることは、市の財産を大切にすることだと思います。緑の保全を掲げつつ、大災害が起きた時に役立つ地元のパワーをもっと活用することは、危機管理の一つではないでしょうか。</p>
みどり 施策について	<p>緑率のバランス(割合)を向上させる 水平方向と垂直方向にも考慮すべき 小金井市特有の自然環境を守る施策を真剣に進めてほしい 街中にも緑多く、涼しい場所を増やしてほしい 小金井市は自然と人との調和ができる力があると思うので、自然環境の保全と住宅地としての魅力をどんどん伸ばしてほしい。 緑が多い小金井の特性を財産とらえ、緑と人口のもの(道路や建物など)との調和を考えた街づくりをもっと推し進めていただきたい 緑の多い街づくりをしていると感じる また、空いてる農地を市民農園として活用することで、自然保全にも地域の活性化や、防犯にもつながるのでは、とも思います。 緑化を推進するため、苗木だけでなく、花や野菜の苗、種などの配布を推進してください。・以前実施していた堆肥の配布を、資源物を回収している公民館などで定期的実施してください 環境施策について私はあまり知らなかったです。しかし普段生活をしている上で、環境についての課題をあまり感じないので、あまり問題はないのではと私は思いました。 恵まれた環境を十分に活かし、さらに先進的な取り組みを進めていただきたい。 グリーンカーテンの苗の無料配布が良いと思います。(ゴーヤ、バタフライピーなど) 玉川上水の桜を守ることに重点を置く結果、植物の多様性を破壊するような伐採が行われ、緑のカーテンがなくなり、自然環境にも悪い変化が起きている。 街路樹も、夏に緑豊かで日影を作るような樹木にしてほしい。 緑豊かなこの町が大好きです。これからもここで暮らしていきたいと思っているので、いろいろな環境施策を進めていただけたら有難いです。 小金井市の良い環境施策をおおいにやってほしい 今現在ある緑を守ることは必須だと思います。加えて、各家に木を植える、マンションのあまスペースにも必ず木を植えるなどして増やしていくべきだと思います。 武蔵小金井北口の開発に伴い(北口エリア小金井駅)小金井を象徴出来るような場所として、取組んで頂きたい。緑化政策を強化。とにかく全ての政策がおそい！！議員のかずを減らし、赤字財政を健全化して欲しい。 タワマンが出来て、今までのどかな小金井が少ずつ失われているような感じがします。緑が沢山ある街、マンション周辺に緑を植えて欲しいです。 緑の環境施策を強く希望します。 小金井市の環境施策素晴らしいです。 小金井市はみどりが多く、公園も多く住み良い町です。大きな事は出来ませんが、庭に四季おりりの花を綺麗に咲かせたり、樹木の手入れをしたり各家庭ごとにするのも環境が良い小金井市になると思います。 緑も多く、多様にわたる鳥など身近にふれる環境はすばらしいと思う。施策ははっきりとはわからないがまだ良いと思う。 小金井公園に親水(水遊び)場所を作るよう都に働きかけてほしい。 緑の政策がとても良い。小平と比べて、わかりやすい様に街がきれいです。ただ、子どもが気軽にあそべる公園が少ないので、子育て世代というよりは、それ以外の世代にマッチする様な気がします。当方、上記の理由より8月末～小平へ転居予定です。 現在松本市と小金井市を行ったり来たりしています。やはり小金井は都立公園が近くにあり普段の生活にとっても良い影響があると感じます。小金井の良さを更に生きるように市民と共に市の皆様ご尽力ください。 緑よりも住宅の方が増え、残念に思う。街路樹などを増やし、日陰を作り出して欲しい。 小金井公園の中に子どもが遊べる水場があると良い。 小金井市が実施している環境、みどりに関する計画や取組など、ほとんど知らないのだと実感しました。小金井市は、緑豊かな環境が魅力の街と言われています。その背景には、様々な取組があるのだと知りました。ありがとうございます。子供が大きくなり、公園はもちろん、小金井市の「みどり」を感じる事は、少なくなりましたが、この環境を守っていくことは大事な事だと思っています。 市民が意識して行う必要のないくらい当たり前前に自然と共に暮らせる町づくりを目指して欲しい。</p>

みどり 施策について	小金井公園の桜の敷地をどうするのか気になる。マンションばかり建てないでほしい。
	小金井市の環境対策は多岐にわたり、素晴らしいものだと思います。
	小金井市がしっかり指針を組み、「小金井というブランド」を守る緑豊かな街づくりをした方がよいと強く考えます。樹木園・畑が点在して四季を感じることができ、文化施設が多く、とくに子育て世代向け文化度が非常に高く、都心部への通勤利便性の良さに住んでよかったと思っております。しかし小金井市の緑の多くは個人所有に強く依存し、継承のなか失われ住宅地となりました。本町小学校に隣接していた巨大な梅園が潰され児童達は「春の鶯」「夏の野生の夕顔」「冬の霜柱」が永久に失いました。数年の小金井市の開発の現状は小金井というブランドを殺すものばかりで、大きなズレを感じております。この現代では、自然はあること自体がステータスでブランドなのです。千葉県流山市のように小金井市というブランドをしっかりデザインして考えてほしいと切に願っております。
	小金井市のためにありがとうございます！！課が違うかもしれないのですが…梶野町まつのか広場にある鉄棒と植木が近すぎて遊びづらいので鉄棒の位置をかえるか植木のポリウムを減らすか…。利用するたびに改善しないかな～と思っています。
	児童公園の名称がその公園内の樹木名であるのが素晴らしいと思う。より親しみが持てるように各樹木に名前のプレートを付けてほしい。
	奨励金制度を利用し生け垣を植えても、その後木の剪定もされず伸びほうだいになっている生け垣も多く、通行の邪魔や害虫の発生など迷惑な状態の生け垣もあります。市では、植えてくれれば良い、その後に關しては、何も指導などはしないのでしょうか？
	桜も老木になりとんとん切られていくか？切られた分はその倍の木を植えて欲しい。農地も土地を売るときには政府、自治で有効活用して欲しい。土地を残して欲しい。マンションや家を建てるのではなく。
	野川、仙川、玉川上水、小金井公エ、野川公エなど他自治体より豊かな環境を活かした施策で特長ある小金井市をアピールして下さい。小金井の良い資産。
	農地が次々と分譲住宅やマンションに変わっていく印象を受けます。民間任せにせず、ある程度は行政がプレーキ役になってバランスをとる役割を演じる必要があると考えます。
	街路樹の選定がよくない。白い大きな花等は散ると道路にへばりついたり、白い紙切れがゴミの様に見え毎年がっかりしている。駅のまわりにもっと桜を増やして欲しい。小金井らしく。
	環境問題は「小金井市」単位で議論するものではなく、もっと広い範囲の問題としてとらえるべきと考える。近隣市との連絡を取りながら取り組んでゆく事を提案します
	はげを含め、緑をたくさん残す施策をお願いします。
	せつかく緑が多い街だから開発ばかり進めずに近隣とは違う緑の多い街として東京を代表する市にすべき。
	空気のきれいな市、緑の多い市、気候変動に強い市、お願いします。
	野川にもっとベンチをベンチに座って野川の四季が描けたらと思っています。小金井市を流れる野川をもっと憩いの場にしたら、どうでしょう。※小金井市はきれいな町だと思います。ゴミがカラスにつつかれないように市民は気をつけています。希望としては、もっと花々が見られるともっと輝く小金井市になると思います。
	武蔵小金井駅を利用していますが、駅前にもっと”緑”がほしいなと思っています。駅前に商業施設が集まっていてとても便利ではありますが、買い物に行くだけでなく、プチ公園のように緑が増えるとより気持ち良く、より自然を感じられるような気がします！！メンテナンスは大変だと思いますが…
	大きな公園では、多くの緑は保たれていると思うが、住宅街では、ここ数年で、農地がどんどん過密な住宅に変わっていく風景を目にする。様々な事情で農地を手離さなければならないと思うが、今のスピードで、農地がどんどんコンクリートにおおわれた住宅になっていって、景観も単調になってしまうし、気温の上昇も心配だ。
	比較的緑の多い環境ではありますが、最近農地や大きな屋敷が住宅密集地になっていて緑が少なくなっていると思う。
	緑が大事と言いながら、緑が削られている気がします。そのおかげで暑さがあがってる気がします。
	市ではどうにもならない事かもしれませんが、住宅地での畑がとんとん減少し、緑の多い小金井市が緑の少ない小金井市になっていく心配があります。
ニオイコブンの街路樹の花があまりきれいにみえない。児童公園の水道の排水がわるく水がたまっていたりする時がある。小さな公園でももっとしばふや植樹があれば涼しくなるのになと思う。	
小金井は緑豊かな町です。しかし最近畑が小さな住宅密集地になっていっています。一軒の広さを市で決め、余りに小さい家が建たないようにするのはどうでしょうか？ゆったりと過せる小金井であって欲しいと思います	
生け垣推進は良いことだが、道の角、交さる所では見通しが効かず車の運転上危険だなあとすることがあります→徹底した指導と管理。ハゲが豪雨でくずれたりしないか心配です。四小下あたりや美術館あたりが特に心配。	
駅前開発などによってコンクリート化、人口増加が著しく環境破壊が進んでいる。アスファルトで固めるのではなく、木陰を多くして皆が休めるベンチも設置してほしい。日除け、雨除けができる場所(特にバス停の近くなど)が、増えるといいと思う。	
小金井市は、昔から自然とそして環境を守ることに努力して来た市であると思っています。進むべきこと守るべきことがあり、自然は壊してしまったら元にもどすことは長い時間が必要です。なにごと小金井市にとりメリットかデメリットか考えてほしい。しかし市民を含め皆様とても頑張って下さっていることが嬉しく思います。	

<p>みどり 施策について</p>	<p>以前は23区内に住んでましたが、小金井市に引越してきて、緑は多いし空気もおいしいし落ち着いて満足しています。引越してきて1年も経ちませんが、どこに住んでるの？という話になって「小金井市」と答えたら小金井市の知名度が低いのか「何もないよね…」って言われることが多いので、東小金井駅周辺を特にオシャレな街(みどりと共生する)にしてほしいです。(吉祥寺ほどとは言いませんが)武蔵小金井駅周辺はあれはあれでいいので、東小金井駅周辺はまだまだノビシ口があると思います。</p> <p>7年前に中野区から引越してきました。国分寺崖線の緑と武蔵野の雑木林的な緑地に恵まれたすばらしい環境に満足していましたが、ここ数年の間に住宅化が進み、武蔵野の自然豊かな環境は個人の努力によって守られていたのだと驚き、市民の財産として今後は守られていくべきではないかと考え、努力を小金井市や都にお願いしたいと思っています。</p> <p>新築住宅の庭の緑がとても小さい。→義務化を！</p>
<p>みどり 整備について</p>	<p>家の周辺にある公園が、よく喫煙者のたまり場のようになっていて子どもを遊ばせられるような環境にありません。公園内には雑草が生い茂り、整備されていないように見受けられることから、そのような利用者ができてしまうのでは？と思っています。子どもが安心して遊べる明るい公園づくりをお願いしたいです。</p> <p>緑町5丁目に住んでますが、遊具を置いていない、公園、広場(三角ベースボールができるくらいの)があると、多機能に使えるのになと思います。</p> <p>野川の生い茂った草が気になります。また、子どもたちが野川で遊ぶのはいいですが、水鳥や魚に対して乱暴な行為が見られたことも。見張っているわけにいきませんが、これも気になりました。緑が多く小鳥のさえずりが聞こえ素晴らしい。ただ、整備されているかといえば、充分ではない。自転車道は通れないくらい草が生い茂り、車の運転で曲がる時に歩行者が見えにくいくらい街路樹が生い茂り夏は蚊も多くもう少しマメに草刈りや伐採を行ってほしい。自然が多いと、放置は全く別もの。</p> <p>小さい端切れのような、特に利用されていない公園？空き地？が多く、うまく整備が進んでいないと感じます。小長久保公園もそうだと思います。</p> <p>緑が多い分、雑草も多く公園などでも暑くなってくと雑草が茂りまくりで蚊が多くて困る部分もあるのでもう少し手入れしてもらえるとありがたい。街路樹のツツジも歩道にせせり出て歩道が狭くなっている場所もある。住宅地の中に所々に農地があるのは子供にとっても野菜がどのように作られるのかや季節の野菜など身近に感じられて良いと思う。基本的には広い公園や適度に自然もありつつ、落ち着いた住環境で住み良いと思う。</p> <p>住宅地の側にある緑地が、木が伸び放題で電線にかかっている危険を感じる。鬱蒼としていて、環境保全ではなく放置にみえるので、きちんと整備してほしい。</p> <p>野川の遊歩道を散策していますが、夏には雑草が繁茂し、歩けなくなりますので、定期的に雑草刈りをしていただきたい。</p> <p>公園の管理ももう少し力を入れてほしいです。よろしくをお願いします！！</p> <p>道路の緑地がオシャレじゃない(他市の道路に比べて)ハトにエサまく人がいて困る。早く道路の工事進めてほしい</p> <p>街のみどりについて。よく見かけなのが、家の敷地からはみでている樹木、枝など、大幅にとびだしているとても危険です(地蔵通りに数ヶ所)。歩道を狭めて歩きにくい、視界が悪く車のすれ違いがむずかしい。緑を大切にするのはよい事ですが、そういったものは撤去して危険な緑はなくして欲しい。又公園に雑草がものすごく伸びっぱなしで本来の機能を果たしていない所もあるので、管理して欲しいです。</p> <p>野川公園、小金井公園、滄浪泉園など、いつも小金井市のみどりにお世話になってます。自然観察園の遊歩道を直してくれてありがとう。</p> <p>こがねの自然環境はとても良いと思います。河川や遊歩道の雑草をもう少しマメに刈ってくれると助かります。</p> <p>街路樹の剪定、落ち葉の清掃を計画的に行ってください。</p> <p>歩道の脇に街路樹が植えてある事は、景観の良さ、環境を守る意味でもとても良いと思います。けれど葉が落ちた道は滑りやすく危険に感じる事が多いです。街路樹の剪定を葉が落ちる前に行っていたら大変嬉しく思います。</p> <p>公園が多く、湧水も多く、桜も整備されています。まずはこの状況を維持し、更に誇らしい状況になるよう、期待しています。特に野川のしだれ桜の老朽化が目立つのですが、河川法の関係あるかもしれませんが、植え替え期待しています。</p> <p>武蔵野公園や野川公園がきれいに整えられているので、すごく気持ちがよいです。(休日の晴れた日に散歩することが多いです)</p> <p>講演、並木道などを整備してほしい。並木道がきれいに見える様、電線を地下に埋めてほしい</p> <p>児童公園の遊具がプラスチックのものなので貧弱です。子どもが安全に遊べる公園設備を望みます。</p> <p>小さな子供がいるので、楽しく遊べる空間だと嬉しいです。お忙しいのは重々承知ですが、環境を整えていただくと嬉しいです。よろしくをお願いします。</p> <p>緑化のためか何年前か前に街路樹の低木が植えかえられていました。育たず枯れた低木がずっと放置されているのが気になります。剪定やお掃除はたまにされているのは見かけますが、枯れたものは取り払ったらどうでしょうか。道路の排水溝の様な場所が土や枯れた葉などで詰まったままの所が多々あり、豪雨の時は大丈夫なのか心配です。</p> <p>市の取り組みが素晴らしいことは上記アンケート等で再認識いたしました。一点気になった事は、樹木の根が張りすぎていて、歩道が盛り上がりつつあること。災害時の避難時など、つまづき転倒が心配です。(もう何度かつまづき転倒しています)</p> <p>緑中央通りの近くに住んでいます。あの通りはお花がさいて、みどりもあって、気分の良い通りです。小金井市は緑があるところはとてもすてきですが、整備されていない生いっげった感じのところも多く、せつかくの緑を気持ち良くみれないところもあります。理由があつて整備しない、ナチュラルにしておくという方向性であれば、そのメリットを勉強できるといいと思いました。(個人的には玉川沿いもモサモサしていると思っています)</p>

みどり 整備について	<p>小金井市は、公園や畑など緑が多い町だと思う。しかし、年1回の市民の清掃くらいでは到底町のきれいさは保てないと思う。我が家の近辺でも栗山公園は強風の後には枝が折れかかってぶらさがっていたりして危険だし、農工大通りの学校に沿っては「マテバシイ」の落葉がたくさん落ちて、そのままだったり。私も時間がある時など月1回くらいのペースだがボランティア袋に落ち葉を集めたりしているが、きれいに気持ちよく保つにはチェック(町の見回りも大事)空家の木々が伸びすぎて道路にかがさっているなども環境政策課として是非チェックしてほしいです。</p> <p>郵便局へ行くために北大通りをよく歩きます。街路樹が植えられていて、一見素敵な景観です。しかし、枝が伸びすぎてしまったり、落葉が道にたまっていて、実は美しい通りとはいえません。人の手で木々を植え、緑を増やしても、それをどうやって整備し、安全に保っていくかを考えることが必要だと思います。</p> <p>公園と歩道間の植栽については、とても成長がはやいので、短期間で歩きにくくなってしまいがちかと思われます。(特に気温上昇時期)ので、その種類については一考の余地ありかと思えます。</p>
---------------	---

### 3 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査 調査票

日本人向けの調査票を次項以降に掲載します。

外国人には、日本語版の他、英語、中国語、韓国語を同封し、回答者自身で回答言語を選択できる方式としました。

# 小金井市の環境・みどりに関する 市民アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
市では、令和3年3月に、「第3次小金井市環境基本計画」、「小金井しみどりの基本計画」及び「第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、環境保全、みどりの保全・創出、気候危機対策に力を入れています。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、以下のアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

**目的** 市民の皆様が環境・みどりについて日頃感じられていることやご意見などをお聞きし、計画の評価・見直しの参考にさせていただくため、アンケート調査を行います。

**対象** 市内在住の18歳以上で無作為に抽出した3,000人の方

**取扱** 本調査票に記入された内容はすべて無記名データとして統計処理し、その他の目的での利用や個人の情報を公表することはありません。



令和7年6月 小金井市長 **白井 亨**

◎ご記入いただいた調査票、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

**令和7年7月9日（水曜）まで**にご投函ください。

◎アンケート調査票・返信用封筒に**氏名・住所**をご記入いただく必要はありません。

## スマートフォン・パソコンから、 インターネットでも回答できます！

環境保全や気候危機対策は、「一人ひとりから始めること」、「今すぐ行動すること」が大切になります。ぜひ、ご回答をお願いします。

アンケートを通じて、普段考えることが少ない小金井市の環境について考えてみましょう。



小金井市イメージキャラクター  
こぎんちゃん

1. スマートフォンからは、右記の二次元コードを  
読み取ってアクセスできます。



2. パソコンからは、ブラウザURL欄に下記のURLを入力してアクセスできます。

<https://rsch.jp/872759ed15beab2a/login.php>

3. 回答の際は、以下の「ID」を入力してください。

I D :

※ 「ID」は、二重回答防止に使用するもので、IDと個人を紐づけた管理はしていないため、個人が特定されることはありません。

※ インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送は必要ありません。

## ◆ ご自身について

はじめに、あなたご自身についてお聞きします。該当する番号 1つに○ をつけてください。

性別	1. 男性      2. 女性      3. その他
年齢	1. 10歳代    2. 20歳代    3. 30歳代    4. 40歳代    5. 50歳代 6. 60歳代    7. 70歳以上
住所	【町名】 1. 東町      2. 梶野町      3. 関野町      4. 緑町      5. 中町 6. 前原町    7. 本町      8. 桜町      9. 貫井北町    10. 貫井南町
	【丁目】 1. 1丁目    2. 2丁目    3. 3丁目    4. 4丁目    5. 5丁目 6. 6丁目 ※地域ごとに結果を整理するため、丁目までの記入にご協力ください。
小金井市 居住年数	1. 3年未満                      2. 3年以上5年未満                      3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満      5. 20年以上30年未満      6. 30年以上
住宅の形態	1. 戸建て                      2. 集合住宅                      3. 間借り等その他

## 1 身近な環境の満足度について

お住いの地域の環境に関して、該当する番号 1つに○ をつけてください。

地域の環境	満足	やや満足	どちらとも 言えない	やや不満	不満
1. 環境の状況や施策に関する市からの情報提供	5	4	3	2	1
2. 水のきれいさ（河川や湧水の水質、におい等）	5	4	3	2	1
3. 水辺との親しみやすさ（河川や湧水を身近に感じるか）	5	4	3	2	1
4. 生き物（野鳥、昆虫、水生生物等）との親しみやすさ	5	4	3	2	1
5. 空気のきれいさ（車の排気ガス、星空の見え方等）	5	4	3	2	1
6. まちの静けさ	5	4	3	2	1
7. 有害化学物質からの安全性	5	4	3	2	1
8. まちの美しさ（景観、調和等）	5	4	3	2	1
9. まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱、におい等）	5	4	3	2	1
10. 地球環境に配慮した取組み（CO <sub>2</sub> 削減等）	5	4	3	2	1
11. 気候変動による豪雨等の災害からの安全性	5	4	3	2	1

## クイズ★市の鳥、市の虫 知っていますか？

市内には、自然の中で生き物と親しめる公園や水辺が多くあります。  
市の木はケヤキ、市の花はサクラで、市章にもサクラの花びらがデザインされています。  
それでは、市の鳥と市の虫はなんでしょう？



市章

桜の花びらと小金井の「小」  
を圖案化しています

【ヒント】 市の鳥：水辺に生息する、色鮮やかな小型の鳥  
市の虫：「鳴く虫の女王」と呼ばれる、コオロギのなかまの虫

→ 答えはアンケート最終ページにあります！

## 2 日常生活における環境に関する取組状況

1) 普段の生活を振り返って、小金井市の環境に優しい行動がとれていますか。各項目について、該当する番号1つに○をつけてください。

行 動 内 容	いつも している	ときどき している	しない ことが多い	したこと がない
1. 庭やベランダなどで、木や草花を育て、除草剤の使用は控える	1	2	3	4
2. 地元の農産物を積極的に購入する	1	2	3	4
3. ポイ捨てをしないなど、マナーを守って生活する	1	2	3	4
4. 生活騒音に気を付けるなど、日頃から隣近所への配慮を心掛ける	1	2	3	4
5. 洗剤は極力石けんを使い、合成洗剤を必要以上に使わないよう努める	1	2	3	4
6. もの大切に使い、捨てる前にリユース、リサイクルを意識する	1	2	3	4
7. 生ごみは水切りを行い、汚れがあるごみは洗浄してから排出する	1	2	3	4
8. ものを捨てる時は、水銀などの有害ごみを混入させないなど、分別を徹底する	1	2	3	4
9. 移動は徒歩、自転車、公共交通機関を優先する	1	2	3	4
10. 打ち水やベランダで緑のカーテンを設置等、涼しくする工夫をする	1	2	3	4
11. 防災マップで避難場所を把握し、非常食などを備蓄する	1	2	3	4
12. 市HPや、市が発行する環境報告書などで環境情報を調べ、“小金井の今”を知る	1	2	3	4
13. リサイクル推進協力店や食品ロス削減推進協力店での購入を心掛ける	1	2	3	4
14. 家電など買替えの際は省エネ性能の高い製品を選ぶ	1	2	3	4
15. 自動車の買い替えの際は次世代自動車を検討する	1	2	3	4
16. プラごみ削減のためプラスチックのスプーンやストローは買わない・使わないようにする	1	2	3	4
17. 生ごみは堆肥化して有効に利用する	1	2	3	4

2) 環境配慮型の機器の利用・導入状況について、該当する番号 1つに○ をつけてください。

1: 既に導入している 2: 今後導入したい 3: 導入は考えていない 4: わからない

環境配慮型の機器	選択肢	環境配慮型の機器	選択肢
1. 電気自動車・プラグインハイブリッド車	1 2 3 4	7. 断熱窓	1 2 3 4
2. ハイブリッド車	1 2 3 4	8. 遮熱塗装	1 2 3 4
3. 住宅用燃料電池コージェネレーションシステム	1 2 3 4	9. 高効率給湯設備 (エコウィル、エコジョーズエコキュート等)	1 2 3 4
4. 住宅用太陽光発電システム	1 2 3 4	10. 雨水貯留施設 (雨水タンク)	1 2 3 4
5. 蓄電システム	1 2 3 4	11. 雨水浸透施設 (雨水浸透ます)	1 2 3 4
6. 太陽熱ソーラーシステム 太陽熱温水器	1 2 3 4	12. 生ごみ減量化処理機器	1 2 3 4

参考 Memo

ご存知ですか。小金井市では環境に配慮した機器等の補助制度を実施しています。

● 住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業

太陽光発電、蓄電システムなどを設置する方に予算の範囲内で設置費用の一部を補助しています。

対象機器等の概要		補助金額
燃料電池	ガスで発電を行い、同時にその排熱で給湯も行なう仕組みの機器	35,000 円
太陽光発電設備	太陽の光で発電する設備	1 キロワット当たり 30,000 円 (上限 100,000 円)
蓄電システム	電気を繰り返し充電して、家庭内の電気機器に電気を供給する仕組みの機器	40,000 円
太陽熱温水器	太陽の熱でお湯を沸かす機器	15,000 円
太陽熱ソーラーシステム	集熱器で集めた太陽熱を、不凍液等を循環させることで蓄熱槽内の水を温める機器	30,000 円
断熱窓	室内の熱の出入りを抑え、快適な室温を保つための窓	設置費用の 1/5 に相当する額 (1,000 円未満の端数は切り捨て。上限 100,000 円)
遮熱塗装	建物の屋根などに遮熱塗料を塗ることで、太陽光の熱を反射し、室内の温度上昇を抑える塗装	40,000 円

● 次世代自動車普及促進補助金

次世代自動車を購入した方に、予算の範囲内で購入費用の一部を補助しています。

対象機器の概要		補助金額
電気自動車(EV)	バッテリーの電気を使ってモーターを動かし、走行する車	100,000 円
プラグインハイブリッド自動車(PHV)	ガソリンエンジンと電気モーターの両方を搭載し、外部から充電できるハイブリッド車	100,000 円

※制度の詳細、申請状況を市ホームページで公表しています。ただし、申請期間内であっても、予算上限に達した時点で申請を締め切らせていただきますのでご注意ください。

3) その他、ご家庭で取り組まれている環境に関する取組などがあれば、お書きください。

例：エコラベル商品や国産木材製品の購入 等

### 3 環境保全活動への参加状況及び小金井市の取組の認知度について

1) 以下の環境保全活動に過去5年以内に参加したことはありますか？該当する番号 1つに○ をつけてください。

環境保全活動	参加したことがある	参加したことはないが 今後機会があれば 参加したい	参加したことはないし 今後参加したいと は思わない
1. まちの清掃・美化活動	1	2	3
2. ごみ減量活動 (リサイクルショップの利用、食品ロス削減等)	1	2	3
3. まちなかの緑化活動 (植樹・花壇づくり・緑のカーテン等)	1	2	3
4. 地下水・湧水・河川の保全活動	1	2	3
5. 地域の自然(生き物、樹林等)の保全活動・観察会	1	2	3
6. 環境をテーマとした講座・講演会・勉強会・イベント	1	2	3
7. その他( )	1	2	—

2) 以下は、小金井市が実施している環境・みどりに関する計画や取組、施設等の一部です。

これらについて該当する番号 1つに○ をつけてください。

(計画・取組等の概要は次ページの表を参照してください。)

施策名、事業名、施設名等		選 択 肢					
計 画 ・ 施 策	1. 小金井市環境基本計画	1	知っているし、 読んだこと がある	2	知っているが、 読んだこと はない	3	知らない
	2. 小金井しみどりの基本計画	1		2		3	
	3. 小金井市地球温暖化対策地域推進計画	1		2		3	
	4. 小金井市気候非常事態宣言	1		2		3	
取 組	5. こがねい環境フォーラム	1	知っているし、 参加したこと がある	2	知っているが、 参加したこと はない	3	知らない
	6. 野川環境フィールドワーク (旧クリーン野川作戦)	1		2		3	
	7. 省エネチャレンジ	1		2		3	
	8. 環境賞 (小中学生による絵画コンテスト)	1		2		3	
	9. 環境講座 (子ども向けワークショップ・一般向け環境講座等)	1		2		3	
施 設	10. 環境楽習館 (環境啓発施設)	1	知っているし、 利用(見学) したことがある	2	知っているが、 利用(見学) したことはない	3	知らない
補 助 事 業	11. 次世代自動車普及促進補助金	1	知っているし、 利用したことが ある	2	知っているが、 利用したことは ない	3	知らない
	12. 住宅用新エネルギー機器等 普及促進補助金	1		2		3	
	13. 保全緑地制度 (環境保全緑地・保存樹木・保存生け垣)	1		2		3	
	14. 生け垣造成奨励金交付制度	1		2		3	

市の計画・取組等の概要

計画名・事業名等		概要
1	小金井市環境基本計画	市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する計画
2	小金井市みどりの基本計画	市のみどりに関する目標及び取組を定める総合的な計画
3	小金井市地球温暖化対策地域推進計画	温室効果ガス排出削減等のための施策等を推進する計画
4	小金井市気候非常事態宣言	2050年までにゼロカーボンシティを目指し、2022年1月に発出
5	こがねい環境フォーラム	市民団体等と協働して実施する環境啓発事業（令和7年度は11月14日(金曜)～16日(日曜)に小金井 宮地楽器ホールで実施予定）
6	野川環境フィールドワーク	野川の清掃活動や生物多様性を学ぶワークショップを実施する環境啓発事業(令和7年度は6月7日(土曜)に実施)
7	省エネチャレンジ	電気使用量、ガス使用量の削減に取り組む事業削減率に応じて「さくらポイントカード」を付与
8	環境賞	「環境に関すること」をテーマとして絵画作品を募集こがねい環境フォーラム等で作品を展示予定
9	環境講座	小学生向けの講座「地下水を学ぶ」や一般・事業者向けの「省エネ診断講座」等を実施 年度により実施内容は異なる。
10	環境楽習館	市唯一の環境啓発拠点施設 環境の日イベントや四季に合わせた歳時記イベント等、様々な啓発事業を実施
11	次世代自動車普及促進補助金	電気自動車等購入費用の一部を補助(予算上限あり)
12	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金	蓄電池、太陽光発電設備、蓄電システム、断熱窓等の設置費用等の一部を補助(予算上限あり)
13	保全緑地制度	環境緑地:緑地に係る固定資産税等の税額の80%を減免 保存樹木:1本あたり2,000円の奨励金を交付 保存生け垣:1mあたり300円の奨励金(上限15,000円)を交付
14	生け垣造成奨励金交付制度	生け垣設置に要する経費の1/2、1mあたり10,500円まで補助(1戸あたりの限度額210,000円)(予算上限あり)

3) 前ページの1)、2)で参加(利用)したことはないと回答した設問がある方に伺います。参加しなかった理由、参加したいと思わない主な理由は何ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 時間的余裕がないから 2. 興味がないから 3. 知っていたら参加(利用)したかった  
4. その他 ( )

4 環境に関する情報提供について

環境に関する情報(例:環境関連イベント等のお知らせ、環境調査データの公開等)を市から発信する場合、どの媒体が利用しやすいですか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 市報こがねい 2. 市内掲示板 3. 公共施設等での掲示  
4. 市ホームページ 5. X・LINE等のSNS 6. メールマガジン  
7. 講座・シンポジウム・イベント等(環境以外も含む) 8. チラシ  
9. スマートフォンアプリ(マチイロ等) 10. その他 ( )



## 7 環境保全に関する用語の認知度について

最近よく使用されている環境保全に関する用語について、該当する番号 1つに○ をつけてください。

用 語	意味を含めて知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉自体を知らなかった
1. カーボンニュートラル	1	2	3
2. 気候変動への「適応」	1	2	3
3. 1.5℃目標	1	2	3
4. フードドライブ	1	2	3
5. バイオプラスチック	1	2	3
6. 3R+Renewable (スリーアールプラスリニューアブル)	1	2	3
7. 生物多様性	1	2	3
8. ネイチャーポジティブ	1	2	3
9. 30by30 (サーティバイサーティ)	1	2	3

### 参考 Memo

#### 用語解説

**カーボンニュートラル:** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、全体として排出量をゼロにすること

**気候変動への「適応」:** 猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など、様々な気候変動の影響に備えること

**1.5℃目標:** 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 1.5℃に抑える努力を追求すること

**フードドライブ:** 家庭で余っている食品を回収拠点(スーパーや自治体など)やイベントに持ち寄り、地域の福祉施設や子ども食堂、生活困窮者支援団体などに寄付する活動のこと

**バイオプラスチック:** 植物などの再生可能な有機資源を原料とするバイオマスプラスチックと微生物等の働きで最終的に二酸化炭素と水にまで分解する生分解性プラスチックの総称

**3R+Renewable:** 3R(スリーアール)とは「Reduce」発生抑制、「Reuse」再使用、「Recycle」再資源化の頭文字を取った3つの行動のこと、Renewable(リニューアブル)とは「再生可能な」という意味で、行動としては、再生不可能な資源から再生可能な資源に替えること

**生物多様性:** 生きものたちの豊かな個性とつながりのこと

**ネイチャーポジティブ:** 自然が豊かになっていくプラスの状態、「自然再興」

**30by30:** 2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

## 8 小金井市のみどりについて

【みどりの満足度】 本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに○をつけてください。

みどりの施策 等	満足	やや満足	どちらかといえば満足	やや不満	不満
1. みどりに関する市からの情報提供	5	4	3	2	1
2. 農地の親しみやすさ（市民農園等）	5	4	3	2	1
3. みどりの豊かさ（樹林地、街路樹、公園等）	5	4	3	2	1
4. 公園の居心地のよさ	5	4	3	2	1
5. ボランティア活動の参加のしやすさ	5	4	3	2	1
6. イベント（滄浪泉園・公園花壇植え替え等）の参加のしやすさ	5	4	3	2	1
7. みどりの質 ★詳しくはページ下部参考情報をご覧ください	5	4	3	2	1

### 参考 Memo

### 私たちが目指すみどり

#### みどりの将来像 「みんなで育み、つなげるみどりの小金井」

小金井市にふさわしいみどりは、安全で快適な場所として、保全、活用され、多世代が触れ合い、地域で暮らす楽しみを見つけることができる空間です。



#### 質の高いみどり

##### ① 地域特性に応じた多様なみどり

市内の地域の様々な場所に応じた、樹林地、農地、公園、川や水辺などの多様なみどりが重層的にあります。

##### ② 多様な機能を有するみどり

都市環境の改善、防災機能の向上、生物多様性の保全、景観形成など、以下のような多岐にわたる機能があります。

☞ 災害時の被害軽減 ☞ 健康活動の場 ☞ 子どもの遊び場 ☞ 地域の魅力向上 ☞ コミュニティの活性化  
 ☘ 温室効果ガスの吸収 ☘ ヒートアイランド現象の緩和 ☘ 生物多様性の確保 ☘ 環境教育・自然とのふれあいの場

##### ③ 生活に季節感や潤いをもたらすみどり

春の新緑、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の裸木など、四季折々の変化に富んだ生活に季節感や潤いをもたらす、小金井市らしい美しく風格のあるみどりがあります。

##### ④ 生態系やまちの景観への配慮が保たれているみどり

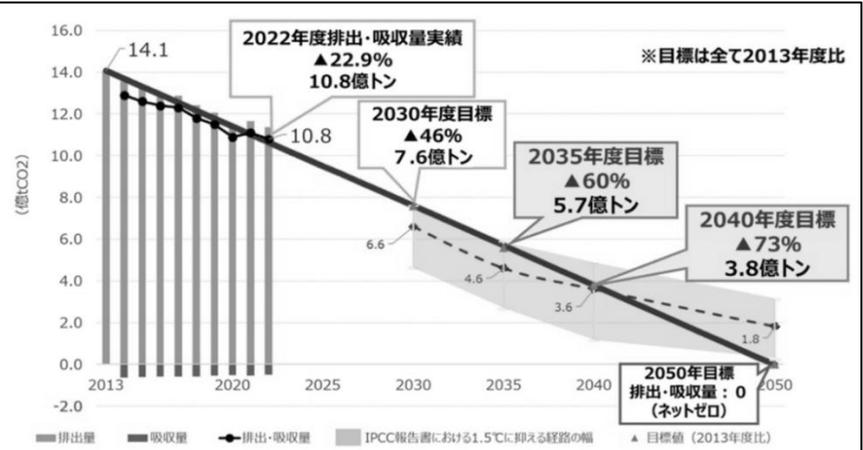
生態系やまちの景観に配慮し、市、事業者、市民がみんなで適切に保全、整備、管理、活用しています。



## 9 気候変動対策について

1) 日本は、2030 年度において、温室効果ガス排出 46%削減 (2013 年度比) を目指し、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目標としています。あなたはこのことを知っていましたか。該当する番号 1 つに○ をつけてください。

出典：地球温暖化対策推進本部



1. 知っていた

2. 知らなかった

### 参考 Memo

### 気候変動に対しての小金井市の取組 ～2050年 CO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化による異常気象が頻発し、猛暑や記録的な集中豪雨など、甚大な被害が発生しており、このまま温暖化が進行すると私たちの市民生活に多大な影響がでると予想されます。

市では、この「気候危機」を自らの問題として認識し、気候危機への対策を加速化させるため、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組み、2050年までにCO<sub>2</sub>排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、令和4年(2022年)1月に「小金井市気候非常事態宣言」を发出しています。

ゼロカーボンシティ実現のため、環境啓発事業である「こがねい環境フォーラム」、「野川環境フィールドワーク」の実施や住宅用新エネルギー機器等普及促進補助事業や次世代自動車普及促進補助事業など、様々な取組を展開しています。

2) 小金井市の現在の温室効果ガス排出削減目標は、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の目標は国と同じであるものの、中期目標である 2030 年度においては温室効果ガス排出 26%削減 (2013 年度比) を目指すとしています。(国の目標は 46%削減) あなたは 2030 年度における小金井市の目標数値について、どのように考えますか。該当する番号 1 つに○ をつけてください。

1. 国と同じ程度の目標を掲げるべき

2. 国以上の目標を掲げるべき

3. 現状の目標値でよい

3) 2) の回答の理由があれば、お書きください。

4) 気候変動の影響に備える「適応」(※8ページ用語解説参照)について、現在あなたが行っている取組にどのようなものがありますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 熱中症対策の徹底(こまめな水分補給、クールビズ・ウォームビズの実践等)
2. 感染症対策の徹底(虫よけスプレーの利用等)
3. 防災情報の確認(防災マップの確認、こがねい安全・安心メールの活用等)
4. 自然災害等への備え(水や非常食、防災グッズの備え等)
5. 気温上昇等への対策(緑のカーテン、打ち水等)
6. その他( )

5) 気候変動の影響に備える「適応」について、市が重点的に対策すべきものは何ですか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 熱中症対策に関する情報提供の強化
2. 防災に関する情報提供の強化
3. 自然災害に備えた備蓄(水・非常食)の強化
4. 気温上昇等への対策(みどりの保全や緑化促進によるヒートアイランド現象の軽減等)
5. 気候変動による生物への影響についての情報収集
6. その他( )

参考 Memo

気候変動対策「緩和」と「適応」

気候変動対策は「緩和と適応」の2本柱からなり、どちらも重要であるとされています。

温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の原因をできるだけ抑えることを「緩和」と言います。暮らしの中では、節電・省エネや、エネルギーの効率のよい機器を使うことで、エネルギーの使用を減らすことや、なるべく車ではなく自転車や徒歩で移動することなどです。

気候変動の影響に備えることを「適応」と言います。適応策をしっかりと取ることができれば、気候変動がある程度進んでも、その影響や被害を抑えることができます。

**緩和**とは? 原因を少なく

**2つの気候変動対策**

**適応**とは? 影響に備える

緩和策の例: 節電・省エネ, エコカーの普及, 再生可能エネルギーの活用, 森林を増やす, 温室効果ガスを減らす

適応策の例: 熱中症予防, 災害に備える, 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培, 水利用の工夫, 感染症予防のため虫刺されに注意

個人でできる適応としては、熱中症やデング熱の予防といった健康分野での適応策、豪雨災害に備えたハザードマップの確認といった自然災害分野での適応策などがあります。



出典:気候変動適応情報プラットフォーム  
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>

6) 東京都では、「燃費の良い住宅」の普及を進めています。あなたは、断熱性が高く、太陽光発電設備や蓄電池等の機器を設置した「燃費の良い住宅」のメリットを知っていますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 夏は涼しく、冬は暖かく、光熱費削減 | 2. 結露がなく掃除が楽になる |
| 3. ヒートショックの抑制        | 4. アレルギーの減少     |
| 5. 停電時にも電気の使用が可能     | 6. 知らなかった       |

### 参考 Memo

### 知って役立つ！おうちの燃費と快適性

東京都地球温暖化防止活動推進センター「クール・ネット東京」では、都民や事業者の皆さまの地球温暖化防止の取組や省エネ対策を支援するため、ホームページ等でさまざまな情報を提供しています。

東京都の実施する省エネ対策事業、補助金・助成金や、研修会・セミナー・イベントなどの情報や、地球温暖化対策についてわかりやすく学ぶことができます。

「知って役立つ！おうちの燃費と快適性」として、ハローキティのおうち、公式動画なども公表されていますので、燃費の良い住宅についてさらに知りたい方は、「クール・ネット東京」ホームページもご活用ください。



出典：東京都地球温暖化防止活動推進センター「クール・ネット東京」  
<https://www.tokyo-co2down.jp/eco-home/>

## 10 市の環境施策について

小金井市の環境施策について、あなたのご意見を聞かせてください。



カワセミ



カントン

クイズの答え  
市の鳥：カワセミ  
市の虫：カントン



以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないか再度お確かめの上、この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、7月9日(水曜)までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

お問合せ先：小金井市 環境部 環境政策課 環境係  
TEL：042-387-9817（直通） FAX：042-383-6577  
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時（正午～午後1時を除く）